



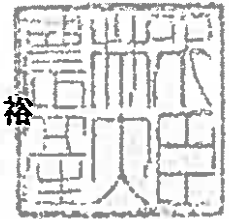
【資料3の別添】

28統計第10号

平成28年4月7日

総務大臣 殿

農林水産大臣 森山 裕



基幹統計調査の変更について（申請）

下記調査の変更について、統計法（平成19年法律第53号）第11条第1項に基づく承認を受けたいので、別紙申請事項記載書に関係書類を添えて、申請します。

記

農業経営統計調査

主管部課	大臣官房統計部経営・構造統計課		
事務担当者	課長補佐 関 学	電話	03 (3502) 5654 e-mail manabu_seki880@maff.go.jp



申請事項記載書

別紙

1 調査の名称 農業経営統計調査

2 変更の内容

変更案	変更前	変更点及び理由
<p>1～2 (略)</p> <p>3 調査対象の範囲 (1) (略) (2) 属性的範囲 農業経営体のうち、農産物の販売を目的とする経営体（農業経営体の定義については、別添1を参照。）とし、次の2区分とする。 ① 「個別経営体」とは、世帯による農業経営を行う経営体（法人格を有する経営体を含む。）をいう。 ② 「組織法人経営体」とは、「個別経営体」以外で法人化している農事組合法人及び会社組織による経営体をいう。 (削除)</p> <p>4 報告を求めめる者 (1) 数 ア 営農類型別経営統計に係る調査（以下「経営統計調査」という。）については、<u>4,626</u> 個別経営体及び水田作（集落営農）以外の組織法人経営体については、<u>2015年</u>農林業センサスにより集められた情報を母集団とする。</p>	<p>1～2 (略)</p> <p>3 調査対象の範囲 (1) (略) (2) 属性的範囲 農業経営体のうち、農産物の販売を目的とする経営体（農業経営体の定義については、別添1を参照。）とし、次の3区分とする。 ① 「個別経営体」とは、世帯による農業経営を行う経営体（法人格を有する経営体を含む。）をいう。 ② 「組織法人経営体」とは、「個別経営体」以外で法人化している農事組合法人及び会社組織による経営体をいう。 ③ 「任意組織経営体」とは、「個別経営体」以外で法人化していない経営体をいう。ただし、本調査では、<u>集落営農</u>を行っている経営体に限定する。 なお、②及び③を総称する際には「<u>組織経営体</u>」という。</p> <p>4 報告を求めめる者 (1) 数 ア 営農類型別経営統計に係る調査（以下「経営統計調査」という。）については、<u>5,110</u> 個別経営体及び水田作（集落営農）以外の組織法人経営体については、<u>2010年</u>農林業センサスにより集められた情報を母集団とする。</p>	<p>調査の簡素・効率化の観点から、利活用の重要度が低下した任意組織経営体の統計を廃止するため、属性的範囲から削除する。</p> <p>母集団を2015年農林業センサス等への変更及び目標設計の一部変更に伴う変更（以下同じ。）。</p>

変更案	変更前	変更点及び理由																																																																																																																																																																																
<p>組織法人経営体の水田作（集落営農）については、平成27年集落営農実態調査により集められた情報を母集団とする。</p> <p>(内訳)</p> <p>○個別経営体</p> <table border="1"> <tr><td>水田作</td><td>4,170</td><td>(母集団)</td><td>1,245,815</td></tr> <tr><td>畑作</td><td>1,300</td><td>(母集団)</td><td>732,890</td></tr> <tr><td>野菜作</td><td>635</td><td>(母集団)</td><td>54,304</td></tr> <tr><td>果樹作</td><td>884</td><td>(母集団)</td><td>198,907</td></tr> <tr><td>花き作</td><td>456</td><td>(母集団)</td><td>153,446</td></tr> <tr><td>酪農</td><td>100</td><td>(母集団)</td><td>25,928</td></tr> <tr><td>肉用牛</td><td>353</td><td>(母集団)</td><td>15,415</td></tr> <tr><td>養豚</td><td>203</td><td>(母集団)</td><td>33,699</td></tr> <tr><td>養鶏</td><td>89</td><td>(母集団)</td><td>2,196</td></tr> <tr><td>採卵養鶏</td><td>50</td><td>(母集団)</td><td>1,526</td></tr> <tr><td>ブロイラー養鶏</td><td>50</td><td>(母集団)</td><td>1,318</td></tr> <tr><td>その他</td><td>50</td><td>(母集団)</td><td>26,186</td></tr> </table> <p>(注1)「その他」の情報は、経営形態別経営統計（個別経営体全体の経営統計）を作成する際のみ用いる。</p> <p>○組織法人経営体</p> <table border="1"> <tr><td>水田作（集落営農）</td><td>456</td><td>(母集団)</td><td>16,565</td></tr> <tr><td>水田作（集落営農以外）</td><td>139</td><td>(母集団)</td><td>3,360</td></tr> <tr><td>畑作</td><td>77</td><td>(母集団)</td><td>3,002</td></tr> <tr><td>野菜作</td><td>40</td><td>(母集団)</td><td>1,079</td></tr> <tr><td>果樹作</td><td>60</td><td>(母集団)</td><td>3,252</td></tr> <tr><td>花き作</td><td>30</td><td>(母集団)</td><td>1,072</td></tr> <tr><td>酪農</td><td>25</td><td>(母集団)</td><td>930</td></tr> <tr><td>肉用牛</td><td>20</td><td>(母集団)</td><td>761</td></tr> <tr><td>養豚</td><td>20</td><td>(母集団)</td><td>878</td></tr> <tr><td></td><td>20</td><td>(母集団)</td><td>1,042</td></tr> </table>	水田作	4,170	(母集団)	1,245,815	畑作	1,300	(母集団)	732,890	野菜作	635	(母集団)	54,304	果樹作	884	(母集団)	198,907	花き作	456	(母集団)	153,446	酪農	100	(母集団)	25,928	肉用牛	353	(母集団)	15,415	養豚	203	(母集団)	33,699	養鶏	89	(母集団)	2,196	採卵養鶏	50	(母集団)	1,526	ブロイラー養鶏	50	(母集団)	1,318	その他	50	(母集団)	26,186	水田作（集落営農）	456	(母集団)	16,565	水田作（集落営農以外）	139	(母集団)	3,360	畑作	77	(母集団)	3,002	野菜作	40	(母集団)	1,079	果樹作	60	(母集団)	3,252	花き作	30	(母集団)	1,072	酪農	25	(母集団)	930	肉用牛	20	(母集団)	761	養豚	20	(母集団)	878		20	(母集団)	1,042	<p>組織法人経営体の水田作（集落営農）及び任意組織経営体については、平成22年集落営農実態調査により集められた情報を母集団とする。</p> <p>(内訳)</p> <p>○個別経営体</p> <table border="1"> <tr><td>水田作</td><td>4,529</td><td>(母集団)</td><td>1,493,976</td></tr> <tr><td>畑作</td><td>1,607</td><td>(母集団)</td><td>897,419</td></tr> <tr><td>野菜作</td><td>643</td><td>(母集団)</td><td>69,120</td></tr> <tr><td>果樹作</td><td>861</td><td>(母集団)</td><td>225,940</td></tr> <tr><td>花き作</td><td>503</td><td>(母集団)</td><td>174,116</td></tr> <tr><td>酪農</td><td>100</td><td>(母集団)</td><td>31,256</td></tr> <tr><td>肉用牛</td><td>364</td><td>(母集団)</td><td>19,430</td></tr> <tr><td>養豚</td><td>212</td><td>(母集団)</td><td>40,441</td></tr> <tr><td>養鶏</td><td>89</td><td>(母集団)</td><td>3,530</td></tr> <tr><td>採卵養鶏</td><td>50</td><td>(母集団)</td><td>2,064</td></tr> <tr><td>ブロイラー養鶏</td><td>50</td><td>(母集団)</td><td>1,645</td></tr> <tr><td>その他</td><td>50</td><td>(母集団)</td><td>29,015</td></tr> </table> <p>(注1)「その他」の情報は、経営形態別経営統計（個別経営体全体の経営統計）を作成する際のみ用いる。</p> <p>○組織法人経営体</p> <table border="1"> <tr><td>水田作（集落営農）</td><td>369</td><td>(母集団)</td><td>10,597</td></tr> <tr><td>水田作（集落営農以外）</td><td>151</td><td>(母集団)</td><td>1,807</td></tr> <tr><td>畑作</td><td>58</td><td>(母集団)</td><td>1,833</td></tr> <tr><td>野菜作</td><td>30</td><td>(母集団)</td><td>688</td></tr> <tr><td>果樹作</td><td>35</td><td>(母集団)</td><td>1,749</td></tr> <tr><td>花き作</td><td>15</td><td>(母集団)</td><td>607</td></tr> <tr><td>酪農</td><td>20</td><td>(母集団)</td><td>752</td></tr> <tr><td>肉用牛</td><td>15</td><td>(母集団)</td><td>618</td></tr> <tr><td>養豚</td><td>15</td><td>(母集団)</td><td>676</td></tr> <tr><td></td><td>10</td><td>(母集団)</td><td>903</td></tr> </table>	水田作	4,529	(母集団)	1,493,976	畑作	1,607	(母集団)	897,419	野菜作	643	(母集団)	69,120	果樹作	861	(母集団)	225,940	花き作	503	(母集団)	174,116	酪農	100	(母集団)	31,256	肉用牛	364	(母集団)	19,430	養豚	212	(母集団)	40,441	養鶏	89	(母集団)	3,530	採卵養鶏	50	(母集団)	2,064	ブロイラー養鶏	50	(母集団)	1,645	その他	50	(母集団)	29,015	水田作（集落営農）	369	(母集団)	10,597	水田作（集落営農以外）	151	(母集団)	1,807	畑作	58	(母集団)	1,833	野菜作	30	(母集団)	688	果樹作	35	(母集団)	1,749	花き作	15	(母集団)	607	酪農	20	(母集団)	752	肉用牛	15	(母集団)	618	養豚	15	(母集団)	676		10	(母集団)	903	
水田作	4,170	(母集団)	1,245,815																																																																																																																																																																															
畑作	1,300	(母集団)	732,890																																																																																																																																																																															
野菜作	635	(母集団)	54,304																																																																																																																																																																															
果樹作	884	(母集団)	198,907																																																																																																																																																																															
花き作	456	(母集団)	153,446																																																																																																																																																																															
酪農	100	(母集団)	25,928																																																																																																																																																																															
肉用牛	353	(母集団)	15,415																																																																																																																																																																															
養豚	203	(母集団)	33,699																																																																																																																																																																															
養鶏	89	(母集団)	2,196																																																																																																																																																																															
採卵養鶏	50	(母集団)	1,526																																																																																																																																																																															
ブロイラー養鶏	50	(母集団)	1,318																																																																																																																																																																															
その他	50	(母集団)	26,186																																																																																																																																																																															
水田作（集落営農）	456	(母集団)	16,565																																																																																																																																																																															
水田作（集落営農以外）	139	(母集団)	3,360																																																																																																																																																																															
畑作	77	(母集団)	3,002																																																																																																																																																																															
野菜作	40	(母集団)	1,079																																																																																																																																																																															
果樹作	60	(母集団)	3,252																																																																																																																																																																															
花き作	30	(母集団)	1,072																																																																																																																																																																															
酪農	25	(母集団)	930																																																																																																																																																																															
肉用牛	20	(母集団)	761																																																																																																																																																																															
養豚	20	(母集団)	878																																																																																																																																																																															
	20	(母集団)	1,042																																																																																																																																																																															
水田作	4,529	(母集団)	1,493,976																																																																																																																																																																															
畑作	1,607	(母集団)	897,419																																																																																																																																																																															
野菜作	643	(母集団)	69,120																																																																																																																																																																															
果樹作	861	(母集団)	225,940																																																																																																																																																																															
花き作	503	(母集団)	174,116																																																																																																																																																																															
酪農	100	(母集団)	31,256																																																																																																																																																																															
肉用牛	364	(母集団)	19,430																																																																																																																																																																															
養豚	212	(母集団)	40,441																																																																																																																																																																															
養鶏	89	(母集団)	3,530																																																																																																																																																																															
採卵養鶏	50	(母集団)	2,064																																																																																																																																																																															
ブロイラー養鶏	50	(母集団)	1,645																																																																																																																																																																															
その他	50	(母集団)	29,015																																																																																																																																																																															
水田作（集落営農）	369	(母集団)	10,597																																																																																																																																																																															
水田作（集落営農以外）	151	(母集団)	1,807																																																																																																																																																																															
畑作	58	(母集団)	1,833																																																																																																																																																																															
野菜作	30	(母集団)	688																																																																																																																																																																															
果樹作	35	(母集団)	1,749																																																																																																																																																																															
花き作	15	(母集団)	607																																																																																																																																																																															
酪農	20	(母集団)	752																																																																																																																																																																															
肉用牛	15	(母集団)	618																																																																																																																																																																															
養豚	15	(母集団)	676																																																																																																																																																																															
	10	(母集団)	903																																																																																																																																																																															

変更案	変更前	変更点及び理由																																																																																																				
<p>採卵養鶏 15 (母集団) 865)</p> <p>ブロイラー養鶏 10 (母集団) 324)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>イ 農畜産物の生産費統計に係る調査(以下「生産費調査」という。)については、4,014</p> <p>二条大麦、六条大麦、はだか麦及びなたね以外については、2015年農林業センサスにより集められた情報を母集団とする。</p> <p>二条大麦、六条大麦、はだか麦及びなたねについては、平成26年度経営所得安定対策等加入申請者情報により集められた情報を母集団とする。</p> <p>(内訳)</p> <p>○個別経営体</p> <table border="1"> <tr><td>米生産費</td><td>3,891</td><td>(母集団)</td><td>1,072,930)</td></tr> <tr><td>小麦生産費</td><td>813</td><td>(母集団)</td><td>868,146)</td></tr> <tr><td>二条大麦生産費</td><td>536</td><td>(母集団)</td><td>32,882)</td></tr> <tr><td>六条大麦生産費</td><td>70</td><td>(母集団)</td><td>6,436)</td></tr> <tr><td>はだか麦生産費</td><td>47</td><td>(母集団)</td><td>1,643)</td></tr> <tr><td>そば生産費</td><td>40</td><td>(母集団)</td><td>571)</td></tr> <tr><td>大豆生産費</td><td>135</td><td>(母集団)</td><td>23,256)</td></tr> <tr><td>原料用かんしよ生産費</td><td>442</td><td>(母集団)</td><td>42,642)</td></tr> <tr><td>原料用ばれいしよ生産費</td><td>66</td><td>(母集団)</td><td>5,269)</td></tr> <tr><td>なたね生産費</td><td>82</td><td>(母集団)</td><td>2,319)</td></tr> <tr><td>てんさい生産費</td><td>59</td><td>(母集団)</td><td>574)</td></tr> <tr><td>さとうきび生産費</td><td>75</td><td>(母集団)</td><td>7,090)</td></tr> <tr><td></td><td>114</td><td>(母集団)</td><td>15,032)</td></tr> </table>	米生産費	3,891	(母集団)	1,072,930)	小麦生産費	813	(母集団)	868,146)	二条大麦生産費	536	(母集団)	32,882)	六条大麦生産費	70	(母集団)	6,436)	はだか麦生産費	47	(母集団)	1,643)	そば生産費	40	(母集団)	571)	大豆生産費	135	(母集団)	23,256)	原料用かんしよ生産費	442	(母集団)	42,642)	原料用ばれいしよ生産費	66	(母集団)	5,269)	なたね生産費	82	(母集団)	2,319)	てんさい生産費	59	(母集団)	574)	さとうきび生産費	75	(母集団)	7,090)		114	(母集団)	15,032)	<p>採卵養鶏 10 (母集団) 738)</p> <p>ブロイラー養鶏 10 (母集団) 226)</p> <p>○任意組織経営体 212 (母集団) 3,727)</p> <p>水田作(集落営農) 212 (母集団) 3,727)</p> <p>イ 農畜産物の生産費統計に係る調査(以下「生産費調査」という。)については、4,337</p> <p>二条大麦、六条大麦、はだか麦及びなたね以外については、2010年農林業センサスにより集められた情報を母集団とする。</p> <p>二条大麦、六条大麦、はだか麦及びなたねについては、2005年農林業センサスにより集められた情報を基礎に、地方公共団体や農業協同組合等の関係機関から、作付状況などについて聞き取り等を行い、作付地域を絞り込むことで、母集団整備を行う。</p> <p>なお、生産費調査については、個別経営体に対してのみ行う。</p> <p>(内訳)</p> <table border="1"> <tr><td>米生産費</td><td>1,034</td><td>(母集団)</td><td>1,063,433)</td></tr> <tr><td>小麦生産費</td><td>554</td><td>(母集団)</td><td>41,233)</td></tr> <tr><td>二条大麦生産費</td><td>75</td><td>(母集団)</td><td>6,914)</td></tr> <tr><td>六条大麦生産費</td><td>48</td><td>(母集団)</td><td>1,654)</td></tr> <tr><td>はだか麦生産費</td><td>40</td><td>(母集団)</td><td>405)</td></tr> <tr><td>そば生産費</td><td>121</td><td>(母集団)</td><td>26,344)</td></tr> <tr><td>大豆生産費</td><td>481</td><td>(母集団)</td><td>55,556)</td></tr> <tr><td>原料用かんしよ生産費</td><td>70</td><td>(母集団)</td><td>7,503)</td></tr> <tr><td>原料用ばれいしよ生産費</td><td>84</td><td>(母集団)</td><td>3,492)</td></tr> <tr><td>なたね生産費</td><td>82</td><td>(母集団)</td><td>890)</td></tr> <tr><td>てんさい生産費</td><td>78</td><td>(母集団)</td><td>8,308)</td></tr> <tr><td>さとうきび生産費</td><td>131</td><td>(母集団)</td><td>16,336)</td></tr> </table>	米生産費	1,034	(母集団)	1,063,433)	小麦生産費	554	(母集団)	41,233)	二条大麦生産費	75	(母集団)	6,914)	六条大麦生産費	48	(母集団)	1,654)	はだか麦生産費	40	(母集団)	405)	そば生産費	121	(母集団)	26,344)	大豆生産費	481	(母集団)	55,556)	原料用かんしよ生産費	70	(母集団)	7,503)	原料用ばれいしよ生産費	84	(母集団)	3,492)	なたね生産費	82	(母集団)	890)	てんさい生産費	78	(母集団)	8,308)	さとうきび生産費	131	(母集団)	16,336)	<p>任意組織経営体の統計を廃止するため。</p> <p>当該調査対象経営体における新たな母集団情報が入手可能となったため。</p>
米生産費	3,891	(母集団)	1,072,930)																																																																																																			
小麦生産費	813	(母集団)	868,146)																																																																																																			
二条大麦生産費	536	(母集団)	32,882)																																																																																																			
六条大麦生産費	70	(母集団)	6,436)																																																																																																			
はだか麦生産費	47	(母集団)	1,643)																																																																																																			
そば生産費	40	(母集団)	571)																																																																																																			
大豆生産費	135	(母集団)	23,256)																																																																																																			
原料用かんしよ生産費	442	(母集団)	42,642)																																																																																																			
原料用ばれいしよ生産費	66	(母集団)	5,269)																																																																																																			
なたね生産費	82	(母集団)	2,319)																																																																																																			
てんさい生産費	59	(母集団)	574)																																																																																																			
さとうきび生産費	75	(母集団)	7,090)																																																																																																			
	114	(母集団)	15,032)																																																																																																			
米生産費	1,034	(母集団)	1,063,433)																																																																																																			
小麦生産費	554	(母集団)	41,233)																																																																																																			
二条大麦生産費	75	(母集団)	6,914)																																																																																																			
六条大麦生産費	48	(母集団)	1,654)																																																																																																			
はだか麦生産費	40	(母集団)	405)																																																																																																			
そば生産費	121	(母集団)	26,344)																																																																																																			
大豆生産費	481	(母集団)	55,556)																																																																																																			
原料用かんしよ生産費	70	(母集団)	7,503)																																																																																																			
原料用ばれいしよ生産費	84	(母集団)	3,492)																																																																																																			
なたね生産費	82	(母集団)	890)																																																																																																			
てんさい生産費	78	(母集団)	8,308)																																																																																																			
さとうきび生産費	131	(母集団)	16,336)																																																																																																			

変更案	変更前	変更点及び理由
<p>牛乳生産費 435 (母集団) 16,918)</p> <p>去勢若齢肥育牛生産費 310 (母集団) 8,049)</p> <p>乳用雄肥育牛生産費 91 (母集団) 1,186)</p> <p>交雑種肥育牛生産費 101 (母集団) 1,797)</p> <p>子牛生産費 192 (母集団) 35,187)</p> <p>乳用雄育成牛生産費 52 (母集団) 568)</p> <p>交雑種育成牛生産費 58 (母集団) 1,369)</p> <p>肥育豚生産費 173 (母集団) 1,996)</p> <p>○組織法人経営体</p> <p>米生産費 123 (母集団) 12,552)</p> <p>小麦生産費 52 (母集団) 7,508)</p> <p>大豆生産費 33 (母集団) 1,918)</p> <p>38 (母集団) 3,126)</p> <p>(削 除)</p>	<p>牛乳生産費 500 (母集団) 21,138)</p> <p>去勢若齢肥育牛生産費 318 (母集団) 10,789)</p> <p>乳用雄肥育牛生産費 101 (母集団) 1,342)</p> <p>交雑種肥育牛生産費 108 (母集団) 3,054)</p> <p>子牛生産費 197 (母集団) 48,501)</p> <p>乳用雄育成牛生産費 60 (母集団) 569)</p> <p>交雑種育成牛生産費 65 (母集団) 1,257)</p> <p>肥育豚生産費 190 (母集団) 3,294)</p>	<p>新たな行政ニーズによる増加。</p> <p>東日本大震災による措置の必要がなくなることによる変更。</p>
<p>(2) 選定の方法 (□全数 ■無作為抽出 □有意抽出)</p> <p>経営統計調査については、営業類型別及び農業経営体の種類ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により行う。</p> <p>生産費調査については、品目別及び農業経営体の種類ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により行う。</p> <p>詳細については、別添2のとおり。</p> <p>なお、経営統計調査に係る標本抽出と、生産費調査に係る標本抽出は、別々に行う。標本抽出の結果として、経営統計調査の報告者となった農業経営体が、生産費調査の報告者となった場合には、双方の報告者となるが、双方の調査に共通する項目については重ねて報告を求めるとはしない。</p> <p>(3) (略)</p>	<p>ウ 経営統計調査、生産費調査とも、東日本大震災に対応して、調査対象から除外する被災地域を整理して、母集団情報を補正している。</p> <p>(2) 選定の方法 (□全数 ■無作為抽出 □有意抽出)</p> <p>経営統計調査については、営業類型別及び農業経営体の種類ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により行う。</p> <p>生産費調査については、品目ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により行う。</p> <p>詳細については、別添2のとおり。</p> <p>なお、経営統計調査に係る標本抽出と、生産費調査に係る標本抽出は、別々に行う。標本抽出の結果として、経営統計調査の報告者となった個別経営体が、生産費調査の報告者となった場合には、双方の報告者となるが、双方の調査に共通する項目については重ねて報告を求めるとはしない。</p> <p>(3) (略)</p>	<p>農産物生産費統計において、組織法人経営体の統計を追加するため。</p>

変 更 案	変 更 前	変更点及び理由
<p>5 報告を求めらるる事項及びその基準となる期日又は期間</p> <p>(1) 報告を求めらるる事項</p> <p>ア 営農類型別経営統計に関する調査</p> <p>(ア) 個別経営体にあつては世帯員の性別、生年月及び続柄その他世帯における地位並びに世帯員の就業区分及び在宅状況、<u>組織法人経営体</u>にあつては構成員の性別及び世帯の状況</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ウ) 経営耕地面積その他<u>農業経営体</u>が使用する土地の面積</p> <p>(エ) ～ (キ) (略)</p> <p>イ 農畜産物の生産費統計に関する調査</p> <p>(ア) 個別経営体にあつては世帯員の性別、生年月及び就業区分、<u>組織法人経営体</u>にあつては構成員の状況</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ウ) 経営耕地面積その他<u>農業経営体</u>が使用する土地の面積</p> <p>(エ) <u>農業経営体</u>の財産に関する次の事項</p> <p>(i) ～ (iii) (略)</p> <p>(オ) ～ (ク) (略)</p> <p>ウ (略)</p> <p>(2) 基準となる期日又は期間</p> <p>ア 営農類型別経営統計に関する調査</p> <p>(ア) (略)</p> <p>(イ) 組織法人経営体</p> <p>毎年、決算の対象となつた年の1年間</p> <p>イ (略)</p>	<p>5 報告を求めらるる事項及びその基準となる期日又は期間</p> <p>(1) 報告を求めらるる事項</p> <p>ア 営農類型別経営統計に関する調査</p> <p>(ア) 個別経営体にあつては世帯員の性別、生年月及び続柄その他世帯における地位並びに世帯員の就業区分及び在宅状況、<u>個別経営体以外の農業経営体</u>にあつては構成員の性別及び世帯の状況</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ウ) 経営耕地面積その他<u>個別経営体</u>の世帯員である<u>家族</u>が使用する土地の面積</p> <p>(エ) ～ (キ) (略)</p> <p>イ 農畜産物の生産費統計に関する調査</p> <p>(ア) 世帯員の性別、生年月及び就業区分</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ウ) 経営耕地面積その他<u>個別経営体</u>の世帯員である<u>家族</u>が使用する土地の面積</p> <p>(エ) <u>個別経営体</u>の財産に関する次の事項</p> <p>(i) ～ (iii) (略)</p> <p>(オ) ～ (ク) (略)</p> <p>ウ (略)</p> <p>(2) 基準となる期日又は期間</p> <p>ア 営農類型別経営統計に関する調査</p> <p>(ア) (略)</p> <p>(イ) 組織経営体</p> <p>毎年、決算の対象となつた年の1年間</p> <p>イ (略)</p>	<p>任意組織経営体の統計の廃止に伴い、組織法人経営体に統一するため。</p> <p>組織法人経営体においても使用する土地の面積を把握するため。</p> <p>農産物生産費統計において、組織法人経営体の統計を追加するため。</p> <p>任意組織経営体の統計の廃止に伴い、組織法人経営体に統一するため。</p>

変更案	変更前	変更点及び理由
<p>6 報告を求めるとに用いる方法</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 調査方法 (■調査員調査 ■郵送調査 ■オンライン調査 ■その他(職員調査))</p> <p>ア 現金出納帳、作業日誌</p> <p>(ア) (略)</p> <p>(イ) 調査票の提出等</p> <p>以下のいずれかの方法により行う。</p> <p>① (略)</p> <p>② 地方農政局等の職員又は統計調査員が、数か月に一度、報告者を訪問して回収する。</p> <p>③・④ (略)</p> <p>イ (略)</p> <p>7 (略)</p> <p>8 集計事項</p> <p>次に掲げる集計を行う (詳細は別添4のとおり)。</p> <p>(1) ア (略)</p> <p>イ 組織法人経営体</p> <p>(ア) 水田作経営、(イ) 野菜作経営、(ウ) 果樹作経営、(エ) 畜産作経営、(オ) 肉用牛経営、(カ) 酪農経営、(キ) 養豚経営、(ク) 採卵養鶏経営、(ケ) プロイラー養鶏経営</p> <p>(削 除)</p> <p>(2) (略)</p> <p>(3) 農産物生産費統計</p>	<p>6 報告を求めるとに用いる方法</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 調査方法 (■調査員調査 ■郵送調査 ■オンライン調査 ■その他(職員調査))</p> <p>ア 現金出納帳、作業日誌</p> <p>(ア) (略)</p> <p>(イ) 調査票の提出等</p> <p>以下のいずれかの方法により行う。</p> <p>① (略)</p> <p>② 地方農政局等の職員又は統計調査員が、数か月に一度、年4回を超えない範囲で報告者を訪問して回収する。</p> <p>③・④ (略)</p> <p>イ (略)</p> <p>7 (略)</p> <p>8 集計事項</p> <p>次に掲げる集計を行う (詳細は別添4のとおり)。</p> <p>(1) ア (略)</p> <p>イ 組織法人経営体</p> <p>(ア) 水田作経営、(イ) 畑作経営、(ウ) 野菜作経営、(エ) 果樹作経営、(オ) 花き作経営、(カ) 酪農経営、(キ) 肉用牛経営、(ク) 養豚経営、(ケ) 採卵養鶏経営</p> <p>(ウ) <u>集落営農型の組織経営体 (水田作)</u></p> <p>(ア) <u>組織法人経営体、(イ) 任意組織経営体</u></p> <p>(2) (略)</p> <p>(3) 農産物生産費統計</p>	<p>統計調査員の導入に伴い、調査客体との信頼関係醸成のため訪問回数を年4回に限定せず行うこととするため。</p> <p>任意組織経営体の統計の廃止に伴い、組織法人経営体に統合するため。</p>

変更案	変更前	変更点及び理由
<p>ア 個別経営体 (ア)～(シ) (略)</p> <p>イ 組織法人経営体 (ア) 米生産費、(イ) 小麦生産費、(ウ) 大豆生産費 (4) (略)</p> <p>9 (略)</p> <p>10 使用する統計基準 本調査の調査対象には、販売を目的とする個別経営体及び組織法人経営体を対象としているため、調査対象の画定や集計結果については、日本標準産業分類における分類がないことから、統計基準は使用していない。</p> <p>11・12 (略)</p> <p>別添 1 (略)</p> <p>別添 2 報告者の選定方法 1・2 (略)</p> <p>3 統計部長は、<u>農畜産物の生産費</u>に関する統計の調査客体（以下「生産費調査客体」という。）を抽出するため、別表第2の左欄に掲げる品目及び同表の中欄に掲げる<u>農業経営体の種類</u>ごとに、同表の右欄に掲げる分類基準により<u>農業経営体</u>を区分してリストを作成し、これを地方農政局等の長に送付する。</p> <p>4 (略)</p>	<p>ア～シ (略)</p> <p>(4) (略)</p> <p>9 (略)</p> <p>10 使用する統計基準 本調査の調査対象には、販売を目的とする個別経営体、<u>組織法人経営体及び任意組織経営体</u>を対象としているため、調査対象の画定や集計結果については、日本標準産業分類における分類がないことから、統計基準は使用していない。</p> <p>11・12 (略)</p> <p>別添 1 (略)</p> <p>別添 2 報告者の選定方法 1・2 (略)</p> <p>3 統計部長は、<u>農産物の生産費</u>に関する統計の調査客体（以下「生産費調査客体」という。）を抽出するため、別表第2の左欄に掲げる品目ごとに、同表の右欄に掲げる分類基準により<u>個別経営体</u>を区分してリストを作成し、これを地方農政局等の長に送付する。</p> <p>4 (略)</p>	<p>農産物生産費統計において、組織法人経営体の統計を追加するため。</p> <p>任意組織経営体の統計を廃止するため。</p> <p>農産物生産費統計において、組織法人経営体の統計を追加するため。</p>

変更案		変更前		変更点及び理由
別表第1				
営農類型区分	農産物産出の種別	農産物産出の種別	農産物産出の種別	
水田作経営	個別経営体 組織法人経営体 任意組織経営体	個別経営体 組織法人経営体 任意組織経営体	稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の販売収入のうち、水田で作付した農産物の販売収入が他の営農型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営	稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の販売収入のうち、畑で作付した農産物の販売収入が他の営農型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
畑作経営	個別経営体	個別経営体	稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の販売収入のうち、畑で作付した農産物の販売収入が他の営農型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営	稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の販売収入のうち、畑で作付した農産物の販売収入が他の営農型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
野菜作経営	露地野菜作経営	露地野菜作経営	野菜の販売収入が他の営農型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地野菜の販売収入が施設野菜の販売収入以上である経営	野菜の販売収入が他の営農型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地野菜の販売収入が施設野菜の販売収入以上である経営
	施設野菜作経営	施設野菜作経営	野菜の販売収入が他の営農型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地野菜より施設野菜の販売収入が多い経営	野菜の販売収入が他の営農型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地野菜より施設野菜の販売収入が多い経営
果樹作経営	果樹作経営	果樹作経営	果樹の販売収入が他の営農型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営	果樹の販売収入が他の営農型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
花き作経営	露地花き作経営	露地花き作経営	花きの販売収入が他の営農型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地花きの販売収入が施設花きの販売収入以上である経営	花きの販売収入が他の営農型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地花きの販売収入が施設花きの販売収入以上である経営

変更案		変更前		変更点及び理由
施設花き 作経営	花きの販売収入が他の営農類 型の農業生産物販売収入と比 べて最も多い経営のうち、露 地花きより施設花きの販売収 入が多い経営	施設花き 作経営	花きの販売収入が他の営農類 型の農業生産物販売収入と比 べて最も多い経営	
酪農経営	酪農の販売収入が他の営農類 型の農業生産物販売収入と比 べて最も多い経営	酪農経営	酪農の販売収入が他の営農類 型の農業生産物販売収入と比 べて最も多い経営	
肉用牛経営	肉用牛の販売収入が他の営農 類型の農業生産物販売収入と 比べて最も多い経営のうち、 繁殖用雌牛の飼養頭数が肥育 牛の飼育頭数以上である経営	肉用牛経営	肉用牛の販売収入が他の営農 類型の農業生産物販売収入と 比べて最も多い経営のうち、 繁殖用雌牛の飼養頭数が肥育 牛の飼育頭数以上である経営	
繁殖牛経営	繁殖牛の販売収入が他の営農 類型の農業生産物販売収入と 比べて最も多い経営のうち、 繁殖用雌牛の飼養頭数より肥 育牛の飼育頭数が多い経営	繁殖牛経営	繁殖牛の販売収入が他の営農 類型の農業生産物販売収入と 比べて最も多い経営のうち、 繁殖用雌牛の飼養頭数より肥 育牛の飼育頭数が多い経営	
肥育牛経営	肥育牛の販売収入が他の営農 類型の農業生産物販売収入と 比べて最も多い経営	肥育牛経営	肥育牛の販売収入が他の営農 類型の農業生産物販売収入と 比べて最も多い経営	
養豚経営	養豚の販売収入が他の営農類 型の農業生産物販売収入と比 べて最も多い経営	養豚経営	養豚の販売収入が他の営農類 型の農業生産物販売収入と比 べて最も多い経営	
採卵養鶏経営	採卵養鶏の販売収入が他の営 農類型の農業生産物販売収入 と比べて最も多い経営	採卵養鶏経営	採卵養鶏の販売収入が他の営 農類型の農業生産物販売収入 と比べて最も多い経営	
ブロイラー養鶏経営	ブロイラー養鶏の販売収入が 他の営農類型の農業生産物販 売収入と比べて最も多い経営	ブロイラー養鶏経営	ブロイラー養鶏の販売収入が 他の営農類型の農業生産物販 売収入と比べて最も多い経営	
その他経営	水田作経営、畑作経営、野菜 作経営、果樹作経営、花き作 経営、酪農経営、肉用牛経営、 養豚経営、採卵養鶏経営、ブ ロイラー養鶏経営以外の経営	その他経営	水田作経営、畑作経営、野菜 作経営、果樹作経営、花き作 経営、酪農経営、肉用牛経営、 養豚経営、採卵養鶏経営、ブ ロイラー養鶏経営以外の経営	
	個別経営体		個別経営体	

変更案		変更前		変更点及び理由
別表第2				
品目	農産経営体の種類	分類基準	分類基準	農産物生産費統計における組織法人経営体の統計の追加及び利活用の実態に即した標本設計とするため。
米	個別経営体	水稲を作付けし、玄米を年間600キログラム以上販売する経営	水稲を作付けし、玄米を年間600キログラム以上販売する経営	
	組織法人経営体	水稲を作付けし、販売する経営		
小麦	個別経営体	小麦を10アール以上作付けし、販売する経営	対象作目を10アール以上作付けし、販売する経営	
	組織法人経営体	小麦を作付けし、販売する経営		
二条大麦	個別経営体	対象作目を10アール以上作付けし、販売する経営		
六条大麦				
はだか麦				
そば			そばを5アール以上作付けし、販売する経営	
大豆	個別経営体	大豆(黒大豆を除く)を10アール以上作付けし、販売する経営	対象作目を10アール以上作付けし、販売する経営	
	組織法人経営体	大豆(黒大豆を除く)を作付けし、販売する経営		
原料用かんしよ	個別経営体	対象作目を10アール以上作付けし、販売する経営		
原料用ばれいしよ				
なたね			なたねを5アール以上作付けし、販売する経営	
てんさい			対象作目を10アール以上作付けし、販売する経営	
さとうきび				
牛乳		搾乳牛を1頭以上飼養し、生乳を販売する経営	搾乳牛を1頭以上飼養し、生乳を販売する経営	
去勢若齢肥育牛		肥育を目的とする去勢若齢和牛を1頭以上飼養する経営	肥育を目的とする去勢若齢和牛を1頭以上飼養し、販売する経営	
乳用雄肥育牛		肥育を目的とする乳用雄牛を1頭以上飼養し、販売する経営	肥育を目的とする乳用雄牛を1頭以上飼養し、販売する経営	
交雑種肥育牛		肥育を目的とする交雑種牛を1頭以上飼養し、販売する経営	肥育を目的とする交雑種牛を1頭以上飼養し、販売する経営	
子牛		肉用種の繁殖雌牛を2頭以上飼養し、子牛を生産する経営	肉用種の繁殖雌牛を2頭以上飼養し、子牛を生産して販売する経営	

変 更 案		変 更 前		変 更 点 及 び 理 由
乳用雄育成牛	育成を目的とする乳用雄育成牛を5頭以上飼養し、販売する経営	乳用雄育成牛	育成を目的とする乳用雄育成牛を5頭以上飼養し、販売する経営	
交雑種育成牛	育成を目的とする交雑種牛を5頭以上飼養し、販売する経営	交雑種育成牛	育成を目的とする交雑種牛を5頭以上飼養し、販売する経営	
肥育豚	肥育豚を年間20頭以上販売し、肥育用もと豚に占める自家生産子豚の割合が7割以上の経営	肥育豚	肥育豚を年間20頭以上販売し、肥育用もと豚に占める自家生産子豚の割合が7割以上の経営	
別添3 (略)		別添3 (略)		

変更案	変更前	変更点及び理由
<p>別添4</p> <p>(削除)</p>	<p>別添4</p> <p>農業経営統計調査の集計事項一覧</p> <p>目次</p> <p>1. 畜産経営別経営統計 (1) 水田作経営 (2) 畑作経営 (3) 兼作経営 (4) 専作経営 (5) 花作経営 (6) 施設経営 (7) 肉用牛経営 (8) 養豚経営 (9) 採卵鶏経営 (10) フレイター兼経営</p> <p>2. 組織法人経営統計 (1) 水田作経営 (2) 畑作経営 (3) 専作経営 (4) 兼作経営 (5) 専作経営 (6) 施設経営 (7) 肉用牛経営 (8) 養豚経営 (9) 採卵鶏経営 (10) フレイター兼経営</p> <p>3. 集落営農型組織経営体(水田作) (1) 組織法人経営体 (2) 任意組織経営体</p> <p>別添4</p> <p>農業経営統計調査の集計事項一覧</p> <p>10 12</p> <p>本文内の記号の意味</p> <p>●：3主体以上あれば全てを行政機関 ○：一部を行政機関(平均値のみ(一社地協等)) △：調査実施 ×：統計しない</p>	<p>「本文内の記号の意味」について、「表章地域の範囲」欄の整理に伴い、記号により平均種類(平均又は階層別)を表す形式に変更する。また、「結果表閲覧」について、閲覧要望が僅少であることから削除する。</p> <p>営農類型別経営統計の任意組織経営体の統計を廃止することに伴い、「I 営農類型別経営統計」の「3 集落営農型組織経営体(水田作)」から「(2) 任意組織経営体」を削除する。</p>

変更案

変更前

変更点及び理由

農業経営統計調査の集計事項一覧

目次

I	畜産物生産費統計	6
1	1. 個別経営体	6
(1)	水田作経営	6
(2)	畑作経営	6
(3)	農林業兼営経営	6
(4)	農林業兼営経営	6
(5)	専業経営	6
(6)	兼業経営	6
(7)	専業経営	6
(8)	兼業経営	6
(9)	専業経営	6
(10)	兼業経営	6
(11)	専業経営	6
(12)	兼業経営	6
(13)	専業経営	6
(14)	兼業経営	6
(15)	専業経営	6
(16)	兼業経営	6
(17)	専業経営	6
(18)	兼業経営	6
(19)	専業経営	6
(20)	兼業経営	6
2.	組織法人経営体	7
(1)	水田作経営	7
(2)	畑作経営	7
(3)	農林業兼営経営	7
(4)	農林業兼営経営	7
(5)	専業経営	7
(6)	兼業経営	7
(7)	専業経営	7
(8)	兼業経営	7
(9)	専業経営	7
(10)	兼業経営	7
(11)	専業経営	7
(12)	兼業経営	7
(13)	専業経営	7
(14)	兼業経営	7
(15)	専業経営	7
(16)	兼業経営	7
(17)	専業経営	7
(18)	兼業経営	7
(19)	専業経営	7
(20)	兼業経営	7
II	畜産物生産費統計	6
1.	個別経営体	6
(1)	水田作経営	6
(2)	畑作経営	6
(3)	農林業兼営経営	6
(4)	農林業兼営経営	6
(5)	専業経営	6
(6)	兼業経営	6
(7)	専業経営	6
(8)	兼業経営	6
(9)	専業経営	6
(10)	兼業経営	6
(11)	専業経営	6
(12)	兼業経営	6
(13)	専業経営	6
(14)	兼業経営	6
(15)	専業経営	6
(16)	兼業経営	6
(17)	専業経営	6
(18)	兼業経営	6
(19)	専業経営	6
(20)	兼業経営	6
2.	組織法人経営体	7
(1)	水田作経営	7
(2)	畑作経営	7
(3)	農林業兼営経営	7
(4)	農林業兼営経営	7
(5)	専業経営	7
(6)	兼業経営	7
(7)	専業経営	7
(8)	兼業経営	7
(9)	専業経営	7
(10)	兼業経営	7
(11)	専業経営	7
(12)	兼業経営	7
(13)	専業経営	7
(14)	兼業経営	7
(15)	専業経営	7
(16)	兼業経営	7
(17)	専業経営	7
(18)	兼業経営	7
(19)	専業経営	7
(20)	兼業経営	7

本表内の記号の意味
 : 集計しない
 : 集計しない

農畜産物生産費統計の集計する統計を明示するため、「II 農畜産物生産費統計」に各統計を記載する。

農畜産物生産費統計に組織法人経営体の統計を追加することに伴い、「II 農畜産物生産費統計」に「2 組織法人経営体」を追加する。

変更案

変更前

変更点及び理由

(削除)

区分	調査の範囲	調査する部門等	調査地域の範囲			
			全国平均	都府県	農産物産出額	農産物産出額
Ⅰ 畜産別経営統計						
1. 養豚経営統計						
(1) 水田耕作	水田耕作区への調査 水田耕作区	経営全体	○	○	△	△
イ 水田作のうち耕作1位	水田作のうち耕作1位	経営全体、専従部門	○	○	△	△
ロ 水田作のうち耕作2位	水田作のうち耕作2位	専従部門	○	○	△	△
エ 水田作のうち耕作3位	水田作のうち耕作3位	専従部門	○	○	△	△
オ 水田作のうち耕作4位	水田作のうち耕作4位	専従部門	○	○	△	△
カ 水田作で専従1位産出額のうち専従	水田作で専従1位産出額のうち専従	専従部門	○	○	△	△
キ 水田作で専従1位産出額のうち兼従	水田作で専従1位産出額のうち兼従	兼従部門	○	○	△	△
ク 水田作のうち兼従	水田作のうち兼従	兼従部門	○	○	△	△
コ 水田作のうち兼従1位	水田作のうち兼従1位	兼従部門	○	○	△	△
カ 水田作のうち兼従	水田作のうち兼従	兼従部門	○	○	△	△
シ 水田作のうち兼従1位	水田作のうち兼従1位	兼従部門	○	○	△	△

(削除)

区分	調査の範囲	調査する部門等	調査地域の範囲			
			全国平均	都府県	農産物産出額	農産物産出額
(2) 耕作区						
ア 耕作						
イ 北海道耕作のうち兼従	耕作区への調査 兼従部門	経営全体	○	○	△	△
ロ 北海道耕作のうち兼従	耕作区への調査 兼従部門	経営全体、兼従部門	○	○	△	△
エ 北海道耕作のうちばいしよ	耕作区への調査 ばいしよ部門	経営全体、ばいしよ部門	○	○	△	△
オ 北海道耕作のうち工業兼従	耕作区への調査 工業兼従部門	経営全体、工業兼従部門	○	○	△	△
カ 耕作区耕作のうち兼(関東、東山、東海、近畿、九州)	耕作区への調査 兼従部門	経営全体、兼従部門	○	○	△	△
キ 耕作区耕作のうちさとうまひ(九州、沖縄)	耕作区への調査 さとうまひ部門	経営全体、さとうまひ部門	○	○	△	△
ク 耕作区耕作のうちかんしよ(関東、東山、九州)	耕作区への調査 かんしよ部門	経営全体、かんしよ部門	○	○	△	△
ケ 耕作区耕作のうちばいしよ(関東、東山、九州)	耕作区への調査 ばいしよ部門	経営全体、ばいしよ部門	○	○	△	△

今般の農業経営統計調査の調査計画変更に伴う標本数の減少により代表性が担保できる表章範囲が制限されることから、「表章地域の範囲」欄を、「全国」、「都府県・北海道別」及び「農業地域別」に整理し、「県別」を削除する。

なお、各区分において表章する平均種類(平均又は階層別)については記号により表し、表章する地域が特定の地域又は府県である場合は「備考」欄に明示する形式へ変更する。

また、「区分」欄に記載する集計名称を、公表する集計名称に統一するとともに、指定部門の削除・廃止に伴い、「表章する部門等」欄を削除する(以下「Ⅱ 農畜産物生産費」及び「Ⅲ 経営形態別経営統計」において同じ。)

変更案

変更前

変更点及び理由

標本数の減少により代表性の担保が困難となることから、「1 個別経営体」の「(1) 水田作経営の水田作で稲作1位複合のうち麦類・豆類」等の集計を削除する。

(削除)

区分	調査の項目	調査する部門等	調査対象の範囲			
			全農(中)調査対象	全農(中)調査対象外	全農(中)調査対象外	全農(中)調査対象外
(3) 野菜作経営 ア 野菜作	野菜の作付区へ直接	経営全体	○	△	△	△
イ 野菜作のうち稲作経営1位	経営全体の作付区へ直接	経営全体、稲作経営部門	○	△	△	△
ウ 野菜作のうち稲作経営2位	経営全体の作付区へ直接	経営全体、稲作経営部門	○	△	△	△
エ 稲作経営のうち稲作経営1位	経営全体の作付区へ直接	経営全体、稲作経営部門	○	△	△	△
オ 稲作経営のうち稲作経営2位	経営全体の作付区へ直接	経営全体、稲作経営部門	○	△	△	△
カ 稲作経営のうち稲作経営3位	経営全体の作付区へ直接	経営全体、稲作経営部門	○	△	△	△
キ 稲作経営のうち稲作経営4位	経営全体の作付区へ直接	経営全体、稲作経営部門	○	△	△	△
ク 稲作経営のうち稲作経営5位	経営全体の作付区へ直接	経営全体、稲作経営部門	○	△	△	△
ケ 稲作経営のうち稲作経営6位	経営全体の作付区へ直接	経営全体、稲作経営部門	○	△	△	△
コ 野菜作のうち稲作経営1位	経営全体の作付区へ直接	経営全体、稲作経営部門	○	△	△	△
カ 野菜作のうち稲作経営2位	経営全体の作付区へ直接	経営全体、稲作経営部門	○	△	△	△
ク 稲作経営のうち稲作経営1位	経営全体の作付区へ直接	経営全体、稲作経営部門	○	△	△	△
シ 稲作経営のうち稲作経営2位	経営全体の作付区へ直接	経営全体、稲作経営部門	○	△	△	△

(削除)

区分	調査の項目	調査する部門等	調査対象の範囲			
			全農(中)調査対象	全農(中)調査対象外	全農(中)調査対象外	全農(中)調査対象外
(3) 野菜作経営 (ついで)	野菜の作付区へ直接	経営全体、稲作経営部門	○	△	△	△
シ 稲作経営のうち稲作経営1位	経営全体の作付区へ直接	経営全体、稲作経営部門	○	△	△	△
ソ 稲作経営のうち稲作経営2位	経営全体の作付区へ直接	経営全体、稲作経営部門	○	△	△	△
(4) 果樹作経営 ア 果樹作	果樹の栽培区へ直接	経営全体	○	△	△	△
イ 果樹作のうち果樹経営1位	果樹の栽培区へ直接	経営全体、みかん部門	○	△	△	△
ウ 果樹作のうちみかん	果樹の栽培区へ直接	経営全体、みかん部門	○	△	△	△
エ 果樹作のうちりんご	果樹の栽培区へ直接	経営全体、りんご部門	○	△	△	△
オ 果樹作のうちなし	果樹の栽培区へ直接	経営全体、なし部門	○	△	△	△
カ 果樹作のうちぶどう	果樹の栽培区へ直接	経営全体、ぶどう部門	○	△	△	△
キ 果樹作のうちもも	果樹の栽培区へ直接	経営全体、もも部門	○	△	△	△

変更案

変更前

変更点及び理由

(削除)

区分	開催の趣旨	実施する部門等	全国及び近畿地方の開催実績	近畿地域の開催実績	開催時期
(6) 花を伴った ア 花を伴った イ 花を伴った ウ 花を伴った エ 花を伴った オ 花を伴った	花を伴った 花を伴った 花を伴った 花を伴った 花を伴った 花を伴った	経営本部 経営本部、環境安全部門 経営本部、施設安全部門 経営本部、施設安全部門 経営本部、施設安全部門 経営本部、施設安全部門	○ ○ ○ ○ ○ ○	△ △ △ △ △ △	× × × × × ×
(6) 花を伴った ア 花を伴った イ 花を伴った ウ 花を伴った	花を伴った 花を伴った 花を伴った 花を伴った	経営本部 経営本部、環境安全部門 経営本部、施設安全部門 経営本部、施設安全部門	○ ○ ○ ○	△ △ △ △	× × × ×
(7) 花を伴った ア 花を伴った イ 花を伴った ウ 花を伴った エ 花を伴った オ 花を伴った カ 花を伴った	花を伴った 花を伴った 花を伴った 花を伴った 花を伴った 花を伴った 花を伴った	経営本部 経営本部、環境安全部門 経営本部、施設安全部門 経営本部、施設安全部門 経営本部、施設安全部門 経営本部、施設安全部門 経営本部、施設安全部門	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	△ △ △ △ △ △ △	× × × × × × ×

(削除)

区分	開催の趣旨	実施する部門等	全国及び近畿地方の開催実績	近畿地域の開催実績	開催時期
(8) 花を伴った ア 花を伴った イ 花を伴った ウ 花を伴った エ 花を伴った オ 花を伴った	花を伴った 花を伴った 花を伴った 花を伴った 花を伴った 花を伴った	経営本部 経営本部、環境安全部門 経営本部、施設安全部門 経営本部、施設安全部門 経営本部、施設安全部門 経営本部、施設安全部門	○ ○ ○ ○ ○ ○	△ △ △ △ △ △	× × × × × ×
(9) 花を伴った ア 花を伴った イ 花を伴った ウ 花を伴った エ 花を伴った オ 花を伴った	花を伴った 花を伴った 花を伴った 花を伴った 花を伴った 花を伴った	経営本部 経営本部、環境安全部門 経営本部、施設安全部門 経営本部、施設安全部門 経営本部、施設安全部門 経営本部、施設安全部門	○ ○ ○ ○ ○ ○	△ △ △ △ △ △	× × × × × ×
(10) 花を伴った ア 花を伴った イ 花を伴った	花を伴った 花を伴った 花を伴った	経営本部 経営本部、環境安全部門 経営本部、施設安全部門	○ ○ ○	△ △ △	× × ×

変更案

変更前

変更点及び理由

(削除)

区分	業務の範囲	対象する部門等	変更後の範囲		
			変更前 業務の範囲	変更後 業務の範囲	変更 理由
2. 組織人経費 ア 水田作	水田作付延べ面積	経営全体	○	○	△
イ 水田作のうち稲作	水田作付延べ面積	経営全体、稲作部門	○	○	△
ウ 水田作のうち稲作1位	水田作付面積	経営全体、稲作部門	○	○	△
エ 水田作のうち稲作第一	水田作付面積	経営全体、稲作部門	○	○	△
オ 水田作のうち稲作1位割合	平均値のみ	経営全体、稲作部門	○ (平均)	○ (平均)	△
カ 水田作のうち稲作	水田作付延べ面積	経営全体、稲作部門	○	○	△
キ 水田作のうち稲作	水田作付延べ面積	経営全体、稲作部門	○	○	△
(2) 稲作経営 ア 稲作	稲作付延べ面積	経営全体	○	○	△
(3) 稲作経営 ア 稲作	稲作付延べ面積	経営全体	○	○	△
イ 稲作のうち稲作1位	稲作付延べ面積	経営全体、稲作部門	○	○	△
ウ 稲作のうち稲作1位	稲作付延べ面積	経営全体、稲作部門	○	○	△
(4) 稲作経営 ア 稲作	稲作付延べ面積	経営全体	○	○	△

指定部門の廃止に伴い、「2 組織経営体」の「(1) 水田作経営」の「イ 水田作のうち稲作」等の集計を削除する。

(削除)

区分	業務の範囲	対象する部門等	変更後の範囲		
			変更前 業務の範囲	変更後 業務の範囲	変更 理由
(6) 花き作経営 ア 花き作	花きの作付面積	経営全体	○	○	△
イ 花き作のうち種花作1位	種花作の作付面積	経営全体、種花作部門	○	○	△
ウ 花き作のうち種花作1位	種花作の作付面積	経営全体、種花作部門	○	○	△
(8) 種花経営 ア 種花	種花作の作付面積	経営全体、種花部門	○	○	△
(7) 花き作経営 ア 種花	種花作の作付面積	経営全体	○	○	△
イ 種花のうち種花1位	種花作の作付面積	経営全体、種花部門	○	○	△
ウ 種花のうち種花1位	種花作の作付面積	経営全体、種花部門	○	○	△
(8) 種花経営 ア 種花	種花作の作付面積	経営全体、種花部門	○	○	△
(8) 種花経営 ア 種花	種花作の作付面積	経営全体、種花部門	○	○	△
(10) プロイカー一輪車 ア プロイカー一輪車	プロイカー販売数	経営全体、プロイカー部門	○	○	△

変更案	変更前	変更点及び理由																																																																																															
(削除)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">調査の項目</th> <th rowspan="2">調査する部門等</th> <th colspan="4">調査年度の調査結果</th> </tr> <tr> <th>全国平均 調査年度</th> <th>調査年度 調査年度</th> <th>調査年度 調査年度</th> <th>調査年度 調査年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3. 農業集落営農組織経営体（水田作経営） (1) 農業集落営農組織経営体 イ 水田作のうち稲作</td> <td>水田作経営への関係 水田作経営への関係 水田作経営への関係</td> <td>経営全体 経営全体、稲作部門</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>ウ 水田作のうち稲作主位</td> <td>平均値のみ</td> <td>経営全体、稲作部門</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>エ 水田作のうち稲作専一</td> <td>平均値のみ</td> <td>経営全体、稲作部門</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>オ 水田作のうち稲作1位割合</td> <td>平均値のみ</td> <td>経営全体、稲作部門</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>カ 水田作のうち兼業</td> <td>平均値のみ</td> <td>経営全体、稲作部門</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>キ 水田作のうち専業</td> <td>平均値のみ</td> <td>経営全体、稲作部門</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>(2) 任意組織経営体 イ 水田作のうち稲作</td> <td>水田作経営への関係 水田作経営への関係 水田作経営への関係</td> <td>経営全体 経営全体、稲作部門</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>ウ 水田作のうち稲作1位</td> <td>平均値のみ</td> <td>経営全体、稲作部門</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>エ 水田作のうち稲作専一</td> <td>平均値のみ</td> <td>経営全体、稲作部門</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>オ 水田作のうち稲作1位割合</td> <td>平均値のみ</td> <td>経営全体、稲作部門</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>カ 水田作のうち兼業</td> <td>平均値のみ</td> <td>経営全体、稲作部門</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>キ 水田作のうち専業</td> <td>平均値のみ</td> <td>経営全体、稲作部門</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>	区分	調査の項目	調査する部門等	調査年度の調査結果				全国平均 調査年度	調査年度 調査年度	調査年度 調査年度	調査年度 調査年度	3. 農業集落営農組織経営体（水田作経営） (1) 農業集落営農組織経営体 イ 水田作のうち稲作	水田作経営への関係 水田作経営への関係 水田作経営への関係	経営全体 経営全体、稲作部門	○	○	○	△	ウ 水田作のうち稲作主位	平均値のみ	経営全体、稲作部門	○	○	○	△	エ 水田作のうち稲作専一	平均値のみ	経営全体、稲作部門	○	○	○	△	オ 水田作のうち稲作1位割合	平均値のみ	経営全体、稲作部門	○	○	○	△	カ 水田作のうち兼業	平均値のみ	経営全体、稲作部門	○	○	○	△	キ 水田作のうち専業	平均値のみ	経営全体、稲作部門	○	○	○	△	(2) 任意組織経営体 イ 水田作のうち稲作	水田作経営への関係 水田作経営への関係 水田作経営への関係	経営全体 経営全体、稲作部門	○	○	○	△	ウ 水田作のうち稲作1位	平均値のみ	経営全体、稲作部門	○	○	○	△	エ 水田作のうち稲作専一	平均値のみ	経営全体、稲作部門	○	○	○	△	オ 水田作のうち稲作1位割合	平均値のみ	経営全体、稲作部門	○	○	○	△	カ 水田作のうち兼業	平均値のみ	経営全体、稲作部門	○	○	○	△	キ 水田作のうち専業	平均値のみ	経営全体、稲作部門	○	○	○	△	<p>任意組織経営体の統計を廃止することに伴い、「3 集落営農組織経営体（水田作経営）」の「(2) 任意組織経営体」の集計を削除する。</p>
区分	調査の項目				調査する部門等	調査年度の調査結果																																																																																											
		全国平均 調査年度	調査年度 調査年度	調査年度 調査年度		調査年度 調査年度																																																																																											
3. 農業集落営農組織経営体（水田作経営） (1) 農業集落営農組織経営体 イ 水田作のうち稲作	水田作経営への関係 水田作経営への関係 水田作経営への関係	経営全体 経営全体、稲作部門	○	○	○	△																																																																																											
ウ 水田作のうち稲作主位	平均値のみ	経営全体、稲作部門	○	○	○	△																																																																																											
エ 水田作のうち稲作専一	平均値のみ	経営全体、稲作部門	○	○	○	△																																																																																											
オ 水田作のうち稲作1位割合	平均値のみ	経営全体、稲作部門	○	○	○	△																																																																																											
カ 水田作のうち兼業	平均値のみ	経営全体、稲作部門	○	○	○	△																																																																																											
キ 水田作のうち専業	平均値のみ	経営全体、稲作部門	○	○	○	△																																																																																											
(2) 任意組織経営体 イ 水田作のうち稲作	水田作経営への関係 水田作経営への関係 水田作経営への関係	経営全体 経営全体、稲作部門	○	○	○	△																																																																																											
ウ 水田作のうち稲作1位	平均値のみ	経営全体、稲作部門	○	○	○	△																																																																																											
エ 水田作のうち稲作専一	平均値のみ	経営全体、稲作部門	○	○	○	△																																																																																											
オ 水田作のうち稲作1位割合	平均値のみ	経営全体、稲作部門	○	○	○	△																																																																																											
カ 水田作のうち兼業	平均値のみ	経営全体、稲作部門	○	○	○	△																																																																																											
キ 水田作のうち専業	平均値のみ	経営全体、稲作部門	○	○	○	△																																																																																											

変更点及び理由

変更前

変更案

区分	附帯の箇所	設置地域の範囲		備考
		全国	設置地域	
【 重要施設別設置概算表】				
1 重要施設				
(1) 水田作区	水田作付延べ面積	○	○	
イ 稲作区	稲作付面積	○	○	
ウ 稲作単一経営	稲作単一経営	○	○	
エ 稲作1位経営	稲作1位経営	○	○	
オ 稲作1位兼台経営	稲作1位兼台経営	○	○	
カ 兼業作区	兼業作付面積	○	○	※1 北海道のみ ※2 関東・東山及び九州のみ
キ 兼業作1位経営	兼業作1位経営	○	○	
ク 大豆作区	大豆作付面積	○	○	
ケ 大豆作1位経営	大豆作1位経営	○	○	
(2) 畑作区	畑作付延べ面積	○	○	
イ 兼業作区	兼業作付面積	○	○	※ 北海道のみ
ウ 大豆作区	大豆作付面積	○	○	※1 北海道のみ ※2 関東・東山及び九州のみ
エ ばいしよ作区	ばいしよ作付面積	○	○	
オ てんさい作区	てんさい作付面積	○	○	※ 北海道のみ
カ 米作区				
キ そとより経営		○	○	※ 関東・東山・東海、近畿及び九州のみ
ク からしよ作区		○	○	※ 九州及び沖縄のみ
(3) 農地野営作区		○	○	※ 関東・東山及び九州のみ
イ 農地野営作単一経営	農地野営作付延べ面積	○	○	※ 北海道のみ
ウ 農地キャンプ作区		○	○	※
エ 農地まうおんそ作区		○	○	
オ 農地レラス作区		○	○	
カ 農地白ね足作区		○	○	
ク 農地ごんじん作区		○	○	
(4) 施設野営作区				
イ 施設野営作単一経営	施設野営作付延べ面積	○	○	※
ウ 施設まうらり作区		○	○	※
エ 施設大玉トート作区		○	○	
オ 施設ごんじん作区		○	○	

変更案

変更前

変更点及び理由

区分	課題の種類	調査地域の範囲		備考
		全国	調査地域・調査地域外	
(5) 果樹作業者 ア 果樹作業者 イ 果樹作業者一団	果樹作業者 ア 果樹作業者 イ 果樹作業者一団	○	○	※ 北海道のみ ※
ウ リンゴ作業者 エ みかん作業者	りんご作業者 みかん作業者	○	○	※ 東北及び関東・東山のみ ※ 関東、近畿、中国、四国及び九州のみ
オ なし作業者	なし作業者	○	○	※ 東北、関東・東山、東海、中国及び九州のみ
カ ぶどう作業者	ぶどう作業者	○	○	※ 東北、関東・東山、中国及び九州のみ
キ もも作業者	もも作業者	○	○	※ 東北、関東・東山、中国及び九州のみ
(6) 露地花き作業者 ア 露地花き作業者 イ 露地花き作業者一団	露地花き作業者 ア 露地花き作業者 イ 露地花き作業者一団	○	○	※ 東北、関東・東山、中国及び九州のみ
(7) 施設花き作業者 ア 施設花き作業者 イ 施設花き作業者一団	施設花き作業者 ア 施設花き作業者 イ 施設花き作業者一団	○	○	※ 東北、関東・東山、中国及び九州のみ

区分	課題の種類	調査地域の範囲		備考
		全国	調査地域・調査地域外	
(8) 飼料採取 ア 飼料採取 イ 飼料採取一団	飼料採取 ア 飼料採取 イ 飼料採取一団	○	○	※ 福岡のみ
ウ 飼料配合業者	飼料配合業者	○	○	※ 北海道は平均値のみ
(9) 繁殖中継業者 ア 繁殖中継業者 イ 繁殖中継業者一団	繁殖中継業者 ア 繁殖中継業者 イ 繁殖中継業者一団	○	○	※
ウ 繁殖中継業者 (肉用種別主)	繁殖中継業者 (肉用種別主)	○	○	※
エ 繁殖中継業者 (乳用種別主)	繁殖中継業者 (乳用種別主)	○	○	※
(11) 繁殖検査 ア 繁殖検査 イ 繁殖検査一団	繁殖検査 ア 繁殖検査 イ 繁殖検査一団	○	○	※
(12) 採卵検査 ア 採卵検査 イ 採卵検査一団	採卵検査 ア 採卵検査 イ 採卵検査一団	○	○	※
(13) プロイカー養鶏検査	プロイカー養鶏検査	○	○	※

変 更 案	変 更 前		変 更 点 及 び 理 由																																																																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 20%;">区 分</th> <th rowspan="2" style="width: 20%;">措置の種類</th> <th colspan="2" style="width: 20%;">変 更 措 施 の 範 囲</th> <th rowspan="2" style="width: 20%;">備 考</th> </tr> <tr> <th style="width: 10%;">田 圃 別</th> <th style="width: 10%;">農 業 地 域 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2. 稲作地区 (1) 水田 イ 農作家営型</td> <td rowspan="2">水田作付地→面積 # 畑作作付地→面積</td> <td>◎</td> <td>○*</td> <td rowspan="2">※ 東北及び北陸のみ #</td> </tr> <tr> <td>(2) 畑作経営</td> <td>◎</td> <td>○*</td> </tr> <tr> <td>(3) 農地野営作経営</td> <td></td> <td>◎</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(4) 施設野菜作経営</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(5) 果樹作経営</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(6) 農地充て作経営</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(7) 施設花卉作経営</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(8) 園芸経営</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(9) 養蚕経営</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(10) 肥後牛経営</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(11) 養豚経営</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(12) 採卵鶏経営</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(13) プロイター養鶏経営</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	措置の種類	変 更 措 施 の 範 囲		備 考	田 圃 別	農 業 地 域 別	2. 稲作地区 (1) 水田 イ 農作家営型	水田作付地→面積 # 畑作作付地→面積	◎	○*	※ 東北及び北陸のみ #	(2) 畑作経営	◎	○*	(3) 農地野営作経営		◎	×		(4) 施設野菜作経営		○	×		(5) 果樹作経営		○	×		(6) 農地充て作経営		○	×		(7) 施設花卉作経営		○	×		(8) 園芸経営		○	×		(9) 養蚕経営		○	×		(10) 肥後牛経営		○	×		(11) 養豚経営		○	×		(12) 採卵鶏経営		○	×		(13) プロイター養鶏経営		○	×				
区 分			措置の種類	変 更 措 施 の 範 囲		備 考																																																																			
	田 圃 別	農 業 地 域 別																																																																							
2. 稲作地区 (1) 水田 イ 農作家営型	水田作付地→面積 # 畑作作付地→面積	◎	○*	※ 東北及び北陸のみ #																																																																					
(2) 畑作経営		◎	○*																																																																						
(3) 農地野営作経営		◎	×																																																																						
(4) 施設野菜作経営		○	×																																																																						
(5) 果樹作経営		○	×																																																																						
(6) 農地充て作経営		○	×																																																																						
(7) 施設花卉作経営		○	×																																																																						
(8) 園芸経営		○	×																																																																						
(9) 養蚕経営		○	×																																																																						
(10) 肥後牛経営		○	×																																																																						
(11) 養豚経営		○	×																																																																						
(12) 採卵鶏経営		○	×																																																																						
(13) プロイター養鶏経営		○	×																																																																						

変更案

変更前

変更点及び理由

(削除)

区分	種別の種類	採取する部門等	検査場での検査項目	検査場での検査項目
Ⅱ 畜産物生産量統計				
1. 個別飼養体				
(1) 牛	水産物生産体	牛の生産体等	○	○
(2) 小羊	小羊生産体	小羊の生産体、即産期の生産体等	○	○
(3) 二毛犬	二毛犬生産体	二毛犬の生産体等	○	○
(4) 六毛犬	六毛犬生産体	六毛犬の生産体等	○	○
(5) はだか犬	はだか犬生産体	はだか犬の生産体等	○	○
(6) 犬	犬生産体	犬の生産体、即産期の生産体等	○	○
(7) そば	そば生産体	そばの生産体等	○	○
(8) 黒豚	黒豚生産体	黒豚の生産体等	○	○
(9) 黒豚	黒豚生産体	黒豚の生産体等	○	○
(10) 豚	豚生産体	豚の生産体等	○	○
(11) 豚	豚生産体	豚の生産体等	○	○
(12) さとらぎ	さとらぎ生産体	さとらぎの生産体等	○	○

(削除)

区分	種別の種類	採取する部門等	検査場での検査項目	検査場での検査項目
(13) 牛乳	牛乳生産体	牛乳の生産体等	○	○
(14) 牛乳	牛乳生産体	牛乳の生産体等	○	○
(15) 牛乳	牛乳生産体	牛乳の生産体等	○	○
(16) 牛乳	牛乳生産体	牛乳の生産体等	○	○
(17) 牛乳	牛乳生産体	牛乳の生産体等	○	○
(18) 牛乳	牛乳生産体	牛乳の生産体等	○	○
(19) 牛乳	牛乳生産体	牛乳の生産体等	○	○
(20) 牛乳	牛乳生産体	牛乳の生産体等	○	○

変更案

変更前

変更点及び理由

区分	農産物の種類	調査地域の範囲			備考
		全国	調査地域	調査地域以外	
Ⅱ 農産物生産費統計					
1 飼料調査枠					
(1) 米生産費	水稲作付面積	○	○	○	その他、府県別平均値を調査
(2) 小麦生産費	小麦作付面積	○	○	○	茨城県、東山及び九州のみ
(3) 大豆生産費	大豆作付面積	○	○	○	
(4) 大麦生産費	大麦作付面積	○	○	○	
(5) 飼料用穀類生産費	飼料用穀類作付面積	○	○	○	
(6) 大豆生産費	大豆作付面積	○	○	○	
(7) 小麦生産費	小麦作付面積	○	○	○	
(8) 大麦生産費	大麦作付面積	○	○	○	
(9) 飼料用穀類生産費	飼料用穀類作付面積	○	○	○	
(10) なたね生産費	なたね作付面積	○	○	○	
(11) てんさい生産費	てんさい作付面積	○	○	○	
(12) さとうキビ生産費	さとうキビ作付面積	○	○	○	

組織法人経営体の統計を追加することに伴い、「2 組織法人経営体」の集計を追加する。

区分	農産物の種類	調査地域の範囲			備考
		全国	調査地域	調査地域以外	
(13) 牛乳生産費	牛乳牛飼養頭数	○	○	○	
(14) 牛乳生産費	牛乳牛飼養頭数	○	○	○	
(15) 乳用種畜牛飼養頭数	乳用種畜牛飼養頭数	○	○	○	
(16) 子牛生産費	子牛飼養頭数	○	○	○	
(17) 乳用種畜牛飼養頭数	乳用種畜牛飼養頭数	○	○	○	
(18) 交雑種畜牛飼養頭数	交雑種畜牛飼養頭数	○	○	○	
(19) 交雑種畜牛飼養頭数	交雑種畜牛飼養頭数	○	○	○	
(20) 配種牛飼養頭数	配種牛飼養頭数	○	○	○	
2 組織法人経営体					
(1) 米生産費		○	○	○	
(2) 小麦生産費		○	○	○	
(3) 大豆生産費		○	○	○	

変更案	変更前	変更点及び理由																																																																																						
<p>(削除)</p> <table border="1" data-bbox="730 1234 983 2007"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">種別の種類</th> <th colspan="2">農業地域の範囲</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>全農</th> <th>農業地域別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 特定特別経営統計</td> <td rowspan="6">農業地域別</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1 個別経営体</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(1) 個別経営体</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 主副業別</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3) 認定農業者のいる経営体</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(4) 農業労働力保有状況別</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 農協法人経営体</td> <td></td> <td>○</td> <td>○*</td> <td>※ 北海道のみ</td> </tr> </tbody> </table>	区分	種別の種類	農業地域の範囲		備考	全農	農業地域別	1 特定特別経営統計	農業地域別				1 個別経営体	○	◎		(1) 個別経営体	○	○		(2) 主副業別	○	○		(3) 認定農業者のいる経営体	○	○		(4) 農業労働力保有状況別	○	○		2 農協法人経営体		○	○*	※ 北海道のみ	<table border="1" data-bbox="347 434 667 1200"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">種別の種類</th> <th rowspan="2">調査する部門等</th> <th colspan="4">農業地域の範囲</th> </tr> <tr> <th>全農</th> <th>農業地域別</th> <th>農業地域別</th> <th>農業地域別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 個別経営体</td> <td rowspan="6">農業地域別</td> <td rowspan="6">経営の状況、経営会社</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>(1) 個別経営体</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>(2) 主副業別</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>(3) 認定農業者のいる経営体</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>(4) 農業労働力保有状況別</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>(5) 農協経営関係年等の農業主従別</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>2 農協法人経営体</td> <td></td> <td></td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	区分	種別の種類	調査する部門等	農業地域の範囲				全農	農業地域別	農業地域別	農業地域別	1 個別経営体	農業地域別	経営の状況、経営会社	○	◎	◎	△	(1) 個別経営体	○	◎	◎	△	(2) 主副業別	○	◎	◎	△	(3) 認定農業者のいる経営体	○	◎	◎	△	(4) 農業労働力保有状況別	○	◎	◎	△	(5) 農協経営関係年等の農業主従別	○	◎	◎	△	2 農協法人経営体			◎	◎	◎	<p>「1 個別経営体」について、分類指標（農業労働力）に共通性がある集計（「(2) 主副業別」、「(4) 農業労働力保有状況別」及び「(5) 農業経営関係年等の農業主従別」）のうち、行政利用が低い「(4) 農業労働力保有状況別」及び「(5) 農業経営関係年等の農業主従別」の集計を削除する。</p>
区分			種別の種類	農業地域の範囲		備考																																																																																		
	全農	農業地域別																																																																																						
1 特定特別経営統計	農業地域別																																																																																							
1 個別経営体		○	◎																																																																																					
(1) 個別経営体		○	○																																																																																					
(2) 主副業別		○	○																																																																																					
(3) 認定農業者のいる経営体		○	○																																																																																					
(4) 農業労働力保有状況別		○	○																																																																																					
2 農協法人経営体		○	○*	※ 北海道のみ																																																																																				
区分	種別の種類	調査する部門等	農業地域の範囲																																																																																					
			全農	農業地域別	農業地域別	農業地域別																																																																																		
1 個別経営体	農業地域別	経営の状況、経営会社	○	◎	◎	△																																																																																		
(1) 個別経営体			○	◎	◎	△																																																																																		
(2) 主副業別			○	◎	◎	△																																																																																		
(3) 認定農業者のいる経営体			○	◎	◎	△																																																																																		
(4) 農業労働力保有状況別			○	◎	◎	△																																																																																		
(5) 農協経営関係年等の農業主従別			○	◎	◎	△																																																																																		
2 農協法人経営体			◎	◎	◎																																																																																			

変更案	変更前	変更点及び理由																																																																																																						
<p>別添5 農業経営統計調査の公表時期</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>統計</th> <th>公表時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">営農類型別経営統計</td> </tr> <tr> <td>個別経営体</td> <td>翌年十一月</td> </tr> <tr> <td>組織法人経営体</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">農畜産物生産費統計(個別経営体)</td> </tr> <tr> <td>米</td> <td>翌年十一月</td> </tr> <tr> <td>小麦</td> <td>翌年六月</td> </tr> <tr> <td>二条大麦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>六条大麦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>はだか麦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>そば</td> <td>翌年八月</td> </tr> <tr> <td>大豆</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原料用ばれいしよ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原料用かんしよ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>なたね</td> <td>翌年六月</td> </tr> <tr> <td>てんさい</td> <td>翌年七月</td> </tr> <tr> <td>さとうきび</td> <td>翌年八月</td> </tr> <tr> <td>牛乳</td> <td>翌年十月</td> </tr> <tr> <td>去勢若齢肥育牛</td> <td></td> </tr> <tr> <td>乳用雄肥育牛</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交雑種肥育牛</td> <td></td> </tr> <tr> <td>子牛</td> <td></td> </tr> <tr> <td>乳用雄育成牛</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交雑種育成牛</td> <td></td> </tr> <tr> <td>肥育豚</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	統計	公表時期	営農類型別経営統計		個別経営体	翌年十一月	組織法人経営体		農畜産物生産費統計(個別経営体)		米	翌年十一月	小麦	翌年六月	二条大麦		六条大麦		はだか麦		そば	翌年八月	大豆		原料用ばれいしよ		原料用かんしよ		なたね	翌年六月	てんさい	翌年七月	さとうきび	翌年八月	牛乳	翌年十月	去勢若齢肥育牛		乳用雄肥育牛		交雑種肥育牛		子牛		乳用雄育成牛		交雑種育成牛		肥育豚		<p>別添5 農業経営統計調査の公表時期</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>統計</th> <th>公表時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">営農類型別経営統計</td> </tr> <tr> <td>個別経営体</td> <td>翌年七月</td> </tr> <tr> <td>組織法人経営体</td> <td>翌年十月</td> </tr> <tr> <td>任意組織経営体</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">農畜産物生産費統計</td> </tr> <tr> <td>米</td> <td>翌年七月</td> </tr> <tr> <td>てんさい</td> <td></td> </tr> <tr> <td>そば</td> <td>翌年八月</td> </tr> <tr> <td>大豆</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原料用ばれいしよ</td> <td>翌年十月</td> </tr> <tr> <td>原料用かんしよ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>さとうきび</td> <td></td> </tr> <tr> <td>牛乳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>去勢若齢肥育牛</td> <td></td> </tr> <tr> <td>乳用雄肥育牛</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交雑種肥育牛</td> <td></td> </tr> <tr> <td>子牛</td> <td></td> </tr> <tr> <td>乳用雄育成牛</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交雑種育成牛</td> <td></td> </tr> <tr> <td>肥育豚</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小麦</td> <td>翌年六月</td> </tr> <tr> <td>二条大麦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>六条大麦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>はだか麦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>なたね</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	統計	公表時期	営農類型別経営統計		個別経営体	翌年七月	組織法人経営体	翌年十月	任意組織経営体		農畜産物生産費統計		米	翌年七月	てんさい		そば	翌年八月	大豆		原料用ばれいしよ	翌年十月	原料用かんしよ		さとうきび		牛乳		去勢若齢肥育牛		乳用雄肥育牛		交雑種肥育牛		子牛		乳用雄育成牛		交雑種育成牛		肥育豚		小麦	翌年六月	二条大麦		六条大麦		はだか麦		なたね		<p>任意組織経営体の統計を廃止するため。</p> <p>公表時期については、行政ニーズ等に伴う変更。</p>
統計	公表時期																																																																																																							
営農類型別経営統計																																																																																																								
個別経営体	翌年十一月																																																																																																							
組織法人経営体																																																																																																								
農畜産物生産費統計(個別経営体)																																																																																																								
米	翌年十一月																																																																																																							
小麦	翌年六月																																																																																																							
二条大麦																																																																																																								
六条大麦																																																																																																								
はだか麦																																																																																																								
そば	翌年八月																																																																																																							
大豆																																																																																																								
原料用ばれいしよ																																																																																																								
原料用かんしよ																																																																																																								
なたね	翌年六月																																																																																																							
てんさい	翌年七月																																																																																																							
さとうきび	翌年八月																																																																																																							
牛乳	翌年十月																																																																																																							
去勢若齢肥育牛																																																																																																								
乳用雄肥育牛																																																																																																								
交雑種肥育牛																																																																																																								
子牛																																																																																																								
乳用雄育成牛																																																																																																								
交雑種育成牛																																																																																																								
肥育豚																																																																																																								
統計	公表時期																																																																																																							
営農類型別経営統計																																																																																																								
個別経営体	翌年七月																																																																																																							
組織法人経営体	翌年十月																																																																																																							
任意組織経営体																																																																																																								
農畜産物生産費統計																																																																																																								
米	翌年七月																																																																																																							
てんさい																																																																																																								
そば	翌年八月																																																																																																							
大豆																																																																																																								
原料用ばれいしよ	翌年十月																																																																																																							
原料用かんしよ																																																																																																								
さとうきび																																																																																																								
牛乳																																																																																																								
去勢若齢肥育牛																																																																																																								
乳用雄肥育牛																																																																																																								
交雑種肥育牛																																																																																																								
子牛																																																																																																								
乳用雄育成牛																																																																																																								
交雑種育成牛																																																																																																								
肥育豚																																																																																																								
小麦	翌年六月																																																																																																							
二条大麦																																																																																																								
六条大麦																																																																																																								
はだか麦																																																																																																								
なたね																																																																																																								

変更案	変更前	変更点及び理由								
<table border="1" data-bbox="304 1245 464 1989"> <thead> <tr> <th colspan="2">農産物生産費統計（組織法人経営体）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>米</td> <td>翌年十月</td> </tr> <tr> <td>小麦</td> <td>翌年六月</td> </tr> <tr> <td>大豆</td> <td>翌年八月</td> </tr> </tbody> </table>	農産物生産費統計（組織法人経営体）		米	翌年十月	小麦	翌年六月	大豆	翌年八月		<p>農産物生産費統計において、組織法人経営体の統計を追加するため。</p>
農産物生産費統計（組織法人経営体）										
米	翌年十月									
小麦	翌年六月									
大豆	翌年八月									

調査計画（変更後）

1 調査の名称

農業経営統計調査

2 調査の目的

統計法（平成19年法律第53号。以下「法」という。）に基づき、農業経営統計（法第2条第4項第3号に規定する基幹統計）を作成し、農業経営体の経営及び農産物の生産費の実態を明らかにするとともに、農業行政に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

3 調査対象の範囲

(1) 地域的範囲

全国

(2) 属性的範囲

農業経営体のうち、農産物の販売を目的とする経営体（農業経営体の定義については、別添1を参照。）とし、次の2区分とする。

- ① 「個別経営体」とは、世帯による農業経営を行う経営体（法人格を有する経営体を含む。）をいう。
- ② 「組織法人経営体」とは、「個別経営体」以外で法人化している農事組合法人及び会社組織による経営体をいう。

4 報告を求める者

(1) 数

ア 営農類型別経営統計に係る調査（以下「経営統計調査」という。）については、4,626 個別経営体及び水田作（集落営農）以外の組織法人経営体については、2015年農林業センサスにより集められた情報を母集団とする。

組織法人経営体の水田作（集落営農）については、平成27年集落営農実態調査により集められた情報を母集団とする。

(内訳)

○個別経営体	4,170 (母集団	1,245,815)
水田作	1,300 (母集団	732,890)
畑作	635 (母集団	54,304)

野菜作	884 (母集団	198, 907)
果樹作	456 (母集団	153, 446)
花き作	100 (母集団	25, 928)
酪農	353 (母集団	15, 415)
肉用牛	203 (母集団	33, 699)
養豚	89 (母集団	2, 196)
採卵養鶏	50 (母集団	1, 526)
ブロイラー養鶏	50 (母集団	1, 318)
その他 ^(注1)	50 (母集団	26, 186)

(注1) 「その他」の情報は、経営形態別経営統計(個別経営体全体の経営統計)を作成する際のみ用いる。

○組織法人経営体	456 (母集団	16, 565)
水田作(集落営農)	139 (母集団	3, 360)
水田作(集落営農以外)	77 (母集団	3, 002)
畑作	40 (母集団	1, 079)
野菜作	60 (母集団	3, 252)
果樹作	30 (母集団	1, 072)
花き作	25 (母集団	930)
酪農	20 (母集団	761)
肉用牛	20 (母集団	878)
養豚	20 (母集団	1, 042)
採卵養鶏	15 (母集団	865)
ブロイラー養鶏	10 (母集団	324)

イ 農畜産物の生産費統計に係る調査(以下「生産費調査」という。)については、4,014
二条大麦、六条大麦、はだか麦及びびなたね以外については、2015年農林業センサス
により集められた情報を母集団とする。

二条大麦、六条大麦、はだか麦及びびなたねについては、平成26年度経営所得安定対
策等加入申請者情報により集められた情報を母集団とする。

(内訳)

○個別経営体	3, 891 (母集団	1, 072, 930)
米生産費	813 (母集団	868, 146)
小麦生産費	536 (母集団	32, 882)

二条大麦生産費	70 (母集団	6,436)
六条大麦生産費	47 (母集団	1,643)
はだか麦生産費	40 (母集団	571)
そば生産費	135 (母集団	23,256)
大豆生産費	442 (母集団	42,642)
原料用かんしょ生産費	66 (母集団	5,269)
原料用ばれいしょ生産費	82 (母集団	2,319)
なたね生産費	59 (母集団	574)
てんさい生産費	75 (母集団	7,090)
さとうきび生産費	114 (母集団	15,032)
牛乳生産費	435 (母集団	16,918)
去勢若齢肥育牛生産費	310 (母集団	8,049)
乳用雄肥育牛生産費	91 (母集団	1,186)
交雑種肥育牛生産費	101 (母集団	1,797)
子牛生産費	192 (母集団	35,187)
乳用雄育成牛生産費	52 (母集団	568)
交雑種育成牛生産費	58 (母集団	1,369)
肥育豚生産費	173 (母集団	1,996)
○組織法人経営体	123 (母集団	12,552)
米生産費	52 (母集団	7,508)
小麦生産費	33 (母集団	1,918)
大豆生産費	38 (母集団	3,126)

(2) 選定の方法 (□全数 ■無作為抽出 □有意抽出)

経営統計調査については、営農類型別及び農業経営体の種類ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により行う。

生産費調査については、品目別及び農業経営体の種類ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により行う。

詳細については、別添2のとおり。

なお、経営統計調査に係る標本抽出と、生産費調査に係る標本抽出は、別々に行う。標本抽出の結果として、経営統計調査の報告者となった農業経営体が、生産費調査の報告者となった場合には、双方の報告者となるが、双方の調査に共通する項目につい

ては重ねて報告を求めることはしない。

(3) 報告義務者

ア 農業経営体を代表する者は、後記5に掲げる事項について、配布された調査票又は電子化した調査票に記入又は入力して地方農政局等^(注2)の長にその定める期日までに提出し、地方農政局等の職員若しくは統計調査員に決算書類等の書類を開示若しくは経営データを提供し、又は職員若しくは統計調査員の質問に対し口頭で回答しなければならない。

(注2)「地方農政局等」とは、地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の農林水産センターをいう。

イ 農業経営体を代表する者が前記アの記入、入力、提出、開示、提供又は回答をすることができないときは、地方農政局等の職員が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者が後記5に掲げる事項について記入、入力、提出、開示、提供又は回答をしなければならない。

5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

(1) 報告を求める事項

ア 営農類型別経営統計に関する調査

(ア) 個別経営体にあつては世帯員の性別、生年月及び続柄その他世帯における地位並びに世帯員の就業区分及び在宅状況、組織法人経営体にあつては構成員の性別及び世帯の状況

(イ) 農業及び農業生産関連事業への投下労働時間

(ウ) 経営耕地面積その他農業経営体が使用する土地の面積

(エ) 農業経営体の財産に関する次の事項（個別経営体についての調査のうち農業経営に関与していない世帯員に関するものにあつては (iii) 及び (iv) を除く。）

(i) 土地、建物、自動車、農機具、農業用の永年性植物及び動物並びにその他の固定資産

(ii) 農産物及び農業生産資材の在庫量

(iii) 現金、預貯金、積立金、貸付金、有価証券及び売掛金

(iv) 借入金その他の負債

(オ) 農産物の種類別生産量及び処分内訳

(カ) 農業経営体の収入及び支出に関する次の事項（個別経営体についての調査のうち農業経営に関与していない世帯員に関するものにあつては (iii) 及び (iv) を除く。）

- (i) 農業収入及び農業支出
 - (ii) 農業生産関連事業収入及び農業生産関連事業支出
 - (iii) 農外収入及び農外支出
 - (iv) 個別経営体にあつては、年金その他の収入及び租税公課その他の負担
 - (v) 財産的収入及び財産的支出
 - (キ) その他前各号に掲げる事項に関連する事項
 - イ 農畜産物の生産費統計に関する調査
 - (ア) 個別経営体にあつては世帯員の性別、生年月及び就業区分、組織法人経営体にあつては構成員の状況
 - (イ) 当該生産費品目に関する投下労働時間
 - (ウ) 経営耕地面積その他農業経営体が使用する土地の面積
 - (エ) 農業経営体の財産に関する次の事項
 - (i) 建物、自動車、農機具及び動物並びにその他の固定資産
 - (ii) 現金、預貯金、積立金、貸付金、有価証券及び売掛金
 - (iii) 借入金その他の負債
 - (オ) 農産物の種類別生産量及び処分内訳
 - (カ) 当該生産費品目の収入
 - (キ) 当該生産費品目の生産のために投入された資材の使用量及びその価額
 - (ク) その他前各号に掲げる事項に関連する事項
 - ウ 上記ア及びイに掲げる事項の詳細については、別添3の1～3の3（調査票）のとおり。
- (2) 基準となる期日又は期間
 - ア 営農類型別経営統計に関する調査
 - (ア) 個別経営体
 - 毎年1月1日から12月31日の期間
 - (イ) 組織法人経営体
 - 毎年、決算の対象となった年の1年間
 - イ 農畜産物の生産費統計に関する調査
 - 生産サイクル（収穫終了月までの1年間）^(注3)に基づき、農畜産物の品目ごとに以下の期間とする。

農畜産物	対象期間
米 そば 大豆 原料用かんしょ 原料用ばれいしょ てんさい	毎年1月1日から12月31日
さとうきび 牛乳 去勢若齢肥育牛 乳用雄肥育牛 交雑種肥育牛 子牛 乳用雄育成牛 交雑種育成牛 肥育豚	毎年4月1日から3月31日
小麦 二条大麦 六条大麦 はだか麦 なたね	毎年9月1日から8月31日

(注3) 2つの暦年にまたがることとなるものは、集計対象期間月数の多い方の年次を調査年次とする。

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査組織

ア 地方農政局の管轄区域

農林水産省－地方農政局－報告者

イ 北海道

農林水産省－北海道農政事務所－報告者

ウ 沖縄県

農林水産省－内閣府沖縄総合事務局－農林水産センター－報告者

(2) 調査方法 (■調査員調査 ■郵送調査 ■オンライン調査 ■その他(職員調査))

ア 現金出納帳、作業日誌

原則として、報告者が、調査票に記入する方法(自計報告)により行う。

(ア) 調査票の配布

地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。

ただし、協力が得られる報告者に対しては、現金出納帳及び作業日誌について、電子化した調査票を配布する。

(イ) 調査票の提出等

以下のいずれかの方法により行う。

- ① 報告者が、数か月に一度、年4回を越えない範囲で郵送する。
- ② 地方農政局等の職員又は統計調査員が、数か月に一度、報告者を訪問して回収する。
- ③ 報告者が、電子化した調査票に入力している場合には、調査票を、磁気媒体に格納して郵送、又は、オンライン(民間事業者が行うセキュアファイル交換サービス)を利用し、データ送受信時に暗号化技術を用いるなど情報漏洩を防ぐ措

置を施す。以下同じ。)により報告する。

- ④ 報告者が、決算書類(報告者が磁気情報として作成しているものを含む。以下同じ。)を整備しており、協力が得られる場合には、当該書類により把握できる情報に限り、調査票の報告に代えて、当該書類を郵送若しくはオンラインにより提供、又は、地方農政局等の職員若しくは統計調査員が、報告者を訪問して、当該書類の提供を受ける。

イ 経営台帳

原則として、報告者に対して面接し、聞き取る方法(他計報告)により行う。ただし、協力が得られる報告者に対しては、次の(ア)及び(イ)により行う。

なお、経営台帳中の「牛馬」の「(2)異動表」については、地方農政局等の職員が、「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」(平成15年法律第72号)に基づき、農林水産省が保有(データベースの管理については(独)家畜改良センターが実施)している牛個別識別台帳(トレーサビリティデータ)を活用して記入する。

(ア) 調査票の配布

協力が得られる報告者に対しては、地方農政局等の職員又は統計調査員が、前年の報告内容をプレプリントした上で調査票を配布する。

(イ) 調査票の提出等

- ① 報告者が郵送する。又は、地方農政局等の職員若しくは統計調査員が、報告者を訪問して回収する。
- ② 報告者が、決算書類を整備しており、協力が得られる場合には、当該書類により把握できる情報に限り、調査票の報告に代えて、当該書類を郵送若しくはオンラインにより提供、又は、地方農政局等の職員若しくは統計調査員が、報告者を訪問して、当該書類の提供を受ける。

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期

1年

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

現金出納帳及び作業日誌については随時

経営台帳については調査期間終了月の翌月

8 集計事項

次に掲げる集計を行う（詳細は別添4のとおり。）。

(1) 営農類型別経営統計

ア 個別経営体

(ア) 水田作経営、(イ) 畑作経営、(ウ) 野菜作経営、(エ) 果樹作経営、
(オ) 花き作経営、(カ) 酪農経営、(キ) 肉用牛経営、(ク) 養豚経営、
(ケ) 採卵養鶏経営、(コ) プロイラー養鶏経営

イ 組織法人経営体

(ア) 水田作経営、(イ) 水田作経営（集落営農型）、(ウ) 畑作経営、
(エ) 野菜作経営、(オ) 果樹作経営、(カ) 花き作経営、(キ) 酪農経営、
(ク) 肉用牛経営、(ケ) 養豚経営、(コ) 採卵養鶏経営、
(サ) プロイラー養鶏経営

(2) 経営形態別経営統計

ア 個別経営体、イ 組織法人経営体

(3) 農産物生産費統計

ア 個別経営体

(ア) 米生産費、(イ) 小麦生産費、(ウ) 二条大麦生産費、(エ) 六条大麦生産費、
(オ) はだか麦生産費、(カ) そば生産費、(キ) 大豆生産費、
(ク) 原料用かんしょ生産費、(ケ) 原料用ばれいしょ生産費、
(コ) なたね生産費、(サ) てんさい生産費、(シ) さとうきび生産費

イ 組織法人経営体

(ア) 米生産費、(イ) 小麦生産費、(ウ) 大豆生産費

(4) 畜産物生産費統計

ア 牛乳生産費、イ 去勢若齢肥育牛生産費、ウ 乳用雄肥育牛生産費、
エ 交雑種肥育牛生産費、オ 子牛生産費、カ 乳用雄育成牛生産費、
キ 交雑種育成牛生産費、ク 肥育豚生産費

9 調査結果の公表の方法及び期日

(1) 公表の方法

調査結果は、インターネット（e-Stat）に掲載するほか、報告書により公表する。

(2) 公表の期日

農林水産大臣は、全国結果表の概要を結果の集計後速やかに、その詳細を逐次公表す

る。詳細は、別添5のとおり。

10 使用する統計基準

本調査の調査対象には、販売を目的とする個別経営体及び組織法人経営体を対象としているため、調査対象の画定や集計結果については、日本標準産業分類における分類がないことから、統計基準は使用していない。

11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

地方農政局等の長は、個々の農業経営体に係る調査票及び当該調査票に基づき作成した調査客体別の結果（個別結果表）を収録した電磁的記録を、調査年の翌年の1月1日から起算して3年を経過する日まで保存しなければならない。

大臣官房統計部長は、個別結果表を収録した電磁的記録を永年保存する。

12 立入検査等の対象とすることができる事項

本調査の事務に従事する職員は、正確な報告を確保する特段の必要があるときは、前記5（1）に掲げる事項について、資料の提出を求め、又は必要な場所の立ち入り、帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。

別添 1

農業経営体の定義

「農業経営体」とは、次のいずれかに該当するものをいう。

- 1 その経営耕地面積が 30 アール以上であること。

- 2 農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数その他の事業の規模が次の一に該当すること。
 - (1) 露地野菜作付面積 15 アール
 - (2) 施設野菜栽培面積 350 平方メートル
 - (3) 果樹栽培面積 10 アール
 - (4) 露地花き栽培面積 10 アール
 - (5) 施設花き栽培面積 250 平方メートル
 - (6) 搾乳牛飼養頭数 1 頭
 - (7) 肥育牛飼養頭数 1 頭
 - (8) 豚飼養頭数 15 頭
 - (9) 採卵鶏飼養羽数 150 羽
 - (10) ブロイラー年間出荷羽数 千羽
 - (11) その他 調査期間の開始の前日 1 年間における農業生産物の総販売額が 50 万円に相当する事業の規模

別添2

報告者の選定方法

- 1 農林水産省大臣官房統計部長（以下「統計部長」という。）は、農業経営統計調査規則（以下「規則」という。）第3条第2項の農業経営体の中から営農類型別の経営に関する統計の調査客体（以下「営農類型調査客体」という。）を抽出するため、別表第1の左欄に掲げる営農類型区分及び同表の中欄に掲げる農業経営体の種類ごとに、同表の右欄に掲げる分類基準により農業経営体を区分してリストを作成し、これを地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の長（以下「地方農政局等の長」という。）に送付する。
- 2 地方農政局等の長は、調査の結果が十分な精度を有するよう統計部長が定める基準に従って、統計部長から割り当てられた営農類型調査客体の数を、前項の規定により統計部長から送付されたリストを使用して層化無作為抽出の方法により抽出する。
- 3 統計部長は、農畜産物の生産費に関する統計の調査客体（以下「生産費調査客体」という。）を抽出するため、別表第2の左欄に掲げる品目及び同表の中欄に掲げる農業経営体の種類ごとに、同表の右欄に掲げる分類基準により農業経営体を区分してリストを作成し、これを地方農政局等の長に送付する。
- 4 地方農政局等の長は、生産費調査客体を抽出するため、調査の結果が十分な精度を有するよう統計部長が定める基準に従って、統計部長から割り当てられた生産費調査客体の数を、営農類型調査客体及び生産費調査客体の標本の十分な共用が図られるよう統計部長が定めるところにより、前項で統計部長から送付されたリストを使用して層化無作為抽出の方法により抽出する。

別表第1

営農類型区分		農業経営体の種類	分類基準
水田作経営		個別経営体 組織法人経営体	稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の販売収入のうち、水田で作付した農業生産物の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
畑作経営			稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の販売収入のうち、畑で作付した農業生産物の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
野菜作経営	露地野菜作経営		野菜の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地野菜の販売収入が施設野菜の販売収入以上である経営
	施設野菜作経営		野菜の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地野菜より施設野菜の販売収入が多い経営
果樹作経営			果樹の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
花き作経営	露地花き作経営		花きの販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地花きの販売収入が施設花きの販売収入以上である経営
	施設花き作経営		花きの販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地花きより施設花きの販売収入が多い経営
酪農経営			酪農の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
肉用牛経営	繁殖牛経営		肉用牛の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、繁殖用雌牛の飼養頭数が肥育牛の飼養頭数以上である経営

	肥育牛経営	肉用牛の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、繁殖用雌牛の飼養頭数より肥育牛の飼養頭数が多い経営
養豚経営		養豚の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
採卵養鶏経営		採卵養鶏の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
ブロイラー養鶏経営		ブロイラー養鶏の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
その他経営	個別経営体	水田作経営、畑作経営、野菜作経営、果樹作経営、花き作経営、酪農経営、肉用牛経営、養豚経営、採卵養鶏経営、ブロイラー養鶏経営以外の経営

別表第2

品目	農業経営体の種類	分類基準	
米	個別経営体	水稻を作付けし、玄米を年間600キログラム以上販売する経営	
	組織法人経営体	水稻を作付けし、販売する経営	
小麦	個別経営体	小麦を10アール以上作付けし、販売する経営	
	組織法人経営体	小麦を作付けし、販売する経営	
二条大麦	個別経営体	対象作目を10アール以上作付けし、販売する経営	
六条大麦			
はだか麦			
そば			
大豆	個別経営体	大豆（黒大豆を除く）を10アール以上作付けし、販売する経営	
	組織法人経営体	大豆（黒大豆を除く）を作付けし、販売する経営	
原料用かんしょ	個別経営体	対象作目を10アール以上作付けし、販売する経営	
原料用ばれいしょ			
なたね			
てんさい			
さとうきび			
牛乳			搾乳牛を1頭以上飼養し、生乳を販売する経営
去勢若齢肥育牛			肥育を目的とする去勢若齢和牛を1頭以上飼養し、販売する経営
乳用雄肥育牛			肥育を目的とする乳用雄牛を1頭以上飼養し、販売する経営
交雑種肥育牛			肥育を目的とする交雑種牛を1頭以上飼養し、販売する経営
子牛			肉用種の繁殖雌牛を2頭以上飼養し、子牛を生産して販売する経営
乳用雄育成牛	育成を目的とする乳用雄育成牛を5頭以上飼養し、販売する経営		

交雑種育成牛		育成を目的とする交雑種牛を5頭以上飼養し、販売する経営
肥育豚		肥育豚を年間20頭以上販売し、肥育用もと豚に占める自家生産子豚の割合が7割以上の経営

農業経営統計調査 調査票 (経営台帳) 新旧対照表

1 個別経営体用

新	旧	変更点及び理由
<p>表紙・目次 (略)</p> <p>記入に当たって</p> <p style="text-align: center;">経営台帳の記入に当たって</p> <p>1 お宅で所有する固定資産などについて、^①各表中の白抜き部分への記入をお願いします。なお、記入いただいた事項に関連して、「調査担当」に伝えたい特記事項またはメモとして残しておきたい事項がございましたら、「備考」欄を利用してください。</p> <p>2 各表中の網掛けをしてある項目は、昨年伺いました内容をもとに、「調査担当」があらからじめ記入してあるものです。この内容についてご確認いただき、変更などがございましたら、修正してください。</p> <p>3 土地、建物などに関する項目として、各種「負担割合」がございしますが、これにつきましても、昨年伺いました割合を記入してありますが、お宅の営農状況に変化があり、本年の負担割合が大きく変化していると思われる場合には、「調査担当」にご相談してください。</p> <p>4 記入していただく項目の中には、各種「年月」に関するものがございしますが、「年」につきましては、例えば「2017年」^②のように西暦で記入してください。</p>	<p>表紙・目次 (略)</p> <p>記入に当たって</p> <p style="text-align: center;">経営台帳の記入に当たって</p> <p>1 お宅で所有する固定資産などについて、^①各表中の白抜き部分への記入をお願いします。なお、記入いただいた事項に関連して、「統計調査」に伝えたい特記事項またはメモとして残しておきたい事項がございましたら、「備考」欄を利用してください。</p> <p>2 各表中の網掛けをしてある項目は、昨年伺いました内容をもとに、「統計調査」があらからじめ記入してあるものです。この内容についてご確認いただき、変更などがございましたら、修正してください。</p> <p>3 土地、建物などに関する項目として、各種「負担割合」がございしますが、これにつきましても、昨年伺いました割合を記入してありますが、お宅の営農状況に変化があり、本年の負担割合が大きく変化していると思われる場合には、「統計調査」にご相談してください。</p> <p>4 記入していただく項目の中には、各種「年月」に関するものがございしますが、「年」につきましては、例えば「2012年」^②のように西暦で記入してください。</p>	<p>① 統計調査員の導入に伴い、調査客体によりわかりやすい表現とするため、「統計職員」を「調査担当者」に変更する。</p> <p>② 例記する年号を見直し開始年に変更する。</p>

新	旧	変更点及び理由
<p>調査タイプ別調査事項 (コブ全)</p> <p>調査タイプ別調査事項 (コブ全)</p> <p>① 調査対象の調査事項</p> <p>② 調査対象の調査事項</p> <p>③ 調査対象の調査事項</p> <p>④ 調査対象の調査事項</p> <p>⑤ 調査対象の調査事項</p> <p>⑥ 調査対象の調査事項</p> <p>⑦ 調査対象の調査事項</p> <p>⑧ 調査対象の調査事項</p> <p>⑨ 調査対象の調査事項</p> <p>⑩ 調査対象の調査事項</p> <p>⑪ 調査対象の調査事項</p> <p>⑫ 調査対象の調査事項</p> <p>⑬ 調査対象の調査事項</p> <p>⑭ 調査対象の調査事項</p> <p>⑮ 調査対象の調査事項</p> <p>⑯ 調査対象の調査事項</p> <p>⑰ 調査対象の調査事項</p> <p>⑱ 調査対象の調査事項</p> <p>⑲ 調査対象の調査事項</p> <p>⑳ 調査対象の調査事項</p> <p>㉑ 調査対象の調査事項</p> <p>㉒ 調査対象の調査事項</p> <p>㉓ 調査対象の調査事項</p> <p>㉔ 調査対象の調査事項</p> <p>㉕ 調査対象の調査事項</p> <p>㉖ 調査対象の調査事項</p> <p>㉗ 調査対象の調査事項</p> <p>㉘ 調査対象の調査事項</p> <p>㉙ 調査対象の調査事項</p> <p>㉚ 調査対象の調査事項</p> <p>㉛ 調査対象の調査事項</p> <p>㉜ 調査対象の調査事項</p> <p>㉝ 調査対象の調査事項</p> <p>㉞ 調査対象の調査事項</p> <p>㉟ 調査対象の調査事項</p> <p>㊱ 調査対象の調査事項</p> <p>㊲ 調査対象の調査事項</p> <p>㊳ 調査対象の調査事項</p> <p>㊴ 調査対象の調査事項</p> <p>㊵ 調査対象の調査事項</p> <p>㊶ 調査対象の調査事項</p> <p>㊷ 調査対象の調査事項</p> <p>㊸ 調査対象の調査事項</p> <p>㊹ 調査対象の調査事項</p> <p>㊺ 調査対象の調査事項</p> <p>㊻ 調査対象の調査事項</p> <p>㊼ 調査対象の調査事項</p> <p>㊽ 調査対象の調査事項</p> <p>㊾ 調査対象の調査事項</p> <p>㊿ 調査対象の調査事項</p>	<p>調査タイプ別調査事項 (コブ全)</p> <p>調査タイプ別調査事項 (コブ全)</p> <p>① 調査対象の調査事項</p> <p>② 調査対象の調査事項</p> <p>③ 調査対象の調査事項</p> <p>④ 調査対象の調査事項</p> <p>⑤ 調査対象の調査事項</p> <p>⑥ 調査対象の調査事項</p> <p>⑦ 調査対象の調査事項</p> <p>⑧ 調査対象の調査事項</p> <p>⑨ 調査対象の調査事項</p> <p>⑩ 調査対象の調査事項</p> <p>⑪ 調査対象の調査事項</p> <p>⑫ 調査対象の調査事項</p> <p>⑬ 調査対象の調査事項</p> <p>⑭ 調査対象の調査事項</p> <p>⑮ 調査対象の調査事項</p> <p>⑯ 調査対象の調査事項</p> <p>⑰ 調査対象の調査事項</p> <p>⑱ 調査対象の調査事項</p> <p>⑲ 調査対象の調査事項</p> <p>⑳ 調査対象の調査事項</p> <p>㉑ 調査対象の調査事項</p> <p>㉒ 調査対象の調査事項</p> <p>㉓ 調査対象の調査事項</p> <p>㉔ 調査対象の調査事項</p> <p>㉕ 調査対象の調査事項</p> <p>㉖ 調査対象の調査事項</p> <p>㉗ 調査対象の調査事項</p> <p>㉘ 調査対象の調査事項</p> <p>㉙ 調査対象の調査事項</p> <p>㉚ 調査対象の調査事項</p> <p>㉛ 調査対象の調査事項</p> <p>㉜ 調査対象の調査事項</p> <p>㉝ 調査対象の調査事項</p> <p>㉞ 調査対象の調査事項</p> <p>㉟ 調査対象の調査事項</p> <p>㊱ 調査対象の調査事項</p> <p>㊲ 調査対象の調査事項</p> <p>㊳ 調査対象の調査事項</p> <p>㊴ 調査対象の調査事項</p> <p>㊵ 調査対象の調査事項</p> <p>㊶ 調査対象の調査事項</p> <p>㊷ 調査対象の調査事項</p> <p>㊸ 調査対象の調査事項</p> <p>㊹ 調査対象の調査事項</p> <p>㊺ 調査対象の調査事項</p> <p>㊻ 調査対象の調査事項</p> <p>㊼ 調査対象の調査事項</p> <p>㊽ 調査対象の調査事項</p> <p>㊾ 調査対象の調査事項</p> <p>㊿ 調査対象の調査事項</p>	<p>①～③ 利活用状況に応じた把握項目への見直し及び調査対象負担軽減のため削除する項目に併せて項目名及び把握範囲を変更する。</p> <p>④ 項目名の一部を変更する。 (コスト分析に資する統計を作成するため「ほ場間の距離」欄及び「団地への平均距離」欄の追加)</p> <p>⑤、⑦、⑨及び⑩ 利活用状況に応じた把握項目への見直し及び調査対象負担軽減のため項目を削除する。</p> <p>⑥ コスト分析に資する統計を作成するため「飼料用米作付状況」及び「移植・「直まき」別作付面積」項目を追加する。</p> <p>⑧、⑩及び⑫ 調査項目の削除に伴い、項目の項番を修正する。</p>

新	旧	変更点及び理由
<p>10 調査客體概況 (つづき)</p> <p>10 調査客體概況 (つづき)</p> <p>①-3 業種・大業・種別物産概況表</p> <p>② 業種別物産概況表</p> <p>③ 業種別物産の生産状況</p> <p>④ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑤ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑥ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑦ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑧ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑨ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑩ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑪ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑫ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑬ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑭ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑮ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑯ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑰ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑱ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑲ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑳ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉑ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉒ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉓ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉔ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉕ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉖ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉗ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉘ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉙ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉚ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉛ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉜ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉝ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉞ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉟ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊱ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊲ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊳ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊴ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊵ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊶ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊷ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊸ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊹ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊺ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊻ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊼ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊽ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊾ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊿ 業種別物産の生産状況</p>	<p>10 調査客體概況 (つづき)</p> <p>10 調査客體概況 (つづき)</p> <p>①-3 業種・大業・種別物産概況表</p> <p>② 業種別物産概況表</p> <p>③ 業種別物産の生産状況</p> <p>④ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑤ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑥ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑦ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑧ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑨ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑩ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑪ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑫ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑬ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑭ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑮ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑯ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑰ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑱ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑲ 業種別物産の生産状況</p> <p>⑳ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉑ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉒ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉓ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉔ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉕ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉖ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉗ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉘ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉙ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉚ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉛ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉜ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉝ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉞ 業種別物産の生産状況</p> <p>㉟ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊱ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊲ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊳ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊴ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊵ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊶ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊷ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊸ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊹ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊺ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊻ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊼ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊽ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊾ 業種別物産の生産状況</p> <p>㊿ 業種別物産の生産状況</p>	<p>① 利活用状況に応じた把握項目への見直し及び調査対象負担軽減のため「生産調整実施状況」欄を削除する。</p> <p>②・③ ①の削除に伴い、項目の順番を修正する。</p>

新

10 調査客體概況 (つづき)

10 調査客體概況 (つづき) 直前の欄には、直前の年の調査客體がどの程度記入してあり、その年の調査客體がどの程度記入してあるかを、多量に記入していただくようお願いいたします。

(2)-1 牛乳生産者・飼育牛生産者・肥育牛生産者計調査対象項目

ア 生産者数
イ 農産物生産額
表形式の記入欄

(3)-2 牛乳生産者計調査項目

ア 生産者の全数
イ 飼育牛の飼育
表形式の記入欄

(3)-3 牛乳生産者計調査項目

子牛飼育状況
表形式の記入欄

10 調査客體概況 (つづき)

10 調査客體概況 (つづき) 直前の欄には、本年の調査客體がどの程度記入してあるかを、多量に記入していただくようお願いいたします。

(2)-1 牛乳生産者・飼育牛生産者・肥育牛生産者計調査対象項目

ア 生産者数
イ 農産物生産額
表形式の記入欄

(3)-2 牛乳生産者計調査項目

ア 生産者の全数
イ 飼育牛の飼育
表形式の記入欄

(3)-3 牛乳生産者計調査項目

子牛飼育状況
表形式の記入欄

旧

10 調査客體概況 (つづき)

10 調査客體概況 (つづき) 直前の欄には、直前の年の調査客體がどの程度記入してあり、その年の調査客體がどの程度記入してあるかを、多量に記入していただくようお願いいたします。

(2)-1 牛乳生産者・飼育牛生産者・肥育牛生産者計調査対象項目

ア 生産者数
イ 農産物生産額
表形式の記入欄

(3)-2 牛乳生産者計調査項目

ア 生産者の全数
イ 飼育牛の飼育
表形式の記入欄

(3)-3 牛乳生産者計調査項目

子牛飼育状況
表形式の記入欄

10 調査客體概況 (つづき)

10 調査客體概況 (つづき) 直前の欄には、本年の調査客體がどの程度記入してあるかを、多量に記入していただくようお願いいたします。

(2)-1 牛乳生産者・飼育牛生産者・肥育牛生産者計調査対象項目

ア 生産者数
イ 農産物生産額
表形式の記入欄

(3)-2 牛乳生産者計調査項目

ア 生産者の全数
イ 飼育牛の飼育
表形式の記入欄

(3)-3 牛乳生産者計調査項目

子牛飼育状況
表形式の記入欄

変更点及び理由

- ① 利活用状況に応じた把握項目への変更及び調査対象負担軽減のため「搾乳牛の概要」欄を削除する。
② ①の削除に伴い、項目の順番を修正する。

- ③ 利活用状況に応じた把握項目への変更及び調査対象負担軽減のため「繁殖用豚の品種別頭数」欄を削除する。
④⑤⑥ ③の削除に伴い、項目の順番を修正する。

農業経営統計調査 調査票 (経営台帳) 新旧対照表

2 組織法人経営体用

新	旧
<p style="text-align: center;">平成 年 農業経営統計調査 経営台帳 (組織法人経営体(営農類型別経営統計用))①</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>表紙</p> <p>調査票番号等 (その2)</p> <p>農林水産省</p> <p>農林水産省</p> </div> <div style="width: 50%;"> </div> </div> <p style="text-align: right;">農林水産省</p> <p style="text-align: center;">目次 (略)</p>	<p style="text-align: center;">平成 年 農業経営統計調査 経営台帳 (組織法人経営体用)①</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>表紙</p> <p>調査票番号等 (その2)</p> <p>農林水産省</p> <p>農林水産省</p> </div> <div style="width: 50%;"> </div> </div> <p style="text-align: right;">農林水産省</p> <p style="text-align: center;">目次 (略)</p>
変更点及び理由	
<p>① 組織法人経営体の生産費調査で使用する調査票(経営台帳)の追加に伴い、区別するための補助タイトルを修正する。</p> <p>② 組織法人経営体の生産費統計(米、小麦及び大豆)を追加することにより、農業事業における部門別(稲作、麦類作、白大豆作)の把握を廃止することから部門1～4欄を削除する。</p>	

新	旧	変更点及び理由
<p>記入に当たって</p> <p style="text-align: center;">経営台帳の記入に当たって</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 組織で所有する固定資産などについて、各表中の自該者の部分への記入をお願いします。なお、記入いただいた事項に関連して、「調査担当者」に伝えたい特記事項またはメモとして残しておきたい事項がございます。 「備考」欄を利用してください。 ① 各表中の網掛けをしている項目は、昨年伺いました内容をもとに、「調査担当者」があらかじめ記入してあるものです。この内容についてご確認いただき、変更などがございます場合は、修正をしてください。 ① 土地、建物などに関する項目として、各種「負担割合」がございますが、これにつきましても、昨年伺いました割合を記入してありますが、組織の営業状況に変化があり、本年の負担割合が大きく変化していると思われる場合には、「調査担当者」に相談してください。 ② 記入していただく項目の中には、各種「年月」に関するものがございますが、「年」につきましては、例えば「2017年」のように西暦で記入してください。 	<p>記入に当たって</p> <p style="text-align: center;">経営台帳の記入に当たって</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 組織で所有する固定資産などについて、各表中の自該者の部分への記入をお願いします。なお、記入いただいた事項に関連して、「統計職員」に伝えたい特記事項またはメモとして残しておきたい事項がございます。 「備考」欄を利用してください。 ① 各表中の網掛けをしている項目は、昨年伺いました内容をもとに、「統計職員」があらかじめ記入してあるものです。この内容についてご確認いただき、変更などがございます場合は、修正をしてください。 ① 土地、建物などに関する項目として、各種「負担割合」がございますが、これにつきましても、昨年伺いました割合を記入してありますが、組織の営業状況に変化があり、本年の負担割合が大きく変化していると思われる場合には、「統計職員」に相談してください。 ② 記入していただく項目の中には、各種「年月」に関するものがございますが、「年」につきましては、例えば「2012年」のように西暦で記入してください。 	<p>① 統計職員に加え、統計調査も調査を担当することとしたため、「統計職員」を「調査担当者」に変更する。</p> <p>② 例記する年号を見直し開始年に変更する。</p>

新

1 貸借対照表

1 貸借対照表

借入の項目は、繰上で発生する固定資産について、前年度末の残存状況を記入されています。期間内の減価償却額及び固定資産の保有状況について、繰上の減価償却額などに基づき記入してください。

(1) 固定資産増加分配表

Table with columns for acquisition method (purchase, gift, etc.), acquisition date, and amount.

7. 増物及び処分

(備考)

イ. 建物・構築物及び自動車・農務用

Main balance sheet table with columns for acquisition method, category (land, building, etc.), and amount.

記入注釈：「借入」欄は、借入、リースリースリース、リースリースリース、リースリースリースの増減を記入し、「繰上(繰下)」欄は、借入などの繰上(繰下)額を記入してください。

旧

1 貸借対照表

1 貸借対照表

借入の項目は、繰上で発生する固定資産について、前年度末の残存状況を記入されています。期間内の減価償却額及び固定資産の保有状況について、繰上の減価償却額などに基づき記入してください。

(1) 固定資産増加分配表

Table with columns for acquisition method (purchase, gift, etc.), acquisition date, and amount.

7. 増物及び処分

(備考)

イ. 建物・構築物及び自動車・農務用

Main balance sheet table with columns for acquisition method, category (land, building, etc.), and amount.

記入注釈：「借入」欄は、借入、リースリースリース、リースリースリース、リースリースリースの増減を記入し、「繰上(繰下)」欄は、借入などの繰上(繰下)額を記入してください。

変更点及び理由

組織法人経営体の生産費統計を追加することにより、農業事業における部門別の把握を廃止することから部門1～4欄を削除する。

変更点及び理由

組織法人経営体の生産費統計を追加することにより、農業事業における部門別の把握を廃止することから部門1～4欄を削除する。

1 貸借対照表 (つづき)

1 貸借対照表 (つづき)

貸借対照表は、繰越で残存する資産負債について関係者の署名捺印が記入されています。関係者の署名捺印が追加及び修正の場合の署名捺印については、欄頭の署名捺印欄に必ず記入してください。

(1) 貸借対照表 (つづき)

ウ 土庫

種別	区分	貸借		貸借		貸借	貸借	その他
		借入金	貸出金	借入金	貸出金			
計								
流動負債								
計								
固定負債								
計								

記入注意 「借入」欄は、自庁債、小作地、所有地及び購入地のものを記入してください。「借出」欄は、関係者（仕組関係者）を記入してください。

才 投資・外資出資

【備考】

1 貸借対照表 (つづき)

1 貸借対照表 (つづき)

貸借対照表は、繰越で残存する資産負債について関係者の署名捺印が記入されています。関係者の署名捺印が追加及び修正の場合の署名捺印については、欄頭の署名捺印欄に必ず記入してください。

(1) 貸借対照表 (つづき)

ウ 土庫

種別	区分	貸借		貸借		貸借	貸借	その他
		借入金	貸出金	借入金	貸出金			
計								
流動負債								
計								
固定負債								
計								

記入注意 「借入」欄は、自庁債、小作地、所有地及び購入地のものを記入してください。「借出」欄は、関係者（仕組関係者）を記入してください。

才 投資・外資出資

【備考】

1 貸借対照表 (つづき)

1 貸借対照表 (つづき)

貸借対照表は、繰越で残存する資産負債について関係者の署名捺印が記入されています。関係者の署名捺印が追加及び修正の場合の署名捺印については、欄頭の署名捺印欄に必ず記入してください。

(1) 貸借対照表 (つづき)

ウ 土庫

種別	区分	貸借		貸借		貸借	貸借	その他
		借入金	貸出金	借入金	貸出金			
計								
流動負債								
計								
固定負債								
計								

記入注意 「借入」欄は、自庁債、小作地、所有地及び購入地のものを記入してください。「借出」欄は、関係者（仕組関係者）を記入してください。

才 投資・外資出資

【備考】

1 貸借対照表 (つづき)

1 貸借対照表 (つづき)

貸借対照表は、繰越で残存する資産負債について関係者の署名捺印が記入されています。関係者の署名捺印が追加及び修正の場合の署名捺印については、欄頭の署名捺印欄に必ず記入してください。

(1) 貸借対照表 (つづき)

ウ 土庫

種別	区分	貸借		貸借		貸借	貸借	その他
		借入金	貸出金	借入金	貸出金			
計								
流動負債								
計								
固定負債								
計								

記入注意 「借入」欄は、自庁債、小作地、所有地及び購入地のものを記入してください。「借出」欄は、関係者（仕組関係者）を記入してください。

才 投資・外資出資

【備考】

新	旧	変更点及び理由																																																																																																																																																																																												
<p>1 貸借対照表 (つづき)</p> <p>1 貸借対照表 (つづき)</p> <p>(2) 流動資産・繰越資産・負債・資本科目別明細表</p> <p>① 摘要の部は、繰越で残存する流動資産などについて、細部の会計資料などに基づき記入してください。</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">科目</th> <th rowspan="2">摘要</th> <th colspan="4">流動資産</th> <th rowspan="2">繰越資産</th> <th rowspan="2">負債</th> <th rowspan="2">資本</th> </tr> <tr> <th>部門1</th> <th>部門2</th> <th>部門3</th> <th>部門4</th> </tr> <tr> <td>現金</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>預金</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>有価証券</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>固定資産</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>繰越資産</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>流動負債</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>固定負債</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>資本</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>②</p>	科目	摘要	流動資産				繰越資産	負債	資本	部門1	部門2	部門3	部門4	現金									預金									有価証券									固定資産									繰越資産									流動負債									固定負債									資本									総計									<p>1 貸借対照表 (つづき)</p> <p>1 貸借対照表 (つづき)</p> <p>(2) 流動資産・繰越資産・負債・資本科目別明細表</p> <p>① 摘要の部は、繰越で残存する流動資産などに基づき記入してください。</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">科目</th> <th rowspan="2">摘要</th> <th colspan="4">流動資産</th> <th rowspan="2">繰越資産</th> <th rowspan="2">負債</th> <th rowspan="2">資本</th> </tr> <tr> <th>部門1</th> <th>部門2</th> <th>部門3</th> <th>部門4</th> </tr> <tr> <td>現金</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>預金</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>有価証券</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>固定資産</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>繰越資産</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>流動負債</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>固定負債</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>資本</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>②</p>	科目	摘要	流動資産				繰越資産	負債	資本	部門1	部門2	部門3	部門4	現金									預金									有価証券									固定資産									繰越資産									流動負債									固定負債									資本									総計									<p>① 組織法人経営体の生産費統計を追加することにより、農業事業における部門別の把握を廃止することから部門1～4欄を削除する。</p> <p>② 純資産の資産名を貸借対照表において一般的な名称へ修正する。</p>
科目			摘要	流動資産						繰越資産	負債	資本																																																																																																																																																																																		
	部門1	部門2		部門3	部門4																																																																																																																																																																																									
現金																																																																																																																																																																																														
預金																																																																																																																																																																																														
有価証券																																																																																																																																																																																														
固定資産																																																																																																																																																																																														
繰越資産																																																																																																																																																																																														
流動負債																																																																																																																																																																																														
固定負債																																																																																																																																																																																														
資本																																																																																																																																																																																														
総計																																																																																																																																																																																														
科目	摘要	流動資産				繰越資産	負債	資本																																																																																																																																																																																						
		部門1	部門2	部門3	部門4																																																																																																																																																																																									
現金																																																																																																																																																																																														
預金																																																																																																																																																																																														
有価証券																																																																																																																																																																																														
固定資産																																																																																																																																																																																														
繰越資産																																																																																																																																																																																														
流動負債																																																																																																																																																																																														
固定負債																																																																																																																																																																																														
資本																																																																																																																																																																																														
総計																																																																																																																																																																																														

変更点及び理由

経常利益を算出できるよう、営業外収支と特別収益を分離して把握する。

旧

2 損益計算書
2 損益計算書

※ 注目の注は、損益の事業別区分について損益の会計資料などに基づき記入してください。

(1) 事業収入

事業収入	金額	円
売上		
雑収入		
その他		
事業収入計		

(2) 経常収益、経常費用の内訳

経常収益	金額	円
経常費用		
その他		
経常収益計		

(3) 特別収益、特別費用の内訳

特別収益	金額	円
特別費用		
その他		
特別収益計		

(4) 経常経費控除後の利益

経常経費控除後の利益	金額	円
特別経費控除後の利益		
その他		
経常経費控除後の利益計		

(5) 特別経費控除後の利益

特別経費控除後の利益	金額	円
特別経費控除後の利益		
その他		
特別経費控除後の利益計		

(6) 営業外収支の内訳

営業外収支の内訳	金額	円
営業外収益		
営業外費用		
その他		
営業外収支計		

(7) 経常利益

経常利益	金額	円
経常利益		
その他		
経常利益計		

(8) 特別利益の内訳

特別利益の内訳	金額	円
特別利益		
その他		
特別利益計		

(9) 経常利益

経常利益	金額	円
経常利益		
その他		
経常利益計		

新

2 損益計算書
2 損益計算書

※ 注目の注は、損益の事業別区分について損益の会計資料などに基づき記入してください。

(1) 事業収入

事業収入	金額	円
売上		
雑収入		
その他		
事業収入計		

(2) 経常収益、経常費用の内訳

経常収益	金額	円
経常費用		
その他		
経常収益計		

(3) 特別収益、特別費用の内訳

特別収益	金額	円
特別費用		
その他		
特別収益計		

(4) 経常経費控除後の利益

経常経費控除後の利益	金額	円
特別経費控除後の利益		
その他		
経常経費控除後の利益計		

(5) 特別経費控除後の利益

特別経費控除後の利益	金額	円
特別経費控除後の利益		
その他		
特別経費控除後の利益計		

(6) 営業外収支の内訳

営業外収支の内訳	金額	円
営業外収益		
営業外費用		
その他		
営業外収支計		

(7) 経常利益

経常利益	金額	円
経常利益		
その他		
経常利益計		

(8) 特別利益の内訳

特別利益の内訳	金額	円
特別利益		
その他		
特別利益計		

(9) 経常利益

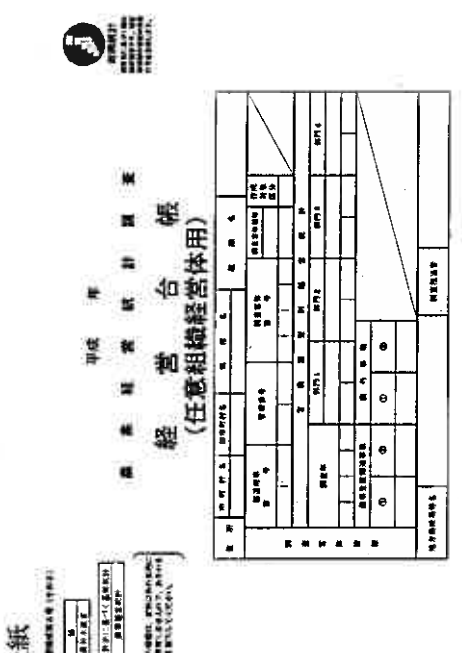
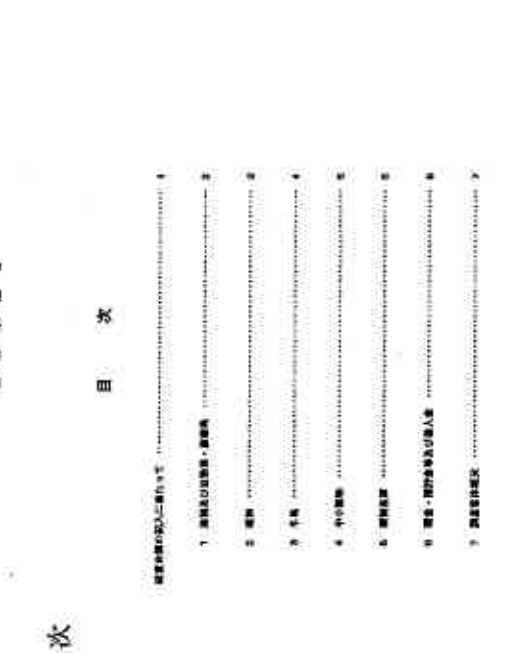
経常利益	金額	円
経常利益		
その他		
経常利益計		

新	旧	変更点及び理由
<p>2 損益計算書 (つづき)</p> <p>④ 損益計算書 (つづき)</p> <p>① 損益計算書 (損益)</p> <p>② 損益計算書 (つづき)</p> <p>③ 損益計算書 (つづき)</p> <p>⑤ 損益計算書 (つづき)</p> <p>⑥ 法人経費引当額</p> <p>⑦ 法人経費引当額</p> <p>⑧ 法人経費引当額</p> <p>⑨ 法人経費引当額</p> <p>⑩ 法人経費引当額</p> <p>⑪ 法人経費引当額</p> <p>⑫ 法人経費引当額</p> <p>⑬ 法人経費引当額</p> <p>⑭ 法人経費引当額</p> <p>⑮ 法人経費引当額</p> <p>⑯ 法人経費引当額</p> <p>⑰ 法人経費引当額</p> <p>⑱ 法人経費引当額</p> <p>⑲ 法人経費引当額</p> <p>⑳ 法人経費引当額</p> <p>㉑ 法人経費引当額</p> <p>㉒ 法人経費引当額</p> <p>㉓ 法人経費引当額</p> <p>㉔ 法人経費引当額</p> <p>㉕ 法人経費引当額</p> <p>㉖ 法人経費引当額</p> <p>㉗ 法人経費引当額</p> <p>㉘ 法人経費引当額</p> <p>㉙ 法人経費引当額</p> <p>㉚ 法人経費引当額</p> <p>㉛ 法人経費引当額</p> <p>㉜ 法人経費引当額</p> <p>㉝ 法人経費引当額</p> <p>㉞ 法人経費引当額</p> <p>㉟ 法人経費引当額</p> <p>㊱ 法人経費引当額</p> <p>㊲ 法人経費引当額</p> <p>㊳ 法人経費引当額</p> <p>㊴ 法人経費引当額</p> <p>㊵ 法人経費引当額</p> <p>㊶ 法人経費引当額</p> <p>㊷ 法人経費引当額</p> <p>㊸ 法人経費引当額</p> <p>㊹ 法人経費引当額</p> <p>㊺ 法人経費引当額</p> <p>㊻ 法人経費引当額</p> <p>㊼ 法人経費引当額</p> <p>㊽ 法人経費引当額</p> <p>㊾ 法人経費引当額</p> <p>㊿ 法人経費引当額</p> <p>① 損益計算書 (つづき)</p> <p>② 損益計算書 (つづき)</p> <p>③ 損益計算書 (つづき)</p> <p>④ 損益計算書 (つづき)</p> <p>⑤ 損益計算書 (つづき)</p> <p>⑥ 法人経費引当額</p> <p>⑦ 法人経費引当額</p> <p>⑧ 法人経費引当額</p> <p>⑨ 法人経費引当額</p> <p>⑩ 法人経費引当額</p> <p>⑪ 法人経費引当額</p> <p>⑫ 法人経費引当額</p> <p>⑬ 法人経費引当額</p> <p>⑭ 法人経費引当額</p> <p>⑮ 法人経費引当額</p> <p>⑯ 法人経費引当額</p> <p>⑰ 法人経費引当額</p> <p>⑱ 法人経費引当額</p> <p>⑲ 法人経費引当額</p> <p>⑳ 法人経費引当額</p> <p>㉑ 法人経費引当額</p> <p>㉒ 法人経費引当額</p> <p>㉓ 法人経費引当額</p> <p>㉔ 法人経費引当額</p> <p>㉕ 法人経費引当額</p> <p>㉖ 法人経費引当額</p> <p>㉗ 法人経費引当額</p> <p>㉘ 法人経費引当額</p> <p>㉙ 法人経費引当額</p> <p>㉚ 法人経費引当額</p> <p>㉛ 法人経費引当額</p> <p>㉜ 法人経費引当額</p> <p>㉝ 法人経費引当額</p> <p>㉞ 法人経費引当額</p> <p>㉟ 法人経費引当額</p> <p>㊱ 法人経費引当額</p> <p>㊲ 法人経費引当額</p> <p>㊳ 法人経費引当額</p> <p>㊴ 法人経費引当額</p> <p>㊵ 法人経費引当額</p> <p>㊶ 法人経費引当額</p> <p>㊷ 法人経費引当額</p> <p>㊸ 法人経費引当額</p> <p>㊹ 法人経費引当額</p> <p>㊺ 法人経費引当額</p> <p>㊻ 法人経費引当額</p> <p>㊼ 法人経費引当額</p> <p>㊽ 法人経費引当額</p> <p>㊾ 法人経費引当額</p> <p>㊿ 法人経費引当額</p>	<p>2 損益計算書 (つづき)</p> <p>④ 損益計算書 (つづき)</p> <p>① 損益計算書 (損益)</p> <p>② 損益計算書 (つづき)</p> <p>③ 損益計算書 (つづき)</p> <p>⑤ 損益計算書 (つづき)</p> <p>⑥ 法人経費引当額</p> <p>⑦ 法人経費引当額</p> <p>⑧ 法人経費引当額</p> <p>⑨ 法人経費引当額</p> <p>⑩ 法人経費引当額</p> <p>⑪ 法人経費引当額</p> <p>⑫ 法人経費引当額</p> <p>⑬ 法人経費引当額</p> <p>⑭ 法人経費引当額</p> <p>⑮ 法人経費引当額</p> <p>⑯ 法人経費引当額</p> <p>⑰ 法人経費引当額</p> <p>⑱ 法人経費引当額</p> <p>⑲ 法人経費引当額</p> <p>⑳ 法人経費引当額</p> <p>㉑ 法人経費引当額</p> <p>㉒ 法人経費引当額</p> <p>㉓ 法人経費引当額</p> <p>㉔ 法人経費引当額</p> <p>㉕ 法人経費引当額</p> <p>㉖ 法人経費引当額</p> <p>㉗ 法人経費引当額</p> <p>㉘ 法人経費引当額</p> <p>㉙ 法人経費引当額</p> <p>㉚ 法人経費引当額</p> <p>㉛ 法人経費引当額</p> <p>㉜ 法人経費引当額</p> <p>㉝ 法人経費引当額</p> <p>㉞ 法人経費引当額</p> <p>㉟ 法人経費引当額</p> <p>㊱ 法人経費引当額</p> <p>㊲ 法人経費引当額</p> <p>㊳ 法人経費引当額</p> <p>㊴ 法人経費引当額</p> <p>㊵ 法人経費引当額</p> <p>㊶ 法人経費引当額</p> <p>㊷ 法人経費引当額</p> <p>㊸ 法人経費引当額</p> <p>㊹ 法人経費引当額</p> <p>㊺ 法人経費引当額</p> <p>㊻ 法人経費引当額</p> <p>㊼ 法人経費引当額</p> <p>㊽ 法人経費引当額</p> <p>㊾ 法人経費引当額</p> <p>㊿ 法人経費引当額</p>	<p>変更点及び理由</p> <p>① 組織法人経営体の生産費統計を追加することにより、農業事業における部門別の把握を廃止することから部門1～4欄を削除する。</p> <p>② 調査対象が記入しやすいよう、項目名を生産現物関連事業費から「上記以外の関連事業原料費」へ修正する。</p> <p>③ 他の企業統計との比較が可能となるよう、給料のうち「役員報酬」欄を追加するとともに、項目名を給料から「人件費」へ変更する。</p> <p>④・⑤ 特別損益の内訳欄の追加に伴い、項目の項番を修正する。</p>

新	旧	変更点及び理由
<p>3 調査客體概況 (1)~(5) (略)</p> <p>3 調査客體概況 (つづき)</p> <p>3 調査客體概況 (つづき)</p> <p>① 調査客體の概要</p> <p>② 調査客體の概要</p> <p>③ 調査客體の概要</p> <p>④ 調査客體の概要</p> <p>⑤ 調査客體の概要</p>	<p>3 調査客體概況 (1)~(5) (略)</p> <p>3 調査客體概況 (つづき)</p> <p>3 調査客體概況 (つづき)</p> <p>① 調査客體の概要</p> <p>② 調査客體の概要</p> <p>③ 調査客體の概要</p> <p>④ 調査客體の概要</p> <p>⑤ 調査客體の概要</p>	<p>① 利活用状況に応じた把握項目の見直し及び調査対象負担軽減のため、a 出資者数について男女別の把握を計の把握へ変更し、b 出身世帯について個別経営体の主業・準主業・副業的別の把握を「農家世帯」へ一本化する。</p> <p>② 他の企業統計との比較が可能となるよう、事業従事者数の内訳としてc「役員」、d 構成員のうち「主たる従事者の平均年齢」欄を追加するとともに、e 常時雇用者から「常用雇用者」へ項目名を変更し、f 常用雇用者のうち「7か月以上雇用」欄を追加する。また、e・f 等の変更に伴い、g 記入注記を修正する。</p> <p>③ 期中投資額の資産名を、貸借対照表において一般的な名称へ修正する。</p> <p>④ 調査経営体（法人）全体の経営状況を把握するため、耕地以外の土地を追加する。</p>

農業經營統計調査 調査票 (経営台帳) 新旧対照表

3 任意組織経営体用

新	旧	変更点及び理由
<p>表紙 (削除)</p> <p>目次 (削除)</p>	<p>表紙</p>  <p>目次</p> 	<p>任意組織経営体の統計を廃止することに伴い削除する。</p>

新	旧	変更点及び理由																																																																																					
<p>記入に当たって (削除)</p>	<p>記入に当たって</p> <div data-bbox="351 761 391 1052" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">経営台帳の記入に当たって</div> <ol style="list-style-type: none"> 1 組織で所有する固定資産などについて、各表中の白抜き部分への記入をお願いします。 なお、記入いただいた事項に関連して、統計職員に伝えたい情報事項またはメモとして残しておきたい事項がございますら、「備考」欄を利用してください。 2 各表中の網掛けをしてある項目は、昨年同いりました内容をもとに、統計職員があらかじめ記入してあるものです。この内容についてご確認いただき、変更などございましたら、修正してください。 3 土地、建物などに關する項目として、各種「負担割合」がございますが、これにつきまして、昨年同いりました割合を記入してありますが、建物の運用状況に実化があり、本年の負担割合が大きく変化していると思われる場合には、統計職員に相談してください。 4 記入していただく項目の中には、各種「年月」に關するものがございますが、「年」につきましては、例えば「2012年」のように西暦で記入してください。 <p>1 建物及び自動車・農機具</p> <p>1 建物及び自動車・農機具</p> <div data-bbox="869 560 917 1232" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(1) の記載例には、組織で所有する建物及び自動車・農機具について、前年度の所有の状況が記入されています。記入事項をご確認いただき、変更が必要でしたら修正するとともに、(2) の欄頭に異動状況を記入してください。</p> </div> <div data-bbox="925 560 1117 1254"> <p>(1) 取得額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取得年月</th> <th rowspan="2">取得額</th> <th colspan="2">取得方法</th> <th rowspan="2">取得場所</th> <th rowspan="2">取得内容</th> <th rowspan="2">取得者</th> <th rowspan="2">取得理由</th> <th rowspan="2">取得期間</th> <th rowspan="2">取得期間の記入</th> </tr> <tr> <th>取得方法</th> <th>取得場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2012年</td> <td>1000000</td> <td>購入</td> <td>市内</td> <td>事務所</td> <td>事務所</td> <td>役員</td> <td>業務拡大</td> <td>2012年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2011年</td> <td>500000</td> <td>購入</td> <td>市内</td> <td>倉庫</td> <td>倉庫</td> <td>役員</td> <td>業務拡大</td> <td>2011年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2010年</td> <td>200000</td> <td>購入</td> <td>市内</td> <td>トラック</td> <td>トラック</td> <td>役員</td> <td>業務拡大</td> <td>2010年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2009年</td> <td>150000</td> <td>購入</td> <td>市内</td> <td>トラクター</td> <td>トラクター</td> <td>役員</td> <td>業務拡大</td> <td>2009年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2008年</td> <td>100000</td> <td>購入</td> <td>市内</td> <td>農機具</td> <td>農機具</td> <td>役員</td> <td>業務拡大</td> <td>2008年</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1125 672 1165 1254"> <p>記入理由：1 「取得方法」欄は、取得した取得方法は「買」、中古の場合は「買」に記入してください。 2 「取得」欄は、建物、自動車、農機具の取得は「買」に記入してください。 3 「取得」欄は、建物、自動車、農機具の取得は「買」に記入してください。 4 「取得」欄は、建物、自動車、農機具の取得は「買」に記入してください。</p> </div> <div data-bbox="1173 537 1300 784"> <p>(2) 異動額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取得年月</th> <th>取得額</th> <th>異動額</th> <th>異動理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2012年</td> <td>1000000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2011年</td> <td>500000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2010年</td> <td>200000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2009年</td> <td>150000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2008年</td> <td>100000</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1300 784 1364 1254"> <p>記入理由：1 「取得方法」欄は、取得した取得方法は「買」、中古の場合は「買」に記入してください。 2 「取得」欄は、建物、自動車、農機具の取得は「買」に記入してください。 3 「取得」欄は、建物、自動車、農機具の取得は「買」に記入してください。 4 「取得」欄は、建物、自動車、農機具の取得は「買」に記入してください。</p> </div>	取得年月	取得額	取得方法		取得場所	取得内容	取得者	取得理由	取得期間	取得期間の記入	取得方法	取得場所	2012年	1000000	購入	市内	事務所	事務所	役員	業務拡大	2012年		2011年	500000	購入	市内	倉庫	倉庫	役員	業務拡大	2011年		2010年	200000	購入	市内	トラック	トラック	役員	業務拡大	2010年		2009年	150000	購入	市内	トラクター	トラクター	役員	業務拡大	2009年		2008年	100000	購入	市内	農機具	農機具	役員	業務拡大	2008年		取得年月	取得額	異動額	異動理由	2012年	1000000			2011年	500000			2010年	200000			2009年	150000			2008年	100000		
取得年月	取得額			取得方法								取得場所	取得内容	取得者	取得理由	取得期間	取得期間の記入																																																																						
		取得方法	取得場所																																																																																				
2012年	1000000	購入	市内	事務所	事務所	役員	業務拡大	2012年																																																																															
2011年	500000	購入	市内	倉庫	倉庫	役員	業務拡大	2011年																																																																															
2010年	200000	購入	市内	トラック	トラック	役員	業務拡大	2010年																																																																															
2009年	150000	購入	市内	トラクター	トラクター	役員	業務拡大	2009年																																																																															
2008年	100000	購入	市内	農機具	農機具	役員	業務拡大	2008年																																																																															
取得年月	取得額	異動額	異動理由																																																																																				
2012年	1000000																																																																																						
2011年	500000																																																																																						
2010年	200000																																																																																						
2009年	150000																																																																																						
2008年	100000																																																																																						

新

旧

変更点及び理由

7 調査客體概況 (削除)

7 調査客體概況

7 調査客體概況

調査の目的は、調査の目的の達成を目的として実施するもので、事前に十分な調査客體の調査結果を入手していただく。

(1) 調査客體の調査結果

Table with 2 columns: 調査客體名, 調査結果

(2) 調査客體及び調査客體の調査結果

Table with 2 columns: 調査客體名, 調査結果

(3) 調査客體 (姓、調査客體) の調査結果

Table with 2 columns: 調査客體名, 調査結果

(4) 調査客體の調査結果

Table with 2 columns: 調査客體名, 調査結果

(5) 調査客體及び調査客體の調査結果

Table with 2 columns: 調査客體名, 調査結果

Table with 2 columns: 調査客體名, 調査結果

7 調査客體概況 (つづき) (削除)

7 調査客體概況 (つづき)

7 調査客體概況 (つづき)

調査の目的は、調査の目的の達成を目的として実施するもので、事前に十分な調査客體の調査結果を入手していただく。

(1) 調査客體の調査結果

Table with 2 columns: 調査客體名, 調査結果

(2) 調査客體及び調査客體の調査結果

Table with 2 columns: 調査客體名, 調査結果

(3) 調査客體 (姓、調査客體) の調査結果

Table with 2 columns: 調査客體名, 調査結果

(1) 調査客體の調査結果

Table with 2 columns: 調査客體名, 調査結果

(2) 調査客體及び調査客體の調査結果

Table with 2 columns: 調査客體名, 調査結果

(3) 調査客體 (姓、調査客體) の調査結果

Table with 2 columns: 調査客體名, 調査結果

農業経営統計調査 調査票（経営台帳）新旧対照表

4 組織法人経営体（農産物生産費統計）用

新	旧
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>表紙</p> <p>調査票の記入に当たって</p> <p>1. 調査票の記入に当たって</p> <p>2. 調査票の記入に当たって</p> <p>3. 調査票の記入に当たって</p> <p>4. 調査票の記入に当たって</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p style="text-align: center;">農業経営統計調査 経営台帳 (組織法人経営体(農産物生産費統計用))</p> </div> </div>	<p style="text-align: center;">変更点及び理由</p> <p>農産物生産費統計において、組織法人経営体の統計を追加することから、組織法人経営体(農産物生産費統計用)の調査票(経営台帳)を新設する。</p>

目次

目次

経営台帳の記入に当たって

1. 土地	1
2. 労働及び設備費・農具	2
3. 借入金	3
4. 調査票解説	4
5.	5

新	旧	変更点及び理由																				
<p style="text-align: center;">記入に当たって</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">経営台帳の記入に当たって</p> </div> <p>1 調査対象期間に使用した固定資産などについて、各表中の白抜きの部分への記入をお願いします。 なお、記入いただいた事項に関連して、調査担当者に伝えたい特記事項またはメモとして残しておきたい事項がございましたら、「備考」欄を利用してください。</p> <p>2 各表中の網掛けをしている項目は、昨年同いしました内容をもとに、調査担当者があらかじめ記入してあるものです。この内容についてご確認いただき、変更などがございましたら、修正をしてください。</p> <p>3 土地、建物などに関する項目として、各種「負担割合」がございますが、これにつきましても、昨年同いしました割合を記入してありますが、組織の営業状況に変化があり、本年の負担割合が大きく変化しているとと思われる場合には、調査担当者に相談してください。</p> <p>4 記入していただく項目の中には、各種「年月」に関するものがございますが、「年」につきましては、例えば「2017年」のように西暦で記入してください。</p> <p>1 土地</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p>はじめて所有する土地を借り入れている土地について、借主様の情報の登記が記入されています。記入事項をご確認ください。借主様の情報の変更へ修正してください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>種別</th> <th>種別</th> <th>種別</th> <th>種別</th> <th>種別</th> <th>種別</th> <th>種別</th> <th>種別</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> </div>	種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10													

新

旧

変更点及び理由

2 建物及び自動車・農機具

2 建物及び自動車・農機具

1)の欄には、対象資産項目に特化した建物及び自動車、農機具について、調査期間中の状況が記入されています。記入事項をご確認いただき、変更点がありまじらぬ事とご記入し、2)の欄に増減状況を記入してください。

品名 (品名)	取得年月	取得場所 (取得地)	取得金額 (取得額)	備考

記入注意 1. (取得年月)欄は、購入が確定した日(月)を記入してください。
 2. (取得金額)欄は、購入が確定した日(月)を記入してください。
 3. (取得場所)欄は、購入が確定した日(月)を記入してください。

(1) 建物

品名 (品名)	取得年月	取得場所 (取得地)	取得金額 (取得額)	備考

記入注意 1. (取得年月)欄は、購入が確定した日(月)を記入してください。
 2. (取得金額)欄は、購入が確定した日(月)を記入してください。
 3. (取得場所)欄は、購入が確定した日(月)を記入してください。

(2) 自動車

品名 (品名)	取得年月	取得場所 (取得地)	取得金額 (取得額)	備考

記入注意 1. (取得年月)欄は、購入が確定した日(月)を記入してください。
 2. (取得金額)欄は、購入が確定した日(月)を記入してください。
 3. (取得場所)欄は、購入が確定した日(月)を記入してください。

品名 (品名)	取得年月	取得場所 (取得地)	取得金額 (取得額)	備考

品名 (品名)	取得年月	取得場所 (取得地)	取得金額 (取得額)	備考

3 借入金

3 借入金

この欄には、借入の借入金について、調査期間中の状況が記入されています。記入事項をご確認いただき、変更点をご記入してください。

借入元 (借入元)	借入年月	借入金額 (借入額)	借入期間 (借入期間)	借入利率 (借入利率)	備考

記入注意：貸付主と借入者の関係について、調査期間中に借り入れられた借入金についても漏れなく記入してください。



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

別記様式第 1 号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

この帳簿は、統計以外の目的には使用しませんので、ありのままを記入してください。

平成 年 月 ~ 月

農業経営統計調査

現金出納帳

写 真

様

部門区分名				生産費該当品目名			牧草関係の記入
部門 1	部門 2	部門 3	部門 4	第 1	第 2	第 3	有・無

月	枚目
---	----

1 収入・支出（農業経営に係る贈り物・もらい物を含む。）

日付	摘要（品名）	作物名等	数量	収入 円	支出 円	備考
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

2 家計または農業生産関連事業に使った生産物（自営に使用する生産費該当生産物）

日付	品名	作物名等	仕向先	数量	備考
1					
2					
3					
4					

職 員 回 収 用
月 日 受

都道府県 管理番号 調査客体
月 枚目

1 収入・支出（農業経営に係る贈り物・もらい物を含む。）

日付	摘要（品名）	作物名等	数量	収入 円	支出 円	コード		
						前置	科目	振数
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
			(小計)					

切
り
取
り
添

2 家計または農業生産関連事業に使った生産物（自営に使用する生産費該当生産物）

日付	品名	作物名等	仕向先	数量	評価額 円	コード		
						前置	科目	振数
1								
2								
3								
4								
			(小計)					

このページの下に必ず下書きを使用してください

※農業経営関係者に関するものについて記入願います。

記入上の注意

○【概要等】には、事業や種類など収支の内容がわかる事項を記入してください。

3 農外等収入

	摘 要	概 要 等	収 入	備 考
1	事業収入	林 業		
2		林業やきのこ栽培に係る収入		
3		水 産 業		
4	漁業、養殖業の経営等に係る収入			
5	農林水産業 以外の事業 収 入	○小売業、土木請負業、アパート、 駐車場などの経営等に係る収入		
6		○事業所得税還付金 等		
7	事業外収入	被 用 労 賃		
8		農林水産業を営む事業所や農林水産業以外 の産業に臨時的に雇用された際の賃金 等		
9		給 料 ・ 俸 給		
10		農林水産業以外の産業の事業所に恒常 的に雇用された際に受けた賃金 等		
11		歳 費 及 び 手 当		
12		議員や各種委員の手当、調査謝金 等		
13	貸付地小作料			
14	貸付地の小作料及び地代 等			
15	配 当 利 子 等			
16	預貯金、貸付金、株式の配当金や生命 保険等の一時金 等			
17	年金等収入	年 金 等 給 付 金 (公 的)		
18		国民、厚生、農業者年金 等		
19		年 金 等 給 付 金 (そ の 他) (上 記 年 金 以 外)		
20		退 職 金		
21	上 記 以 外 の 収 入			
	各種祝い金や見舞金、被贈収入 (家計以 外)、農業関係者以外からの入金 等			

4 農外等支出

	摘 要	概 要 等	支 出	備 考
1	事業支出	林 業		
2		林業やきのこ栽培に係る支出		
3		水 産 業		
4	漁業、養殖業の経営等に係る支出			
5	農林水産業 以外の事業	小売業、土木請負業、ア パート、駐車場などの経 営等に係る支出		
6				
7	事業外支出	負 債 利 子		
8		農業を除く借入金を支払利子 等		
9	上 記 以 外 の 支 出			
10		通勤用定期代、大工、左官等や手内職の 道具材料の購入費 等		

職 員 回 収 用

都道府県	管理番号	調査客体

3 農外等収入

	摘 要	概 要 等	収 入	コ ー ド		
				前 置	科 目	後 置
1	林 業			0	0	
2	林業やきのご栽培に係る収入			0	0	
3	水 産 業			0	0	
4	漁業、養殖業の経営等に係る収入			0	0	
5	農林水産業 以外の事業 収 入	○小売業、土木請負業、アパート、 駐車場などの経営等に係る収入 ○事業所得税還付金 等		0	0	
6	被 用 労 賃			0	0	
7	農林水産業を営む事業所や農林水産業以外 の産業に臨時的に雇用された際の賃金 等			0	0	
8	給 料 ・ 俸 給			0	0	
9	農林水産業以外の産業の事業所に恒常 的に雇用された際に受けた賃金 等			0	0	
10	歳 費 及 び 手 当			0	0	
11	職員や各種委員の手当、調査謝金 等			0	0	
12	貸付地小作料			0	0	
13	貸付地の小作料及び地代 等			0	0	
14	配 当 利 子 等			0	0	
15	預貯金、貸付金、株式の配当金や生命 保険等の一時金 等			0	0	
16	年 金 等 給 付 金 (公 的)			0	0	
17	国民、厚生、農業者年金 等			0	0	
18	年 金 等 給 付 金 (そ の 他) (上 記 年 金 以 外)			0	0	
19	退 職 金			0	0	
20	上 記 以 外 の 収 入			0	0	
21	各種祝い金や見舞金、被贈収入(家計以 外)、農業関係者以外からの入金 等			0	0	
			(小計)			

4 農外等支出

	摘 要	概 要 等	支 出	コ ー ド		
				前 置	科 目	後 置
1	林 業			0	0	
2	林業やきのご栽培に係る支出			0	0	
3	水 産 業			0	0	
4	漁業、養殖業の経営等に係る支出			0	0	
5	農林水産業 以外の事業	小売業、土木請負業、ア パート、駐車場などの経 営等に係る支出		0	0	
6	負 債 利 子			0	0	
7	農業を除く借入金の支払利子 等			0	0	
8	上 記 以 外 の 支 出			0	0	
9	通勤用定期代、大工、左官等や手内職の 道具材料の購入費 等			0	0	
10				(小計)		

このページの下に必ず下書きを使用してください



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査結果情報の秘密の保護に万全を期します。

別記様式第2号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

平成 年 月 ~ 月

農業経営統計調査

作業日誌

写 真

様

この帳簿は、統計以外の目的には使用しませんので、ありのままを記入してください。

部門区分名				生産費該当品目名			牧草関係の記入
部門1	部門2	部門3	部門4	第1	第2	第3	有・無

作業日誌（日記欄）

日 天候		日 天候	
日 天候		日 天候	
日 天候		日 天候	
日 天候		メモ	

*このページは職員が回収しますので、個人的な日記帳に使用してください。

このページの下に必ず下書きを使用してください

作業日誌 1-1

1-1 毎日行う作業

作業区分	作業者名	1日当たりの 標準労働時間		作業日																												備考						
		時間	分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		29	30	31			
飼料の 給与・調理 給水																																						
敷料の 搬入、きゅう 肥の搬出																																						
手入・運 動・放牧 (飼育・管 理)																																						
きゅう肥の 処理																																						
その他の管 理作業(搾 乳・牛乳処 理・牛乳運 搬)																																						

注意：()は、牛乳生産費の場合の作業区分です。

切り取り線

作業日誌1-1 (職員回収用)

製造所名	管理番号	調査者名	月	枚目

1-1 毎日行う作業

作業区分	作業者名	1日当たり 標準労働時間		作業日																															合計時間 A×B	コード		
		時間	分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
飼料の 給与・管理 給水																																						
糞料の 搬入・さめ 肥の搬出																																						
手入・濡 動・放牧 (飼育・管 理)																																						
きゅうぼの 処理																																						
その他の管 理作業(搾 乳・牛乳処 理・牛乳運 搬)																																						

このページの下に必ず下载きを使用してください

作 業 日 誌 2

月 日 枚目

日付	労働		時間										生産費該当品目に使用した資材							
			作業内容		経営主(代表者)		家親(構成員・住み込みの年雇(ゆい)・手廻り受けを含む)		雇用(手回し・米回作業を含む)		男					女		品名	数量	備考
			時間	分	時間	分	時間	分	時間	分	時間	分				時間	分			
1																				
2																				
3																				
4																				
5																				
6																				
7																				
8																				
9																				
10																				

通信欄：職員に伝えたいことを記入してください。

作業日誌2 (職員回収用)

逓通府県 管理番号 調査客体
 月 日 曜日

日付	労働		時間		生産費該品目に使用した資材						
	作物名	作業内容 人別コード③⇒	経営主 (代表者)	住み込みの年雇(ゆい・手回替受けを含む) 雇用(半日・日)	男	女	品名	数量	評価額(円)	コード	
										前年度	作業②
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
										(計)	(計)

(通信欄)

このページの下に必ず下書きを使用してください

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

この帳簿は、統計以外の目的には使用しませんので、ありのままを記入してください。



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査情報の秘密の保護に万全を期します。

農 業 経 営 統 計 調 査
平 成 年
帳
台
帳
(個別経営体用)

住 所	市町村名	集 落 名		経営者名						
	都道府県番	管理番号	調査番号	調査客体番号	調査客体種	作成対象区分	営農類型	複数生産体を含む場合の調査客体番号	第2生産費	第3生産費
調 査 客 体 情 報										
調 査 年	調 査 年 (産)	生 産 費 統 計			農 業 生 産 関 連 事 業					
		第1生産費	第2生産費	第3生産費	部門1	部門2	部門3	部門4	部門5	①
農 外 事 業										
地方農政局等名										
調査担当者										

農 林 水 産 省

目 次

経営台帳の記入に当たって	1		1
調査タイプ別調査事項	2		
1 世帯員	4	10 調査客体概況	
2 土地	5	(1) 営農類型別統計関連項目	12
3 建物及び自動車・農機具	6	(2) 農産物生産費統計関連共通項目	13
4 植物	7	(2) 米生産費統計関連項目	13
5 牛馬	8	(2) 麦類・大豆・畑作物生産費統計関連項目	14
6 中小動物	9	(3) 畜産物生産費統計関連共通項目	15
7 現物在庫	9	(3) 牛乳生産費統計関連項目	15
8 現金・預貯金等及び借入金	10	(3) 肉用牛生産費統計関連項目	15
9 自給牧草	11	(3) 肥育豚生産費統計関連項目	16

経営台帳の記入に当たって

- 1 お宅で所有する固定資産などについて、各表中の白抜き部分への記入をお願いします。
なお、記入いただいた事項に関連して、調査担当者に伝えたい特記事項またはメモとして残しておきたい事項がございましたら、「備考」欄を利用してください。
- 2 各表中の網掛けをしてある項目は、昨年伺いました内容をもとに、調査担当者があらかじめ記入してあるものです。この内容についてご確認いただき、変更などがございましたら、修正をしてください。
- 3 土地、建物などに関する項目として、各種「負担割合」がございしますが、これにつきましても、昨年伺いました割合を記入してありますが、お宅の営農状況に変化があり、本年の負担割合が大きく変化していると思われる場合には、調査担当者にご相談してください。
- 4 記入していただく項目の中には、各種「年月」に関するものがございますが、「年」につきましては、例えば「2017年」のように西暦で記入してください。

調査タイプ別調査事項

※取りまとめ事項については、調査タイプによって異なります。このため、願う調査タイプがどれにあたるのかを
 当方よりご説明いたしますので、該当する事項についてご回答いただきますようよろしくお願いいたします。

	個			別			営		
	営農類型別経営統計			生産費単独調査客體			生産費単独調査客體		
	営農類型単独 調査客體	牛乳・肉用牛	左記以外	営農類型・生産費共用調査客體	牛乳・肉用牛	左記以外	牛乳・肉用牛	左記以外	
1 世帯員	○	○	○				○	○	
2 土地									
(1) 総括表	○	○	○				○	○	
(2) 異動表	○	○	○				○	○	
3 建物及び自動車・農機具									
(1) 総括表	○	○	○				○	○	
(2) 異動表	○	○	○				○	○	
4 植物									
(1) 総括表	○	○	○				-	-	
(2) 異動表	○	○	○				-	-	
5 牛馬									
(1) 総括表	○	○	○				○	○	
(2) 異動表	○	○	○				○	○	
6 中小動物									
7 現物在庫									
(1) 未処分農産物	○	○	○				-	-	
(2) 農業生産資材	○	○	○				-	-	
8 現金・預貯金等及び借入金									
(1) 現金・預貯金等及び売掛未収入金	○	○	○				-	-	
(2) 借入金及び買掛未払金	○	○	○				○	○	
9 自給牧草									
(1) 作付面積・生産量	-	○	○				○	○	
(2) 牧草費用面減価償却費配賦表	-	○	○				○	○	

注：表中の○印は、調査事項に該当するものです。

調査タイプ別調査事項 (つづき)

調査タイプ別調査事項	営農類型別経営統計																				
	営農類型別営農主体	営農類型別経営統計					営農類型別経営統計														
		営農類型別経営統計					営農類型別経営統計														
		米	大豆・小麦・雑穀	牛乳	肉用牛	肥育豚	米	大豆・小麦・雑穀	牛乳	肉用牛	肥育豚										
10 調査概要	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1) 営農類型別統計関連項目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ア 水陸稲、麦類、雑穀、いも類、工芸、飼料作物の作付面積等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イ 野菜、花きの作付面積	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウ 果樹(茶、桑を含む)の植栽面積等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
エ 畜産物の販売状況等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オ 畜産物の販売状況等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カ 生産調整田面積	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
キ 主要指標	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2)-1 畜産物生産費統計関連共通項目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ア 主要指標及び作物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イ 調査作物の委託状況別面積	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウ 農業就業者等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
エ 調査作物の品種別作付面積	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2)-2 米生産費統計関連項目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ア 田の概況	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イ ほ場状況及び面積等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウ 飼料用米作付状況	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
エ 「移植」・「直まき」別作付面積	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2)-3 麦類・大豆・雑作物生産費統計関連項目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ア 調査作物の生産状況	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イ 取引量(さとうきび、てんさい)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(3)-1 畜産物生産費統計関連共通項目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ア 主要指標	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イ 農業就業者等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(3)-2 牛乳生産費統計関連項目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ア 生産物の生産量	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イ 搾乳牛負担率	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(3)-3 子牛生産費統計関連項目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
子牛換算係数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(3)-4 肥育豚生産費統計関連項目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ア 年間飼養状況	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イ 子豚等の飼養状況	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウ 飼養頭数及び販売頭数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

注：表中の○印は、調査事項に該当するものです。△印は、表中の一部が調査事項に該当するものです。

1 世帯員

この表には、お宅の生計を共にされているご家族について、調査開始時点の状況が記入されています。記入事項をご確認頂き、変更がありましたら該当箇所を修正するとともに「在宅状況」及び「在宅月数」欄に本年の状況を記入してください。

用語の説明
 <経営主>
 男女、同居別居を問わず、農業経営の責任を負っている人
 <農業関係者>
 経営主夫婦及び農業従事日数が概ね60日以上の方の家族

氏名 〔生計を共にしている人を記入。また、住込みの雇用人も含む。〕	経営主との続柄 〔続柄コードを参照して記入〕	性別	生年月日 (西暦)		農業関係区分 (調査票に○)	扶養区分 (農業関係者の扶養家族に○)	在宅状況 (年始め、年末時点の在宅者に○)		在宅月数 (15日以上在宅した月数を記入)	就業区分	備考
			年	月			年	月			

続柄コード

常	経営主	11	男	51
住	経営主の配偶者	13	女	53
家	その他常住家族	21~29	61~69	
族	同居人	31~35	71~75	
	他	経営主	41	81
	出	経営主の配偶者	43	83
	家	その他出家族	45~49	85~89

就業区分コード

1	自営農業
2	農業生産関連事業
3	自営事業
4	随時的買労働
5	恒時的勤務
6	出稼ぎ
7	非就業者

記入注意：1 「経営主との続柄」欄は、具体的に記入（例えば父、娘）するか、右の「続柄コード」を参照して該当する番号を記入してください。なお、住込みの雇用人は「同居人」と記入してください。
 2 「就業区分」欄は、具体的に記入（例えば会社勤務）するか、右の「就業区分コード」を参照して該当する番号を記入してください。

2 土地

(1)の総括表には、お宅で所有する土地について、調査始め時点の状況が記入されています。記入事項をご確認いただき、変更がありましたら修正するとともに、(2)の異動表に異動状況を記入してください。

(1) 総括表

種 類 (1つに○)	地 目 (地目コードを 参照して記入)	は場名・地番	土地台帳面積 又は総面積	営農類型別統計(個別経営)のみ記入			生産費統計のみ記入			備 考
				課税評価額	負 担 割 合		土地台帳面積 又は 総面積	該当生産費品目の		
					農業計	関与者 以外		家 計	土地台帳面積 又は 総面積	
自 年 間 借 地				千円	×	×	×			
作 付 地										
地 借 地										

記入注意: 1 「土地台帳面積又は総面積」欄は、作付地以外にあっては土地台帳面積を、作付地以外の土地にあっては総面積(建物だけでなく、敷地面積も含める。)を記入してください。
2 「課税評価額」欄は、借地を除く土地について、市町村の固定資産課税台帳より転記してください。
3 生産費のみ記入の「地代に対する負担割合」欄は、当該土地から産出された粗収益合計に対する生産費品目の粗収益の割合を記入してください。

(2) 異動表

異動事由 (異動事由 コードを 参照して 記入)	異動年月 年 月	種 類 (1つに○)	地 目 [地目コードを 参照して記入]	異動後の地目 [地目コードを 参照して記入]	異 動 面 積	
					異 動 前	異 動 後

記入注意: 1 「地目」 「異動後の地目」欄は、具体的に記入(例えば田、住宅)するか、
右の「地目コード」を参照して該当する番号を記入してください。
2 「異動面積」欄は、土地にあっては「土地台帳面積」、土地以外にあっては「総面積」(建物だけでない総敷地面積)を記入してください。

異動事由コード	
購入	01 売却
開墾・開田	02 災害
土地改良	03 復旧
資産分割による増減	04 資産分割による減額
中心土売却	05
	06
	07
	08
	09

地目コード			
田(水田・水田等)	11 水田	31 水田(畑)	53
田(水田以外)	12 水田	41 水田(その他)	54
畑	21 畑	42 畑(水田)	55
畑	22 畑	43 畑(畑)	56
畑	23 畑(雑草)	44 山	61
畑	24 その他の農用地	49 土地権利	64
その他の農用地	29 雑草地	52 その他の土地	65

[備考]	

3 建物及び自動車・農機具

(1)の総括表には、お宅で所有する建物及び自動車・農機具について、調査始め時点の状況が記入されています。記入事項をご確認いただき、変更がありましたら修正するとともに、(2)の異動表に異動状況を記入してください。

(1) 総括表

種類 【具体的に記入】	製造 (型式)	新古区分	取得年月	取得価額	営農類型別統計のみ記入								生産費統計のみ記入									
					農業、農外、家計の負担割合 (原則、取得年(新規客体は開始年)に配賦)				部門別の負担割合 (使用割合により配賦)				該当期間		調料作物							
					農業		農外		家計		部門1		部門2		部門3		部門4		部門5		調料作物 の農業用 負担割合	調料作物 の非農業用 負担割合
					①	②	①	②	関与者 以外	関与者 以外	①	②	%	%	%	%	%	%	%	%		

記入注意： 1 「新古区分」欄は、購入時に新品のものは「新」、中古のものは「古」に○を記入してください。
 2 「年(調査)始め延べ面積(台数)」欄は、建物にあっては延べ面積を、自動車・農機具にあっては台数を記入してください。
 なお、共有している場合は、調査客体の持分を記入してください。

(2) 異動表

異動事由 【異動事由コードを参照して記入】	異動年月	種類	構造 (型式)	異動延べ面積 (台数)

記入注意： 1 「異動事由」欄は、右の異動事由コードを参照して該当する番号を記入してください。
 2 「種類」欄は、建物、自動車・農機具の名称を具体的に記入してください。
 3 「構造(型式)」欄は、「建物・構築物」にあっては木造、鉄骨などの構造を、「自動車・農機具」にあっては30馬力(トラクターの例)、5条植(田植機の例)などの型式を具体的に記入してください。

異動事由コード
(建物)

新築等	01
中古購入	02
取り壊し	03
部分取り壊し	04
資産分割による増価	07
売却	08
災害	09
償却	10
資産分割による減価	11

異動事由コード
(自動車・農機具)

新品購入	01
中古購入	02
資産分割による増価	04
売却	05
災害等	06
資産分割による減価	07

【備考】

4 植物（生産費統計単独調査客体を除き使用）

(1)の総括表には、お宅で栽培する果樹、桑、茶などの植物について、調査始め時点の状況が記入されています。記入事項をご確認いただき、新植、抜根などの変更がありましたら(2)の異動表にその異動状況を記入してください。

(1) 総括表

種類	品 種	植 栽 年 月		取 得 又 成 園 額	取 得 価 値 は 価 値	年 始 面 積
		年	月			
					千円	

記入注意：「取得価額又は成園価額」欄は、成園について、取得価額が分かる場合には取得価額を、取得価額が不明な場合は成園価額を記入してください。

【備 考】

(2) 異動表

異動事由	異 動 年 月		種 類	品 種	植 栽 年 月		異 動 面 積
	年	月			年	月	

異動事由コード

購入	01	売却	06
新植	02	災害	07
高接更新	03	抜根整理	08
漸進更新	04	資産分割による減価	09
資産分割による増価	05		

記入注意： 1 「異動事由」欄は、右の異動事由コードを参照して該当する番号を記入してください。
 2 「種類」欄は、りんご、みかんなどの品目名を具体的に記入してください。
 3 「品種」欄は、種類欄で記入した品目の品種名（ふじ、温州みかんなど）を具体的に記入してください。

5 牛馬

(1)の総括表には、お宅で飼養する牛馬について、調査始め時点の状況が記入されています。記入事項をご確認いただき、購入、売却などの変更がありましたら修正するとともに、(2)の異動表にその異動状況を記入してください。

(1) 総括表

種類 (いげんか に〇) 繁殖用 肉用牛	販売目的 区分 (肉用牛のみ いげんかに〇) 肥育用 肉用	性別	生産 年月 年 月	成畜に 達した 年月 年 月	取得 年月 年 月	取得価額 (購入した牛馬の 購入価額を記入) 千円	牛乳生産費のみ記入		子牛生産費のみ記入		肥育牛・育成牛生産費のみ記入		備 考						
							生産 回数 回数	入 牧 年月 年 月	下 牧 年月 年 月	飼 養 期間 の 年 月	前 年 年	前 年 年		年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月

(2) 異動表

異動 事由	異動 年月 年 月	種類 (いげんか に〇) 繁殖用 肉用牛	品 種	性別	生産 年月 年 月	成畜に 達した 年月 年 月	頭 数	子牛のみ		肥育・育成牛のみ		備 考	
								母 牛 の 識別 番号	売却時生体重 kg	売却又は購入時 生 体 重 kg			

肉用牛生産費畜体に除き使用

異動事由コード	
購入	01
生産	02
成畜	03
繁殖分割による増額	04
売却	05
死に等	06
事故売却	07
死に等	08
繁殖分割による減額	09

肉用牛生産費畜体に使用

異動事由コード	
購入	01
生産	02
成畜	03
繁殖分割による増額	04
売却	05
死に等	06
事故売却	07
死に等	08
繁殖分割による減額	09

- 記入注意： 1 牛个体識別情報より記入が可能な場合は、牛个体識別情報を基に記入してください。
 2 牛个体識別情報より記入が困難な場合は、お手元の牛馬台帳より記入してください。
 3 「異動事由」欄は、異動事由コードを参照して該当する番号を記入してください。
 4 「成畜に達した年月」欄は、繁殖牛のうち搾乳牛にあっては「初回分べん年月」を、搾乳牛以外の雌にあっては「初回種付け年月」を記入してください。なお、種については記入する必要はありません。

6 中小動物（生産費統計単独調査容体を除き使用）

この表には、お宅で飼養する豚、鶏などの中小動物について、年始め時点の状況が記入されています。年末の飼養状況について記入してください。

種類 〔種類コードを参照して記入〕	性別 〔いづれか1つを記入〕	生産年月		取得年月		頭羽数		備考
		年	月	年	月	年	月	
	雄							
	雌							

種類コード		品種コード (豚のみ)	
01	繁殖用豚	01	ランドレース
02	繁殖用豚	02	ヨークシャー
03	種付用豚	03	バークシャー
04	採卵用鶏	04	デュロック
05	ブロイラー用鶏	05	雑種(LW以外)
98	肥育用その他	06	LW
99	その他	99	その他

記入注意：1 「種類」欄は、右の種類コードを参照して該当する番号を記入してください。
2 「品種」欄は、「種類」が「繁殖用豚」または「種付用豚」のものについて、右の品種コードを参照して該当する番号を記入してください。これ以外については記入しないでください。

7 現物在庫（生産費統計単独調査容体を除き使用）

この表には、未処分農産物及び農業生産資材について、お宅の年始め時点の在庫状況が記入されています。年末の在庫状況について記入してください。

(1) 未処分農産物

品目	数量		備考
	年	末	

記入注意：「品目」欄は、未処分農産物の名称を具体的に記入してください。
例えば、「玄米」「大豆」「じゃがいも」などです。

(2) 農業生産資材

品名	該当部門	数量		備考
		年	末	

記入注意：1 「品名」欄は、在庫資材名を具体的に記入してください。
例えば、「肥料」「農薬」などです。
2 「該当部門」欄は、該当資材の用途を具体的に記入してください。
例えば、ばれいしょ作用の肥料であれば「ばれいしょ作」と記入してください。

8 現金・預貯金等及び借入金

この表には、農業経営に参与しているご家族が保有している資産（手持ち現金、貯金など）について、年始め時点の現在高が記入されています。年末時点の保有状況について記入してください。

(1) 現金・預貯金及び売掛未収入金（営農類型別統計用）

区分	名称	年始め現在高 千円	農業負担割合	年末現在高 千円	農業負担割合	備考
現金						
預貯金						
売掛未収入金						

記入注意：1 現金・預貯金等は、農業経営に参与している世帯員が保有しているもの（手持ち現金、貯蓄、積立金、貸付金、有価証券）について、年始め・年末時点の現在高を記入してください。
 なお、「名称」欄は、普通預金、定期預金、生命保険などを記入してください。
 2 積立金の生命保険・共済などは、掛け捨てのものは含めず、実際の掛け金の累計額を記入してください。
 3 売掛未収入金は、農業経営に参与している世帯員の経営によって発生した未収入金を種類別に記入してください。

この表には、農業経営に参与しているご家族の借入金（長期、短期別）などについて、年始め時点の現在高が記入されています。年末時点の借入状況について記入してください。

(2) 借入金及び買掛未払金（営農類型別統計及び生産費統計用）

区分	名称	年(調査)現在 千円	経営					農業					年(調査)現在 千円	備考	
			負担割合					負担割合							
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
借入金															
買掛未払金															

記入注意：1 借入金は、農業経営に参与している世帯員が借り入れているものについて、短期（返済期間が1年以内）・長期（返済期間が1年以上）別に分かるように「名称」欄に記入してください。
 2 買掛未払金は、営農類型別統計を作成する調査客体において、農業経営に参与している世帯員によって発生した未払金を種類別に記入してください。

9 自給牧草（牛乳及び肉用牛生産費統計を作成する調査客体のみ使用）

家畜の飼料としてお宅で作付けする牧草について、その種類、作付面積、生産量などを記入してください。

(1) 作付面積・生産量

種類	作付面積 ha	牧草生産量（生の状態での重量）		收穫回数	備 考
		乾牧草仕向け kg	サイレージ仕向け kg		

記入注意：1 「種類」欄は、イタライグラス、青刈りデントコーンなどの牧草名を具体的に記入してください。
 2 「作付面積」欄は、実作付面積を記入してください。なお、野乾草にあっては刈取り英面積、採草地及び放牧場にあっては該当面積としてください。
 3 「収穫回数」欄は、少量ずつ毎日あるいは数日ごとに採取する牧草もあると思いますが、全面的に複数回刈り取る場合を除いて1回と記入してください。

(2) 牧草費用価減償却配賦表

資産等	種類	構造・型式	
		生牧草	乾牧草
	計	サイレージ	

記入注意：1 「資産等」「種類」「構造・型式」欄は、「3 建物及び自動車・農機具」表から該当する資産について転記してください。
 2 「牧草名」欄は、(1)表の「種類」欄より転記してください。
 3 「計」欄は、牧草種類ごとに当該資産の使用面積及び使用日数に基づき負担割合を記入してください。
 4 「生牧草」「乾牧草」「サイレージ」欄は、牧草種類ごとに給与形態（生牧草、乾牧草、サイレージ）別の負担割合を記入してください。

10 調査客体概況

当頁の表には、お宅の昨年の生産状況などが記入してありますので、参考にしていただき本年の状況を記入してください。

(1) 営農類型別統計関連項目

ア 水陸稲、麦類、雑穀、豆類、いも類、
工芸農作物及び飼料作物の作付面積等

作物名	作付面積		生産量 kg
	田	畑	

イ 野菜及び花きの作付面積

作物名	作付面積	
	露地	施設

ウ 果樹（茶、桑を含む）の植栽面積等

作物名	植栽面積		生産量 kg
	成園	未成園	

エ 畜産物の販売状況等

畜産物の種類	頭羽数等
養鶏	羽
種卵生産量	kg
プロイラー販売羽数	羽
年始め繁殖雌頭数	頭
肥育豚月平均飼養頭数	"
子豚販売頭数	"
肉豚販売頭数	"
酪農 生乳生産量	kg
養蚕 楊立卵量	箱

オ 生産調整田面積

生産調整田面積

記入注意：
各圃草刈・農耕営体に割り当てられた面積ではなく、実際に生産調整を実施した田面積を記入してください。

【備考】

カ 主要指標

農業経営に間与している世帯員のうち、農業者年金基金に加入している人は何人いますか。(人数を記入)	い	る	い	ない	人
農業経営に間与している世帯員のうち、認定農業者制度の認定を受けている人はいますか。(該当に○)	い	る	い	ない	人
青色申告を行っていますか。(該当を○で囲む)					
家族協定を策定していますか。(該当するものを○で囲む)					
	方針決定	収益分配	経営姿勢	就業・他	該当なし

キ 主要指標(つづき)

農業関係者の全員の労働日数について、「農業への従事日数」の合計と「農業以外への従事日数」の合計のどちらが多いですか。(該当を○で囲む)	農業への従事日数	農業以外への従事日数

「農業関係者」、「農業以外への従事日数」とは

- 農業関係者
- 経営主夫婦及び農業従事日数が概ね60日以上のある家族
- 農業関係以外への従事日数
- 農外専業、勤め先への勤務など農業関係以外への従事日数の合計

10 調査客體概況 (つづき)

当頁の表には、お宅の昨年の生産状況などが記入してありますので、参考にしていただき本年の状況を記入してください。

(2)ー1 農産物生産費統計関連共通項目

ア 主要指標及び作柄

認定農業者制度の認定を受けている人はいですか。(該当を○で囲む)	い	いる	いない
お宅では農業所得と農外所得のどちらが多いですか。(該当を○で囲む)	農業所得		農外所得
10a 当たり平年収量 (単位を記入する)	kg		

10a 当たり平年収量とは
過去5か年の10a当たり収量のうち最高、最低を除く3か年の平均収量を記入してください。

イ 調査作物の委託状況別面積

(米、麦類、大豆、なたね、そば生産費調査客體のみ使用)

委託の手	委託 (請け負わせ)	
	作業名 (具体的に記入)	面積
個人		
団体		

記入注意:

- 委託について、個別相対により委託したものは「個人」欄に、農業者集団 (農作業委託組織など)、農協、公共団体などに委託したものは「団体」欄に記入してください。
- 育苗、乾燥・調製など数値単位で精算される場合は、その見積もり面積を記入してください。
- 耕うん・整地、防除など同一ほ場を数回にわたって委託した場合は、その実面積を記入してください。

ウ 農業就業者等

	男	女
農業就業者	人	人
農業専従者		
農業年雇		

農業就業者、農業専従者とは

「農業就業者」：年間の農業従事日数が60日以上の方
「農業専従者」：年間の農業従事日数が150日以上の方

記入注意：
この表は、常務類型別統計と共用している調査客體については作成しないでください。

(2)ー2 米生産費統計関連項目

ア 田の概況

田の区域整理済面積割合	田%
田の区域数	田%

イ ほ場枚数及び面積等

区面積	ほ場枚数
	枚
ほ場間の距離	m
田地への平均距離	m

ウ 飼料用米作付状況

飼料用米作付面積	ha
----------	----

エ 調査作物の品種別作付面積

作付けた調査作物の品種名	作付面積
	ha

エ 「移穂」・「直まき」別作付面積

移穂	作付面積
直まき	ha

記入注意:

- 区面積別のは場枚数を記入してください。
- 区面積は「30a」など具体的に記入してください。

10 調査客概況 (つづき)

当頁の表には、お宅の昨年の生産状況などが記入してありますので、参考にさせていただき本年の状況を記入してください。

(2) - 3 麦類・大豆・畑作物生産費統計

ア 調査作物の生産状況

① さとうきびの収穫面積等

	株出し	春植え	夏植え
収穫面積 a			
主産物数量 kg			

② さとうきびの未収穫面積

	自作地	借入地
未収穫面積 a		

③ 原料用かんしょ・ばれいしよの作付面積等

	でん粉原料用	生食加工用	その他向 (糖割用を含む)
収穫面積 a			
数量 kg			
主産物 価額 円			

④ てんさいの収穫面積等

	直播	移植
収穫面積 a		
数量 kg		
主産物 価額 円		

イ 取引量 (さとうきび、てんさい)

	数量
出荷量	
糖度換算出荷量	

糖度換算出荷量

工場からの取引伝票を基に記入してください。

10 調査客観概況 (つづき)

当頁の表には、お宅の昨年の生産状況などが記入してありますので、参考にさせていただき本年の状況を記入してください。

(3) 1 牛乳生産費・肉用牛生産費・肥育豚生産費統計関連共通項目

ア 主要指標

認定農業者制度の認定を受けている人はい ますか。(該当を○で囲む)	い	る	ない
	農 所 得	農 業 得	農 所 得
お宅では農業所得と農外所得のどちらが多いで すか。(該当を○で囲む)			

イ 農業就業者等

農業就業者	男	女
	人	人
農業専従者		
農業年 履		

農業就業者、農業専従者とは

「農業就業者」：年間の農業従事日数が60日以上の方
「農業専従者」：年間の農業従事日数が150日以上の方

(3) 2 牛乳生産費統計関連項目

ア 主産物の生産量

生産量	
乳脂肪生産量	kg
無脂乳固形分生産量	

記入注意：年間生産量を記入してください。

イ 搾乳牛負担率

搾乳牛	生後11日 未満の牛	育 成 牛		
		生後11日～6か月	6～18か月	18か月以上
飼料等	1.0			
建物	1.0			
飼育作業	1.0			

記入注意：飼料等(給与量)、建物(使用面積)、飼育作業(時間)について、
搾乳牛(成牛)に要する分を「1.0」とした場合の割合を乳用牛の
月齢区分別に記入してください。

(3) 3 子牛生産費統計関連項目

子牛換算係数

割合	月 齢 区 分				
	1・2か月齢	3・4か月齢	5・6か月齢	7・8か月齢	9・10か月齢

記入注意：繁殖牛(成牛)を飼育するのに要する費用を「1.0」とした場合、子牛を飼育するのに要する費用
の割合を子牛の月齢区分別に記入してください。

【備考】

10 調査客観概況 (つづき)

当頁の表には、本年の豚の飼養状況を記入してください。

(3)-4 肥育豚生産費統計関連項目
ア 年間飼養状況

頭数等		頭数
延べ飼養頭数	後継繁殖雌豚	
	後継繁殖雄豚	
子豚	子豚販売頭数	
分	死亡・とう汰頭数	
状	子豚購入頭数	
	分べんした繁殖雌豚	
	子豚の分べん頭数	

記入注意：「延べ飼養頭数」欄は、毎月1日現在に飼養する豚の12か月分の合計を記入してください。

イ 子豚等の飼養状況

月数	
子豚平均販売月齢	月
死亡・とう汰豚平均飼養月齢	
子豚購入時平均月齢	
繁殖雌豚平均分べん間隔	

記入注意：

- 1 「子豚平均販売月齢」欄は、子豚として販売する場合、その販売時の平均月齢を記入してください。
- 2 「死亡・とう汰豚平均飼養月齢」欄は、病死及び事故などにより死亡・とう汰が発生した時点の平均月齢を記入してください。
- 3 「子豚購入時平均月齢」欄は、子豚を購入する場合、その購入時の平均月齢を記入してください。
- 4 「繁殖雌豚平均分べん間隔」欄は、繁殖雌豚の前の分べんから次の分べんまでの平均間隔を月数で記入してください。

ウ 飼養頭数及び販売状況

	月始め飼養頭数		肥育豚の販売状況	
	肉豚頭数 (肥育豚+子豚)	繁殖雌豚	頭数	月齢
4月	頭	頭	頭	月
5月				
6月				
7月				
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				
3月				

記入注意：

- 1 「月始め飼養頭数」の各欄は、該当月の1日現在に飼養している全ての豚について記入してください。
- 2 「肥育豚の販売状況」の各欄は、該当月に販売した豚の頭数、平均月齢、1頭当たり平均生体重を記入してください。

[備考]



政府統計
統計法に基づく国の
統計調査です。調査
業務の円滑の確保
に万全を期します。

別記様式第3号（その2）

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

この帳簿は、統計以外の目的
には使用しませんので、あり
のままを記入してください。

農 業 経 営 統 計 調 査
平 成 年

帳 台
経 営 体 (営 農 類 型 別 経 営 統 計 用)
(組 織 法 人 経 営 体)

住 所	市 町 村 名	旧 市 町 村 名	集 落 名	組 織 名	
調 査 客 体 情 報	都道府県 番 号	管 理 番 号	調 査 客 体 番 号	調 査 客 体 種 類	作 成 対 象 区 分
	調 査 年	農 業 生 産 関 連 事 業	農 外 事 業	営 農 類 型	
		①	②	①	②
地方農政局等名	調査担当者				

農 林 水 産 省

目 次

経営台帳の記入に当たって	1
1 貸借対照表	2
2 損益計算書	5
3 調査客体概況	7

経営台帳の記入に当たって

- 1 組織で所有する固定資産などについて、各表中の白抜きの部分への記入をお願いします。なお、記入いただいた事項に関連して、調査担当者に伝えたい特記事項またはメモとして残しておきたい事項がございましたら、「備考」欄を利用してください。
- 2 各表中の網掛けをしてある項目は、昨年伺いました内容をもとに、調査担当者があらかじめ記入してあるものです。この内容についてご確認いただき、変更などがございましたら、修正をしてください。
- 3 土地、建物などに関する項目として、各種「負担割合」がございましたが、これにつきましても、昨年伺いました割合を記入してありますが、組織の営農状況に変化があり、本年の負担割合が大きく変化していると思われる場合には、調査担当者にご相談してください。
- 4 記入していただく項目の中には、各種「年月」に関するものがございますが、「年」につきましては、例えば「2017年」のように西暦で記入してください。

1 貸借対照表

当頁の表には、組織で保有する固定資産について、期首時点の保有状況が記入されています。期間内の減価償却額及び期末時点の保有状況について、組織の会計資料などに基づき記入してください。

(1) 固定資産細分配賦表
ア 植物及び動物

種類	品 種	成園・未成園 (株数・本数) 分 区	性別区分 (動物のみ)	期 首		減価償却額		期 末	
				植栽面積 ・頭数 千、百	現在価 円	普通	特 別	植栽面積 ・頭数 千、百	現在価 円

【備 考】

イ 建物・構築物及び自動車・農機具

種類	型 式 (構造)	区 分	期 首		減価償却額		期 末		農業生産関連施設 (原則、専任者(包括的専任者(農業関係者))に限定)	
			台 数 (千、百)	現在価 円	普通	特 別	台 数 (千、百)	現在価 円	農業事業	農業生産関連事業 ① ②
		計								
		生産原価 販売及び一般管理								
		計								
		生産原価 販売及び一般管理								
		計								
		生産原価 販売及び一般管理								

記入注意： 「種類」欄は、住宅、プラスチックハウス、自動車、トラクターなどの種類を記入し、「型式(構造)」欄は、住宅などの構造(木造瓦、鉄骨組など)、トラクターなどの型式(30馬力など)を記入してください。

1 貸借対照表 (つづき)

当頁の表には、組織で保有する固定資産について期首時点の保有状況が記入されています。期間内の減価償却額及び期末時点の保有状況について、組織の会計資料などに基づき記入してください。

(1) 固定資産細分配賦表 (つづき)

ウ 土地

種類	地目	区分	期首		期末		負担割合		合
			土地台帳面積又は総面積	現在価	土地台帳面積又は総面積	現在価	農業	農業生産関連事業	
		計		円		円		%	%
		生産原価							
		販売及び一級管理							
		計							
		生産原価							
		販売及び一級管理							

オ 投資・外部出資

期末現在価	円
-------	---

〔備考〕

記入注意：「種類」欄は、自作地、小作地、所有地及び借入地の名称を記入してください。「地目」欄は、現況地目（土地利用形態）を記入してください。

エ その他（無形固定資産も含む）

種類	細分等	区分	期首		減価償却額		期末		農業生産関連事業		その他
			台数 （農機具 のみ記入）	現在価 円	普通	特別	台数 （農機具 のみ記入）	現在価 円	農業事業	①	
		計		円						%	%
		生産原価									
		販売及び一級管理									
		計									
		生産原価									
		販売及び一級管理									

記入注意：「種類」欄は、事務機器、電気機器などの種類を記入し、「細分等」欄は、パソコン、複写機などの名称を記入してください。

1 貸借対照表 (つづき)

当頁の表は、組織で保有する流動資産などについて、組織の会計資料などに基づき記入してください。

(2) 流動資産・繰延資産・負債・資本科目配賦表

種 類		期末現在価	負 担	割 合		
流動資産	当座資産	千円				
	現金・預入金					
	売掛未収入金					
	有価証券					
棚卸資産	その他の当座資産					
	農産物					
	その他					
繰 延	その他の流動資産					
	買掛未払金					
	流動負債	農協				
		市中銀行				
		その他の				
		構成員				
	負債	短期借入金				
		(短期借入金小計)				
			うち国の制度資金			
		その他の流動負債				
		固定負債	財政・財政資金			
			農協系統資金			
その他						
構成員						
純資産		長期借入金				
		(長期借入金小計)				
負債	うち国の制度資金					
	その他の固定負債					
	資本金・出資金					
	資本剰余金					
	利益剰余金					
	任意積立金					
	繰越利益剰余金					
その他の純資産						

[備考]

2 損益計算書

当頁の表は、組織の事業収支について組織の会計資料などに基づき記入してください。

(1) 農業収入

農畜産物等名	金額
	千円

(2) 農業生産関連事業収入の内訳

農業生産関連事業名 (農産加工、観光農園等)	金額
	千円

(3) 制度受取金、積立金等の内訳

補てん金等の名称	受取金等	積立金等
農業共済	千円	千円
制度受取金、積立金等		

(4) 農作業受託収入の内訳

	金額
稲作	千円
全作業	
部分作業	
麦類	
豆類	
うち大豆	
その他	

(5) 事業収入計

金額	千円

(6) 営業外収支の内訳 (制度受取金、積立金などを除く)

	収入計	支出計
配当利子	千円	
歳費及び手当		
その他		
		千円

(7) 特別損益の内訳 (特別償却を除く)

	収入計	支出計
資本補助金	千円	
その他		
		千円

[備考]

2 損益計算書（つづき）

当頁の表は、組織の事業収支について組織の会計資料などに基づき記入してください。

(8) 科目配賦表（総括表）

種別	支出 千円	負担割合		その他 %
		農業事業 %	農業生産関連事業 ① % ② %	
期中備蓄				
種苗				
肥料				
飼料				
農薬				
修繕費				
光熱費				
賃借料				
委託料				
土地改良費				
租税公課				
役員報酬				
借入金				
借入金				
減価償却費				
上記以外の関連事業原料費 うち内部（関連事業間取引）				
その他				
販売経費				
運賃手数料				
市場手数料等				
構成員報酬				
うち役員報酬				
租税公課				
負債				
構成員支払分				
減価償却費				
その他の管理費				
農業租取益のうち在庫・動産増減額				
事業費				
費用				
金 額	千円			

〔備考〕

記入注意：「減価償却費」の「負担割合」欄は、「貸借対照表」の固定資産細分配賦表で行うので、この表では整理
しません。

3 調査客概況

当頁の表には、組織の昨年の生産状況などが記入してありますので、参考にさせていただき本年の状況を記入してください。

(1) 水陸稲、麦類、雑穀、豆類、いも類、
工芸農作物及び飼料作物の作付面積等

作物名	作付面積		生産量
	田	畑	
			kg

(2) 野菜及び花きの作付面積

作物名	作付面積	
	露地	施設
		㎡

(3) 果樹（茶、桑を含む）の植栽面積等

作物名	植栽面積		生産量
	成園	未成園	
			kg

(4) 畜産物の販売状況等

畜産物の種類	頭羽数等
採卵鶏平均飼養羽数	羽
鶏卵生産量	kg
ブロイラー販売羽数	羽
年始め繁殖雌豚頭数	頭
肥育豚月平均飼養頭数	
子豚販売頭数	
肉豚販売頭数	
酪農 生乳生産量	kg
養蚕 繰立卵量	箱

(5) 農作業受託及び生産調整田面積

農作業受託の種類等		面積
対象作物	作業名	
生産調整田面積		

記入注意：

- 1 「対象作物」欄は、水稲、小麦、大豆のうち、作業を請け負った作物名を記入してください。
- 2 「作業名」欄は、請け負った作業名（田植など）を具体的に記入してください。全作業受託の場合は「全作業」と記入してください。なお、小麦、大豆については記入不要です。
- 3 「面積」欄は、請け負った面積を記入してください。

[備考]

3 調査客體概況 (つづき)

当頁の表には、組織の昨年の生産状況などが記入してありますので、参考にしていただき本年の状況を記入してください。

(6) 構成員の状況等

出資者数 (自然人)	計	人
出身世帯	農家世帯	戸
	非農家世帯	
出身世帯	人	万円
出資構成	非従事構成員	
	農協・農協連合会	
	運 連 会 社	
	その他の団体	
組織は特定農業法人ですか。 (該当するものを○で囲む)	特定農業法人 である	特定農業法人 ではない
集落営業の範囲はどこまでですか。 (該当するものを○で囲む)	同一 集落内	同一 市町村内
	同一 市町村外	

記入注意:

- 「出資構成」欄は、法人出資者も含めた出資の構成(金額)について、「個人」「農協・農協連合会」「開連会社」「その他の団体」別に記入してください。
- 集落営業の範囲は、集落営業を行っている組織のみ記入してください。なお、範囲については組織の事務所・施設(または代表者の住家)の所在地を起点として、該当するものを○で囲んでください。

[備考]

(7) 事業従事者数

構 成 員	男		女	
	人	専従	人	専従
主たる従事者				
平均年齢				
65歳未満				
60日以上				
150日以上				
常用雇用者				
7か月以上雇用 臨時雇用者(延べ人日)				
農業従事者数				

記入注意:

- 「常用雇用者」とは、雇用契約期間の定めがない、又は雇用契約期間が1か月以上の雇用者をいいます。
- 常用雇用者のうち「7か月以上雇用」欄は、雇用契約期間の定めがない雇用者も含めて記入してください。
- 「臨時雇用者(延べ人日)」欄は、男女合計の延べ人日を「男」の欄に合わせて記入してください。なお、延べ人日とは、臨時雇用総労働時間を8(時間)で除して求めます。

管理部門専従とは

農作業など等の現場労働に従事せず、事務などの管理部門に関わる労働(販売に関わる労働を含む)のみに専従する人をいいます。

(8) 投資と資金

期	金額	農 業
期中借入金	千円	
短期借入金		
長期借入金		
返済額		
土 地		千円
建物・構築物		
車両・運搬具		
機械・装置		
期中投資額		

(9) 経営耕地面積等

経営耕地面積	自作地 (組織所有)		借入地	
	田	畑	(構成員から)	(構成員以外から)
普通畑				
樹園地				
牧 草 地				
耕地以外の土地				

(10) 決算期

決算期	年 月	年 月
	始 め	終 わ り



政府統計
統計法に基づく国の
統計調査です。調査
結果情報の秘密の保護
に万全を期します。

別記様式第3号(その3)

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

この帳簿は、統計以外の目的には使用しませんので、ありのままを記入してください。

平成 年
農業経営統計調査

経営台帳
(組織法人経営体(農産物生産費統計用))

住所	市町村名	旧市町村名	集落名		組織名	
	都道府県番	管理番号	調査客体番	調査客体号	調査客体種類	作成対象区分
調査客体情報	調査対象品目		調査年産			
	地方農政局等名		調査担当者			

農林水産省

目 次

経営台帳の記入に当たって	1
1 土地	2
2 建物及び自動車・農機具	3
3 借入金	4
4 調査客体概況	5

経営台帳の記入に当たって

- 1 調査対象期間に使用した固定資産などについて、各表中の白抜きの部分への記入をお願いします。
なお、記入いただいた事項に関連して、調査担当者に伝えたい特記事項またはメモとして残しておきたい事項がございましたら、「備考」欄を利用してください。
- 2 各表中の網掛けをしてある項目は、昨年伺いました内容をもとに、調査担当者があらかじめ記入してあるものです。この内容についてご確認いただき、変更などがございましたら、修正をしてください。
- 3 土地、建物などに関する項目として、各種「負担割合」がございますが、これにつきましても、昨年伺いました割合を記入してありますが、組織の営農状況に変化があり、本年の負担割合が大きく変化していると思われる場合には、調査担当者にご相談してください。
- 4 記入していただく項目の中には、各種「年月」に関するものがございますが、「年」につきましては、例えば「2017年」のように西暦で記入してください。

1 土地

組織で所有する土地及び借り入れられている土地について、調査始め時点の状況が記入されています。記入事項をご確認いただき、調査期間の期末の状況へ修正してください。

種類 (いっぺん)	地目 (地目コードを参照して記入)	ほ場名・地番	該当生産費品目の			備考
			土地台帳面積 又は 総面積	土地台帳面積 又は 総面積	作付実面積 又は 使用面積	
所有地						
借入地						
構成員以外						
構成員						

地目コード	
田	11
普通畑	21
樹園地(果樹園、茶園、桑園、その他の園地)	29
牧草地	31
耕地以外の土地(事務所、畜舎、鶏舎、厩舎、厩外飼育場、その他建物敷地、採草地、放牧地、運動場、山林、土地権利、その他の土地)	65

- 記入注意： 1 種類のうち「所有地」は、組織法人で所有する土地について記入してください。「借入地」は、「構成員からの借入地」、「構成員以外からの借入地」別に記入してください。また、該当する種類に○をしてください。
- 2 「土地台帳面積又は総面積」欄は、作付地以外にあっては土地台帳面積を、作付地以外の土地にあっては総面積（建物だけでなく、敷地面積も含める。）を記入してください。
- 3 該当生産費品目の「地代に対する負担割合」欄は、当該土地から産出された粗収益合計に対する生産費品目の粗収益の割合を記入してください。

2 建物及び自動車・農機具

(1)の総括表には、昨年生産費品目を利用した建物及び自動車・農機具について、調査始め時点の状況が記入されています。記入事項をご確認いただき、変更がありましたら修正するとともに、(2)の異動表に異動状況を記入してください。

(1) 総括表

種類 【 具体的に 記入 】	構造 (型式)	新古区分		取得年月		取得価額 千円	調査始め 延べ面積 (台数)	該当生産費 調査期間 負担割合	備考
		新	古	年	月				

記入注意： 1 「新古区分」欄は、購入時に新品のものは「新」、中古のものは「古」に○を記入してください。
 2 「調査始め延べ面積(台数)」欄は、建物にあっては延べ面積を、自動車・農機具にあっては台数を記入してください。
 なお、共有している場合は、組織の持分を記入してください。

(2) 異動表

異動事由 【 異動事由コード を参照して記入 】	異動年月		種類	構造 (型式)	異動延べ 面積 (台数)
	年	月			

記入注意： 1 「異動事由」欄は、右の異動事由コードを参照して該当する番号を記入してください。
 2 「種類」欄は、建物、自動車・農機具の名称を具体的に記入してください。
 3 「構造(型式)」欄は、「建物・構築物」にあっては木造、鉄骨などの構造を、「自動車・農機具」にあっては30馬力(トラクターの例)、5条値(田植機の例)などの型式を具体的に記入してください。

【備考】

異動事由コード (建物)	
新築等	01
中古購入	02
取り壊し	03
処分取り壊し	04
資産分割による増価	07
売却	08
災害	09
復旧	10
資産分割による減価	11

異動事由コード (自動車・農機具)	
新品購入	01
中古購入	02
資産分割による増価	04
売却	05
災害等	06
資産分割による減価	07

3 借入金

この表には、組織の借入金などについて、調査始め時点の未償還残高が記入されています。記入事項をご確認いただき調査未時点の借入状況について記入してください。

資金名	調査始 未償還 残高	該当生産費 品目の 負担割合	調査未 償還 残高	該当生産費 品目の 負担割合	備 考
	千円	%	千円	%	

記入注意：該当生産費品目の生産に係る借入金について、調査期間内に借り入れた借入金についても追加して記入してください。

4 調査客體概況

この頁の表には、組織の昨年の生産状況などが記入してありますので、参考にしていただき本年の状況を記入してください。

(1) 主要指標及び作柄

認定農業者制度の認定を受けていますか。(該当を○で囲む)	受けている	受けていない
米の販売金額(農産物販売金額のうち1位ですか。(米生産費のみ、該当を○で囲む))	1位である	1位でない
10a. 当たり年収量(単収を記入する)	kg	

10a 当たり年収量とは

過去5か年の10a当たり収量のうち最高、最低を除く3か年の平均収量を記入してください。

(2) 構成員数等

構成員	人
農業者	人
構成農家世帯数	戸

(3) 設立年次等

設立年次は何年ですか。	年
法人化年次は何年ですか。	年
株式会社、有限会社になった年次は何年ですか。	年
組織は兼営農ですか。(該当を○で囲む)	兼営農
	兼営農以外

(4) 調査作物の受託状況別面積

作業名 (具体的に記入)	面積
	ha
	ha
	ha

記入注意:

- 育苗、乾燥、調製など数量単位で精算される場合は、その見取り面積を記入してください。
- 耕うん・整地、防除など同一ほ場を数回にわたって受託した場合は、その実面積を記入してください。
- 全作業を受託する場合、「作業名」欄に全作業と記入してください。

(5) 米生産費統計関連項目

田区画整理済面積割合	%
田区画数	区画
田面積	ha

イ ほ場枚数及び面積等

区画規模	ほ場枚数
ha	枚
ほ場間の距離	ha
田地への平均距離	ha

記入注意:

- 区画規模別のほ場枚数を記入してください。
- 区画規模は「30a」など具体的に記入してください。

ウ 飼料用米作付状況

飼料用米作付面積	ha
----------	----

エ 「移植」・「直まき」別作付面積

移植	作付面積
直まき	ha

農業経営統計調査の集計事項一覧

目 次

I	営農類型別経営統計	-----	1	II	農畜産物生産費統計	-----	6
1	1 個別経営体	-----	1	1	1 個別経営体	-----	6
	(1) 水田作経営	-----	1	(1)	(1) 米生産費	-----	6
	(2) 畑作経営	-----	1	(2)	(2) 小麦生産費	-----	6
	(3) 露地野菜作経営	-----	2	(3)	(3) 二条小麦生産費	-----	6
	(4) 施設野菜作経営	-----	2	(4)	(4) 六条小麦生産費	-----	6
	(5) 果樹作経営	-----	3	(5)	(5) はだか麦生産費	-----	6
	(6) 露地花き作経営	-----	3	(6)	(6) 大豆生産費	-----	6
	(7) 施設花き作経営	-----	3	(7)	(7) そば生産費	-----	6
	(8) 酪農経営	-----	4	(8)	(8) 原料用かんしよ生産費	-----	6
	(9) 繁殖牛経営	-----	4	(9)	(9) 原料用ばれいしよ生産費	-----	6
	(10) 肥育牛経営	-----	4	(10)	(10) なたね生産費	-----	6
	(11) 養豚経営	-----	4	(11)	(11) てんさい生産費	-----	6
	(12) 採卵養鶏経営	-----	4	(12)	(12) さとうきび生産費	-----	6
	(13) ブロイラー養鶏経営	-----	4	(13)	(13) 牛乳生産費	-----	7
2	組織法人経営体	-----	5	(14)	(14) 去勢若齢肥育牛生産費	-----	7
(1)	(1) 水田作経営	-----	5	(15)	(15) 乳用雄肥育牛生産費	-----	7
(2)	(2) 畑作経営	-----	5	(16)	(16) 子牛生産費	-----	7
(3)	(3) 露地野菜作経営	-----	5	(17)	(17) 乳用雄育成牛生産費	-----	7
(4)	(4) 施設野菜作経営	-----	5	(18)	(18) 交雑種肥育牛生産費	-----	7
(5)	(5) 果樹作経営	-----	5	(19)	(19) 交雑種育成牛生産費	-----	7
(6)	(6) 露地花き作経営	-----	5	(20)	(20) 肥育豚生産費	-----	7
(7)	(7) 施設花き作経営	-----	5	2	組織法人経営体	-----	7
(8)	(8) 酪農経営	-----	5	(1)	(1) 米生産費	-----	7
(9)	(9) 繁殖牛経営	-----	5	(2)	(2) 小麦生産費	-----	7
(10)	(10) 肥育牛経営	-----	5	(3)	(3) 大豆生産費	-----	7
(11)	(11) 養豚経営	-----	5	III	経営形態別経営統計	-----	8
(12)	(12) 採卵養鶏経営	-----	5	1	1 個別経営体	-----	8
(13)	(13) ブロイラー養鶏経営	-----	5	2	2 組織法人経営体	-----	8

本文内の記号の意味
 ◎： 平均値及び階層別を表章
 ○： 平均値のみを表章
 ×： 集計しない

区分	階層の種類	表章地域の範囲			備考
		全国	都府県・北海道別	農業地域別	
I 営農類型別経営統計					
1 個別経営体					
(1) 水田作経営					
ア 水田作経営	水田作作付延べ面積	◎	◎	○	
イ 稲作経営	稲作作付面積	◎	◎	○	
ウ 稲作1位経営	"	◎	◎	○	
エ 稲作単一経営	"	◎	◎	○	
オ 稲作1位複合経営	"	◎	◎	○	
カ 麦類作経営	麦類作付面積	◎	○ ^{*1}	○ ^{*2}	※1 北海道のみ ※2 関東・東山及び九州のみ
キ 麦類作1位経営		○	×	×	
ク 大豆作経営	大豆作付面積	◎	○	×	
ケ 大豆作1位経営		○	×	×	
(2) 畑作経営					
ア 畑作経営	畑作作付延べ面積	○	◎	○	
イ 麦類作経営	麦類作付面積	×	◎ [*]	×	※ 北海道のみ
ウ 大豆作経営		×	○ [*]	×	※ "
エ ばれいしよ作経営	ばれいしよ作付面積	×	◎ ^{*1}	○ ^{*2}	※1 北海道のみ ※2 関東・東山及び九州のみ
オ てんさい作経営	てんさい作付面積	×	◎ [*]	×	※ 北海道のみ

区分	階層の種類	表草地域域の範囲			備考
		全国	都府県・北海道別	農業地域別	
カ 茶作経営		×	×	○*	※ 関東・東山、東海、近畿及び九州のみ
キ さとうきび経営		×	×	○*	※ 九州及び神縄のみ
ク かんしょ作経営		×	×	○*	※ 関東・東山及び九州のみ
(3) 露地野菜作経営					
ア 露地野菜作経営	露地野菜作付延べ面積	◎	○*	○	※ 北海道のみ
イ 露地野菜作単一経営	〃	◎	○*	○	※
ウ 露地キャベツ作経営		○	×	×	
エ 露地ほうれんそう作経営		○	×	×	
オ 露地レタス作経営		○	×	×	
カ 露地白ねぎ作経営		○	×	×	
キ 露地だいこん作経営		○	×	×	
ク 露地にんじん作経営		○	×	×	
(4) 施設野菜作経営					
ア 施設野菜作経営	施設野菜作付延べ面積	◎	○*	○	※
イ 施設野菜作単一経営	〃	◎	○*	○	※
ウ 施設きゅうり作経営		○	×	×	
エ 施設大玉トマト作経営		○	×	×	
オ 施設なす作経営		○	×	×	

区分	階層の種類	表草地域の範囲			備考
		全国	都府県・北海道別	農業地域別	
(5) 果樹作経営	果樹植栽面積	◎	○*	○	※ 北海道のみ
ア 果樹作経営	果樹作単一経営	◎	○*	○	※ "
ウ りんご作経営	りんご植栽面積	◎	×	○*	※ 東北及び関東・東山のみ
エ みかん作経営	みかん植栽面積	◎	×	○*	※ 東海、近畿、中国、四国及び九州のみ
オ なし作経営	なし植栽面積	◎	×	○*	※ 東北、関東・東山、東海、中国及び九州のみ
カ ぶどう作経営	ぶどう植栽面積	◎	×	○*	※ 東北、関東・東山、中国及び九州のみ
キ もも作経営	もも植栽面積	◎	×	○*	※ 東北、関東・東山、近畿、及び中国のみ
(6) 露地花き作経営	露地花き作付延べ面積	◎	×	×	
ア 露地花き作経営	露地花き作単一経営	◎	×	×	
(7) 施設花き作経営	施設花き作付延べ面積	◎	×	×	
ア 施設花き作経営	施設花き作単一経営	◎	×	×	

区分	階層の種類	表章地域の範囲			備考
		全国	都府県・北海道別	農業地域別	
(8) 酪農経営 ア 酪農経営	月平均搾乳牛飼養頭数	◎	◎	○	
イ 酪農単一経営	"	◎	◎	○	
ウ 酪農複合経営	"	◎	◎*	×	※ 都府県のみ
(9) 繁殖牛経営	繁殖雌牛月平均飼養頭数	◎	◎*	○	※ 北海道は平均値のみ
(10) 肥育牛経営 ア 肥育牛経営	肥育牛月平均飼養頭数	◎	◎*	○	※ "
イ 肥育牛単一経営	"	◎	×	×	
ウ 肥育牛経営 (肉専用種が主)	"	◎	×	×	
エ 肥育牛経営 (乳用種が主)	"	◎	×	×	
(11) 養豚経営 ア 養豚経営	肥育豚月平均飼養頭数	◎	◎*	○	※ "
イ 養豚単一経営	"	◎	◎*	○	※ "
(12) 採卵養鶏経営	月平均採卵鶏飼養羽数	◎	×	×	
(13) プロイラー養鶏経営	プロイラー販売羽数	◎	×	×	

区分	階層の種類	表章地域の範囲			備考
		全国	都府県・北海道別	農業地域別	
2 組織法人経営体	水田作付延べ面積 " 畑作付延べ面積	◎	×	○*	※ 東北及び北陸のみ ※ "
(1) 水田作経営		◎	×	○*	
ア 水田作経営		◎	×	×	
イ 集落営農型		○	×	×	
(2) 畑作経営		○	×	×	
(3) 露地野菜作経営		○	×	×	
(4) 施設野菜作経営		○	×	×	
(5) 果樹作経営		○	×	×	
(6) 露地花き作経営		○	×	×	
(7) 施設花き作経営		○	×	×	
(8) 酪農経営		○	×	×	
(9) 繁殖牛経営		○	×	×	
(10) 肥育牛経営		○	×	×	
(11) 養豚経営	○	×	×		
(12) 採卵養鶏経営	○	×	×		
(13) ブロイラー養鶏経営	○	×	×		

区分	階層の種類	表章地域の範囲			備考
		全国	都府県・北海道別	農業地域別	
II 農畜産物生産費統計					
1 個別経営体					
(1) 米生産費	水稻作付面積	◎	◎	◎	その他、府県別平均値を表章
(2) 小麦生産費	小麦作付面積	◎	◎	○*	※ 関東・東山及び九州のみ
ア 田畑計	"	◎	○	×	
イ 田畑別		○	×	×	
(3) 二条大麦生産費		○	×	×	
(4) 六条大麦生産費		○	×	×	
(5) はだか麦生産費		○	×	×	
(6) 大豆生産費	大豆作付面積	◎	◎	○*	※ 東北、北陸、関東・東山及び九州のみ
ア 田畑計	"	◎	×	×	
イ 田畑別		◎	○	×	
(7) そば生産費	そば作付面積	◎	×	×	※ 鹿児島のみ
(8) 原料用かんしょ生産費	原料用ばれいしょ作付面積	○*	×	×	※ 北海道のみ
(9) 原料用ばれいしょ生産費	なたね作付面積	×	◎*	×	
(10) なたね生産費	てんさい作付面積	◎	○	×	
(11) てんさい生産費	さとうきび作付面積	×	◎*	×	※ "
(12) さとうきび生産費		◎	×	×	※ 鹿児島及び沖縄平均値を表章

区・分	階層の種類	表章地域の範囲			備考
		全国	都府県・北海道別	農業地域別	
(13) 牛乳生産費	搾乳牛飼養頭数	◎	◎	○	
(14) 去勢若齢肥育牛生産費	去勢若齢肥育牛飼養頭数	◎	○*	○	※ 北海道のみ
(15) 乳用雄肥育牛生産費	乳用雄肥育牛飼養頭数	◎	○*	○	※ "
(16) 子牛生産費	繁殖雌牛飼養頭数	◎	○*	○	※ "
(17) 乳用雄育成牛生産費	乳用雄育成牛飼養頭数	◎	○*	○	※ "
(18) 交雑種肥育牛生産費	交雑種肥育牛飼養頭数	◎	○*	○	※ "
(19) 交雑種育成牛生産費	交雑種育成牛飼養頭数	◎	○*	○	※ "
(20) 肥育豚生産費	肉豚飼養頭数	◎	○*	○	※ "
2 組織法人経営体		○	×	×	
(1) 米生産費		○	×	×	
(2) 小麦生産費		○	×	×	
(3) 大豆生産費		○	×	×	

区分	階層の種類	表章地域の範囲			備考
		全国	都府県・北海道別	農業地域別	
Ⅲ 経営形態別経営統計 1 個別経営体 (1) 個別経営体 (2) 主副業別 (3) 認定農業者のいる経営体 (4) 個別法人経営体 2 組織法人経営体	経営耕地面積	○ ○ ○ ○ ○	◎ ○ ○ × ◎*	◎ ○ × × ○	※ 北海道のみ

農業経営統計調査の集計事項一覧の変更について

1 集計事項の見直し

農業経営統計調査は、全国平均値のみならず、規模階層別、農業地域別、都道府県別等、幅広い集計区分により統計表を編成し刊行物等により公表しているところであるが、今般の農業経営統計調査の見直しに伴う標本数の減少により代表性の担保が困難となること及び営農類型別経営統計における「指定部門」の削減等から、集計事項を見直すこととする。主な修正点は以下のとおり。

(1) 営農類型別経営統計（個別経営体）

水田作経営の稲作1位複合経営のうち、「2位作物が麦類作・豆類作」、「2位作物が野菜作」及び「2位作物が果樹作」の集計を取りやめる。また、麦類作経営は主要な農業地域に限定する。

(2) 農畜産物生産費（個別経営体）

小麦生産費は、田畑計の農業地域別については作付規模階層別の集計を取りやめるとともに、主要な農業地域に限定する。併せて府県別については取りやめる。また、田畑別の農業地域別についても集計を取りやめる。

大豆生産費は、田畑計の農業地域別について主要な農業地域に限定する。

(3) 経営形態別経営統計（個別経営体）

「農業労働力保有状態別」及び「農業経営関与者の農業主従別」の集計を取りやめる。

(4) 営農類型別経営統計（個別経営体及び組織経営体）

指定部門の削減（個別経営体）・廃止（組織経営体）に伴い当該指定部門にかかる集計を取りやめる。（指定部門の削除等の詳細については参考2「営農類型別経営統計における指定部門の削減及び廃止等について」を参照）

2 農業経営統計調査の廃止及び追加に伴う変更

(1) 営農類型別経営統計（組織法人経営体）の任意組織経営体の廃止に伴い該当する集計事項を削除

(2) 農畜産物生産費統計に組織法人経営体の米生産費、小麦生産費及び大豆生産費の追加に伴い該当する集計事項を追加

3 集計事項一覧の形式的見直し

(1) 表章地域の範囲については、県別を削除し、全国、都府県・北海道別及び農業地域別並びにそれぞれ表章する平均種類（平均又は階層別）を整理した。

(2) 利用者の要望により閲覧できる集計事項について、閲覧要望が僅少であるため、これを廃止した。

営農類型別経営統計における指定部門の削減及び廃止等について

- 1 農業経営統計調査については、平成16年見直しにおいて、(当時の)食料・農業・農村基本計画に示す「農業経営の展望」の営農類型別・地域別における経営実態把握等、新たな施策の展開に係る行政需要に対応すべく、動向統計及び部門別統計として調査を行ってきた経営体を営農タイプ毎に把握する営農類型別経営統計に改編するとともに、当該営農類型の農業収入に占める割合の高い生産物を「指定部門」として設定し、当該営農類型の経営収支等と共に当該営農類型の各部門における経営収支等を公表してきたところ。
(なお、平成20年見直しにおいて、品目別経営統計の廃止に伴い、指定部門の追加を行った。)
- 2 この指定部門については、品目毎に生産コスト等を把握している生産費調査との品目及び調査項目の重複があることから、調査客体の負担軽減の観点及び利活用状況を踏まえ指定部門の削減(及び廃止)を行うこととする。
- 3 指定部門の削減(及び廃止)に際しては、以下の基準を用いる。
 - ① 生産費統計の対象品目と重複する品目を削減
 - ② 露地野菜作経営及び施設野菜作経営においては野菜生産出荷安定法、果樹作経営においては果樹農業振興特別措置法で指定されている品目以外を削減
 - ③ 当該営農類型対象経営体の農業収入のほとんどが当該営農類型名と同一の指定部門の収入である品目を削減

【営農類型(区分)】とは、

農業経営体の品目別の販売収入を「水田作」、「畑作」、「露地野菜作」、「施設野菜作」、「果樹作」、「露地花き作」、「施設花き作」、「酪農」、「繁殖牛」、「肥育牛」、「養豚」、「採卵養鶏」、「ブロイラー養鶏」及び上記のいずれにも属さない「その他」に区分し、最も収入が大きい区分を当該経営体の営農類型(営農形態)として捉え、分類したものをいう。

【指定部門】とは、

各営農類型毎に主となる収入を構成する生産物を指定部門として設定し、当該経営体における農業収入のうち上位2位(最大3位)までを、当該経営体における指定部門としている。

【現行】
20年調査見直しにおいて設定した指定部門

【個別経営】

営農類型及び指定部門	
水田作経営	稲作
	麦類作
	豆類作
畑作経営 (北海道)	麦類作
	ばれいしょ作
	豆類作
	その他工芸作
畑作経営 (都府県)	麦類作
	かんしょ作
	ばれいしょ作
	豆類作
	茶作
露地野菜作 経営	さとうきび作
	露地キャベツ
	露地ほうれんそう
	露地レタス
	露地白ねぎ
	露地だいこん
	露地にんじん
	その他の露地野菜
施設野菜作 経営	施設きゅうり
	施設大玉トマト
	施設なす
	施設ピーマン
果樹作経営	その他の施設野菜
	りんご作
	みかん作
	ぶどう作
	なし作
露地花き作 経営	もも作
	その他果樹作
露地花き作 経営	露地花き作
施設花き作 経営	施設花き作
酪農経営	酪農
繁殖牛経営	繁殖牛
肥育牛経営	肥育牛
養豚経営	養豚
採卵養鶏 経営	採卵養鶏
ブロイラー 養鶏経営	ブロイラー養鶏

【見直し後】
29年調査以降において設定する指定部門

【個別経営】

営農類型及び指定部門	
(廃止)	水田作経営
(廃止)	
(廃止)	
(廃止)	畑作経営 (北海道)
ばれいしょ作	
(廃止)	
(廃止)	
(廃止)	畑作経営 (都府県)
かんしょ作	
ばれいしょ作	
(廃止)	
茶作	
(廃止)	露地野菜作 経営
露地キャベツ作	
露地ほうれんそう作	
露地レタス作	
露地白ねぎ作	
露地だいこん作	
露地にんじん作	
(廃止)	
施設きゅうり作	施設野菜作 経営
施設大玉トマト作	
施設なす作	
(廃止)	
(廃止)	果樹作経営
りんご作	
みかん作	
ぶどう作	
なし作	
もも作	露地花き作 経営
(廃止)	
施設花き作	施設花き作 経営
(廃止)	酪農経営
(廃止)	繁殖牛経営
(廃止)	肥育牛経営
(廃止)	養豚経営
(廃止)	採卵養鶏 経営
(廃止)	ブロイラー 養鶏経営

米生産費と重複
麦類生産費と重複
大豆生産費と重複
粟類生産費と重複
大豆生産費と重複
なたね、そば等と重複
麦類生産費と重複
大豆生産費と重複
さとうきびと重複

牛乳生産費と重複
子牛生産費と重複
肉用牛生産費と重複
肥育豚生産費と重複

【組織経営】

営農類型及び指定部門	
水田作経営	稲作
	麦類作
	豆類作
畑作経営	麦類作
	豆類作

【組織経営】

営農類型及び指定部門	
(廃止)	水田作経営
(廃止)	
(廃止)	
(廃止)	畑作経営
(廃止)	

米生産費と重複
小麦生産費と重複
大豆生産費と重複
小麦生産費と重複
大豆生産費と重複

別添5

農業経営統計調査の公表時期

統 計	公表時期
営農類型別経営統計	
個別経営体	翌年十月
組織法人経営体	
農畜産物生産費統計（個別経営体）	
米	翌年十月
小麦 二条大麦 六条大麦 はだか麦	翌年六月
そば 大豆 原料用かんしょ 原料用ばれいしょ	翌年八月
なたね	翌年六月
てんさい	翌年七月
さとうきび	翌年八月
牛乳 去勢若齢肥育牛 乳用雄肥育牛 交雑種肥育牛 子牛 乳用雄育成牛 交雑種育成牛 肥育豚	翌年十月
農産物生産費統計（組織法人経営体）	
米	翌年十月
小麦	翌年六月
大豆	翌年八月

農業経営統計調査の標本設計について

1 調査対象母集団

(1) 本調査は、2015年農林業センサス（以下「センサス」という。）及び平成27年集落営農実態調査等に基づいて調査を設計する。調査の対象は、統計の種類により異なるが、センサスで規定する「農業経営体」のうち農産物の販売を目的とする経営体とする。

(2) 本調査における経営体は次の2区分とする。

ア 個別経営体

世帯による農業経営を行う経営体（法人格を有する経営体を含む。）。

イ 組織法人経営体

個別経営体以外で法人化している農事組合法人及び会社組織による経営体。

2 目標精度及び標本数の基本的な考え方

農業経営統計調査の各統計別の目標精度及び目標標本数については、利用部局との調整により決定したそれぞれの重要度に応じて、1経営体当たり農業粗収益（生産費統計は計算単位当たり全額算入生産費）を指標とした目標精度等を設定して標本数を決定する。

【農業経営統計調査の統計別標本数】

区 分	見直し後 A	現 行 B	A/B×100
	経営体	経営体	%
農 業 経 営 統 計 調 査 ⑧=④+⑦	8,640	9,447	91.5
営 農 類 型 別 経 営 統 計 ④=①+②+③	4,626	5,110	90.5
個 別 経 営 体 ①	4,170	4,529	92.1
組 織 法 人 経 営 体 ②	456	369	123.6
集 落 営 農 型 任 意 組 織 経 営 体 ③		212	—
生 産 費 統 計 ⑦=⑤+⑥	4,014	4,337	92.6
個 別 経 営 体 ⑤	3,891	4,337	89.7
組 織 法 人 経 営 体 ⑥	123		—

3 営農類型別経営統計

(1) 営農類型別の母集団

全国の「個別経営体」及び「組織法人経営体」ごとに、営農類型別の母集団リストを編成する。

ただし、組織法人経営体についてはその他経営を除く。

(2) 営農類型別母集団リストの編成方法

営農類型別の母集団リストは、各営農類型に該当する農産物の販売金額が1位の経営体を集めて編成する。

具体的には、センサスに基づく販売目的の農業経営体の農業販売収入に占める農産物の販売金額割合を指標として次表の分類基準のとおり母集団リストを編成する。

【営農類型の分類基準】

営農類型区分	営農類型の分類基準
○水田作経営	・稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の販売収入のうち、水田で作付けした農業生産物の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
○畑作経営	・稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の販売収入のうち、畑で作付けした農業生産物の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
○野菜作経営 ・露地野菜作経営 ・施設野菜作経営	・野菜の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営 ・野菜作経営のうち、露地野菜の販売収入が施設野菜の販売収入以上である経営 ・野菜作経営のうち、露地野菜より施設野菜の販売収入が多い経営
○果樹作経営	・果樹の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
○花き作経営 ・露地花き作経営 ・施設花き作経営	・花き販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営 ・花き作経営のうち、露地花き販売収入が施設花き販売収入以上である経営 ・花き作経営のうち、露地花きより施設花き販売収入が多い経営
○酪農経営	・酪農の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
○肉用牛経営 ・繁殖牛経営 ・肥育牛経営	・肉用牛販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営 ・肉用牛経営のうち、繁殖雌牛の飼養頭数が肥育牛の飼養頭数以上である経営 ・肉用牛経営のうち、繁殖雌牛の飼養頭数より肥育牛の飼養頭数が多い経営
○養豚経営	・養豚の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
○採卵養鶏経営	・採卵養鶏の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
○ブロイラー養鶏経営	・ブロイラー養鶏の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
○その他経営	・上記の営農類型に分類されない経営

(3) 営農類型別経営統計の標本数及び標本配置

ア 個別経営体の標本数等

(7) 全国の標本数

個別経営体の標本数は、利用部局と調整の上、施策上の重要度が高い営農類型については目標精度を設定し（水田作、畑作及び酪農経営はさらに北海道・都府県別）、その達成に必要な標本数を設定する。

また、施策上の重要度が低い営農類型及び経営形態別経営統計のみに使用する「その他」は、目標精度は設定せず、50 経営体を目標標本数に設定する。

【営農類型別経営統計（個別経営体）の標本数】

単位：経営体、%

区 分		母集団 ①	標本数 ②	抽出率 ①/②	目標精度 (目標標本数)	現行
営農類型別合計(個別)		—	4,170	—	—	4,529
水田作	合 計	732,890	1,300	1/ 564	—	1,607
	北 海 道	11,911	152	1/ 78	2.5	161
	都 府 県	720,979	1,148	1/ 628	2.0	1,446
畑作	合 計	54,304	635	1/ 86	—	643
	北 海 道	7,047	148	1/ 48	2.5	160
	都 府 県	47,257	487	1/ 97	3.5	483
野菜作	合 計	198,907	884	1/ 225	—	861
	露 地	129,753	510	1/ 254	2.5	509
	施 設	69,154	374	1/ 185	3.0	352
果 樹 作		153,446	456	1/ 337	3.5	503
花き作	合 計	25,928	100	1/ 259	—	100
	露 地	10,247	50	1/ 205	(50)	50
	施 設	15,681	50	1/ 314	(50)	50
酪農	合 計	15,415	353	1/ 44	—	364
	北 海 道	5,966	155	1/ 38	2.0	163
	都 府 県	9,449	198	1/ 48	2.0	201
肉用牛	合 計	33,699	203	1/ 166	—	212
	繁 殖 牛	27,258	102	1/ 267	4.0	108
	肥 育 牛	6,441	101	1/ 64	4.0	104
養 豚		2,196	89	1/ 25	3.5	89
採 卵 養 鶏		1,526	50	1/ 31	(50)	50
ブ ロ イ ラ ー 養 鶏		1,318	50	1/ 26	(50)	50
そ の 他		26,186	50	1/ 524	(50)	50

注：母集団数については、2015年センサス結果の概数値を基に集計したものであり、確定に向け今後の変動があり得る（以下同じ。）。

(4) 階層別・都道府県別配分

目標精度等を定めた区分ごとに、全国等の標本数をネイマンの最適配分により区内の経営規模による階層別に配分する。更に、階層別に配分された全国等の標本数を都道府県の階層別の母集団の大きさに応じて比例配分する。

この際、施策上の重要度が高い水田作経営の標本数については、全国平均値のみならず、階層別及び全国農業地域別平均値についても、一定の精度を求められている現状を踏まえ、階層別の精度が4%を下回った階層について、精度が4%となるまで標本を追加する。また、地域別の精度が8%を下回った地域について、精度が8%となるまで標本を追加する。

イ 組織法人経営体の標本数等

(7) 全国の標本数

組織法人経営体^(注)の標本数は、利用部局と調整の上、

- ① 水田作経営については、母集団の大きさが比較的大きく、かつ、施策上の重要度が高いことから目標精度を設定し、その達成に必要な標本数を設定する。
- ② 水田作以外の経営については、母集団の大きさが比較的小さいことから、母集団の動向、調査結果の利活用状況に応じて目標とする標本数を以下のとおり設定する。
 - i) 畑作経営については、施策上の重要度が高いことから、40経営体とする。
 - ii) 上記以外の営農類型については、2010年農林業センサスからの母集団の動向を勘案し、露地野菜作、施設野菜作及び果樹作経営は30経営体とする。これら以外の営農類型については、母集団が小さいことから、施設花き作、酪農及び養豚経営については20経営体、肥育牛及び採卵養鶏経営については15経営体、ブロイラー養鶏経営については10経営体、露地花き作及び繁殖牛経営については5経営体とする。

(注) 組織法人経営体は、経営体の売上高に占める農業と農業生産関連事業の売上高の合計が事業全体の50%以上の経営体のうち、損益計算書及び貸借対照表が整備されているものを対象とする。

【営農類型別経営統計（組織法人経営体）の標本数】

単位：経営体、%

区 分	母集団			標本数 ③	抽出率 ①/③	目標精度 (目標標本数)	現 行	
	2015年 ①	2010年 ②	増減率 ①/②					
営農類型別合計(法人)	-	-	-	456	-	-	369	
水田作	合 計	6,362	3,640	74.8	216	1/29	209	
	集 落 営 農	3,360	1,807	85.9	139	1/24	151	
	集落営農以外	3,002	1,833	63.8	77	1/39	58	
畑作	1,079	688	56.8	40	1/27	(40)	30	
野菜作	合 計	3,252	1,749	85.9	60	1/54	-	35
	露 地	1,717	1,075	59.7	30	1/57	(30)	20
	施 設	1,535	674	127.7	30	1/51	(30)	15
果 樹 作	1,072	607	76.6	30	1/36	(30)	15	
花き作	合 計	930	752	23.7	25	1/37	-	20
	露 地	177	133	33.1	5	1/35	(5)	5
	施 設	753	619	21.6	20	1/38	(20)	15
酪 農	761	618	23.1	20	1/38	(20)	15	
肉用牛	合 計	878	676	29.9	20	1/44	-	15
	繁 殖 牛	212	130	63.1	5	1/42	(5)	5
	肥 育 牛	666	546	22.0	15	1/44	(15)	10
養 豚	1,042	903	15.4	20	1/52	(20)	10	
採 卵 養 鶏	865	738	17.2	15	1/58	(15)	10	
ブロイラー養鶏	324	226	43.4	10	1/32	(10)	10	

注：1 表中の母集団2010年②「水田作 集落営農」は、平成22年2月1日現在の集落営農実態調査を用いている。

2 集落営農とは、集落（集落内の経営体のうち、概ね半数以上の経営体が参加）を単位として、農業経営を行う経営体とする。

(イ) 階層別・都道府県別配分

(ア)で定めた全国の標本数をネイマンの最適配分により区分内の経営規模による階層別に配分する。更に、階層別の標本数を都道府県の階層別の母集団の大きさに応じて比例配分する。

4 農畜産物生産費統計

(1) 調査対象母集団

生産費対象品目を作付（飼養）し販売している次表に示す個別経営体及び組織法人経営体を対象とする。

【生産費の対象とする農業経営体】

対 象 品 目	調 査 対 象 の 経 営 体	
米	・水稲を作付けし、玄米を600kg以上販売する経営体	
小 麦	・小麦を10a以上作付けし、販売する経営体	
二 条 大 麦	・二条大麦を10a以上作付けし、販売する経営体	
六 条 大 麦	・六条大麦を10a以上作付けし、販売する経営体	
は だ か 麦	・はだか麦を10a以上作付けし、販売する経営体	
そ ば	・そばを10a以上作付けし、販売する経営体	
大 豆	・大豆（黒大豆を除く）を10a以上作付けし、販売する経営体	
原料用かんしょ	・原料用かんしょを10a以上作付けし、販売する経営体	
原料用ばれいしょ	・原料用ばれいしょを10a以上作付けし、販売する経営体	
な た ね	・なたねを10a以上作付けし、販売する経営体	
て ん さ い	・てんさいを10a以上作付けし、販売する経営体	
さ と う き び	・さとうきびを10a以上作付けし、販売する経営体	
牛 乳	・搾乳牛を1頭以上飼養し、生乳を販売する経営体	
去勢若齢肥育牛	・肥育を目的とする去勢若齢和牛を1頭以上飼養し、販売する経営体	
乳用雄肥育牛	・肥育を目的とする乳用雄牛を1頭以上飼養し、販売する経営体	
交雑種肥育牛	・肥育を目的とする交雑種牛を1頭以上飼養し、販売する経営体	
子 牛	・肉用種の繁殖雌牛を2頭以上飼養し、子牛を生産して販売する経営体	
乳用雄育成牛	・育成を目的とする乳用雄育成牛を5頭以上飼養し、販売する経営体	
交雑種育成牛	・育成を目的とする交雑種牛を5頭以上飼養し、販売する経営体	
肥 育 豚	・肥育豚を年間20頭以上販売し、肥育用もと豚に占める自家生産子豚の割合が7割以上の経営体	
組 織 法 人 経 営 体	米	・水稲を作付けし、販売する経営体
	小 麦	・小麦を作付けし、販売する経営体
	大 豆	・大豆（黒大豆を除く）を作付けし、販売する経営体

(2) 生産費統計の標本数及び標本配置

ア 個別経営体の標本数等

(7) 全国の標本数

個別経営体の標本数は、交付金単価算定の利用実態に即して、利用部局と調整の上、設定した目標精度（米、小麦、大豆及び牛乳生産費はさらに北海道・都府県別）の達成に必要な標本数を設定する。

【生産費統計（個別経営体）の標本数】

単位：経営体、%

区 分	母集団 ①	標本数 ②	抽出率 ①/②	目標精度	現 行	
生 産 費 計	-	3,891	-	-	4,337	
米	合 計	868,146	813	1/1,068	-	1,034
	北 海 道	13,072	88	1/ 149	2.0	90
	都 府 県	855,074	725	1/1,179	2.0	944
小麦	合 計	32,882	536	1/ 61	-	554
	北 海 道	13,070	119	1/ 110	3.0	120
	都 府 県	19,812	417	1/ 48	2.5	434
二 条 大 麦	6,436	70	1/ 92	6.0	75	
六 条 大 麦	1,643	47	1/ 35	8.0	48	
は だ か 麦	571	40	1/ 14	8.0	40	
そ ば	23,256	135	1/ 172	5.0	121	
大豆	合 計	42,642	442	1/ 96	-	481
	北 海 道	6,548	73	1/ 90	4.0	76
	都 府 県	36,094	369	1/ 98	3.0	405
原料用かんしょ	5,269	66	1/ 80	3.0	70	
原料用ばれいしょ	2,319	82	1/ 28	2.0	84	
な た ね	574	59	1/ 10	5.0	82	
て ん さ い	7,090	75	1/ 95	2.0	78	
さ と う き び	15,032	114	1/ 132	3.0	131	
牛 乳	合 計	16,918	435	1/ 39	-	500
	北 海 道	5,958	239	1/ 25	1.0	249
	都 府 県	10,960	196	1/ 56	2.0	251
子 牛	35,187	192	1/ 183	2.0	197	
乳用雄育成牛	568	52	1/ 11	3.0	60	
交雑種育成牛	1,369	58	1/ 24	3.0	65	
去勢若齢肥育牛	8,049	310	1/ 26	2.0	318	
乳用雄肥育牛	1,186	91	1/ 13	2.0	101	
交雑種肥育牛	1,797	101	1/ 18	2.0	108	
肥 育 豚	1,996	173	1/ 12	2.0	190	

(4) 階層別・都道府県別配分

目標精度等を定めた区分ごとに、全国等の標本数をネイマンの最適配分により区分内の経営規模による階層別に配分する。更に、階層別に配分された全国等の標本数を都道府県の階層別の母集団の大きさに応じて比例配分する。

この際、施策上の重要度が高い米、小麦、大豆及び牛乳については、全国平均値のみならず、階層別又は全国農業地域別平均値についても、一定の精度を求められている現状を踏まえ、以下のとおり標本数を追加する。

- ① 米生産費については、階層別の精度が4%を下回った階層について、精度が4%となるまで標本数を追加する。また、地域別の精度が4%を下回った地域について、精度が4%となるまで標本を追加する。
- ② 小麦生産費については、主要地域（北海道、関東・東山、九州）のうち、地域別の精度が3%を下回った地域について、精度が3%となるまで標本を追加する。また、主要地域以外の地域のうち、標本数が30経営体を下回っている地域について、原則として標本数が30経営体となるまで標本を追加する。
- ③ 大豆生産費については、主要地域（北海道、東北、北陸、関東・東山、九州）のうち、地域別の精度が5%を下回った地域について、精度が5%となるまで標本を追加する。また、主要地域以外の地域のうち、標本数が30経営体を下回っている地域について、原則として標本数が30経営体となるまで標本を追加する。
- ④ 牛乳生産費については、都府県において階層別の精度が4%を下回った階層について、精度が4%となるまで標本を追加する。また、地域別の精度が8%を下回った地域について、精度が8%となるまで標本を追加する。

イ 組織法人経営体の標本数等

(7) 全国の標本数

組織法人経営体の標本数は、利用部局と調整の上、施策上の重要度に応じて設定した目標精度の達成に必要な標本数を設定する。

【生産費統計（組織法人経営体）の標本数】

単位：経営体、%

区 分	母集団 ①	標本数 ②	抽出率 ①/②	目標精度
生 産 費 計	-	123	-	-
米	7,508	52	1/ 144	3.0
小 麦	1,918	33	1/ 58	6.0
大 豆	3,126	38	1/ 82	6.0

(4) 階層別・都道府県別配分

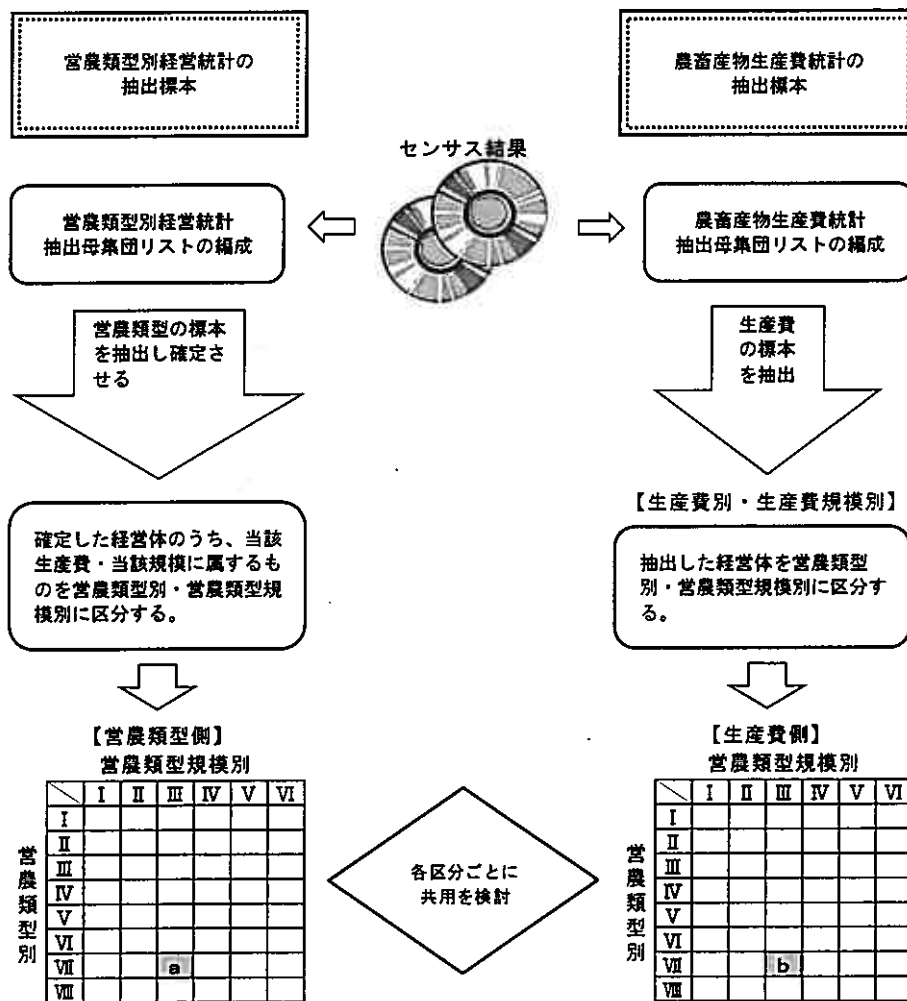
目標精度等を定めた区分ごとに、全国の標本数をネイマンの最適配分により区分内の経営規模による階層別に配分する。更に、階層別の標本数を都道府県の階層別の母集団の大きさに応じて比例配分する。

(3) 標本の共用

生産費統計は、営農類型別経営統計と調査対象が相当部分重複するので、標本共用を可能な限り図ることとする。

営農類型別経営統計の標本を先に抽出して確定し、次に生産費統計の標本抽出を生産費別・生産費規模別に行うが、そこで、抽出した経営体は直ちに正式な標本とはせず、その抽出による経営体を営農類型別・営農類型規模別に分類し、その数をその区分から抽出する生産費統計の標本数とし、区分ごとに営農類型別標本を優先して抽出する。

【標本共用の概要】



営農類型側で抽出した標本数・・・a } とした場合
 生産費側で抽出した標本数・・・b }

営農類型側(a) ≥ 生産費側(b)の場合	営農類型側(a) < 生産費側(b)の場合
① 営農類型側の標本から生産費側の抽出経営体数(b)の標本を抽出し、生産費との共用標本とする。	① 営農類型側の標本を全て生産費との共用標本とする。
② 生産費側の抽出経営体は全て正式な標本としない。	② 生産費側の抽出経営体から営農類型側の標本数(a)の経営体を抽出し、抽出されなかった経営体を生産費単独標本とする。
	③ ②で抽出された生産費側の経営体は正式な標本としない。

5 経営形態別経営統計を作成するための標本数

経営形態別経営統計は、個別経営体及び組織法人経営体について、各経営体全体の経営を把握するため、営農類型別経営統計を基に各営農類型の母集団の大きさにより加重平均して作成する。

この場合、個別経営体については、営農類型別経営統計を作成しない「その他」の経営も調査対象として含める。

【経営形態別経営統計の標本数】

単位：経営体

区 分	見直し後		現 行	
	個 別 経 営 体	組 織 法 人 経 営 体	個 別 経 営 体	組 織 法 人 経 営 体
標 本 数	4,170	456	4,529	369

6 標準誤差率（精度）、標本数等の算出方法

(1) 標準誤差率（精度）の算出式

ア 営農類型別経営統計

- \widehat{S} = x の標準誤差の推定値 n_i = i 番目階層の標本数
 N = 母集団経営体数 \widehat{S}_i = i 番目階層の x の標準偏差の推定値
 N_i = i 番目の階層の経営体数 x_{ij} = i 番目階層の j 番目の標本の x の値
 L = 階層数 \bar{x}_i = i 番目階層の x の経営体平均の推定値
 \bar{x} = x の経営体平均の推定値

$$\bar{x}_i = \frac{1}{n_i} \cdot \sum_{j=1}^{n_i} x_{ij} \quad , \quad \bar{x} = \sum_{i=1}^L \frac{N_i}{N} \cdot \bar{x}_i$$

$$\widehat{S}^2 = \sum_{i=1}^L \frac{N_i^2}{N^2} \cdot \frac{N_i - n_i}{N_i - 1} \cdot \frac{\widehat{S}_i^2}{n_i} \quad , \quad \widehat{S}_i^2 = \frac{1}{n_i - 1} \cdot \sum_{j=1}^{n_i} (X_{ij} - \bar{X}_i)^2$$

$$i \text{ 階層の精度 (標準誤差率)} = \frac{1}{\bar{x}_i} \cdot \sqrt{\frac{N_i - n_i}{N_i - 1} \cdot \frac{\widehat{S}_i^2}{n_i}} \quad , \quad \text{精度 (標準誤差率)} = \frac{\widehat{S}}{\bar{x}}$$

イ 農畜産物生産費統計

- N = 母集団経営体数 N_i = i 番目の階層の経営体数
 L = 階層数 n_i = i 番目の階層の標本数
 x_{ij} = i 番目の階層の j 番目の標本の x (生産費) の値
 y_{ij} = i 番目の階層の j 番目の標本の y (計算単位生産量) の値
 \bar{x}_i = i 番目の階層の x の 1 経営体当たり平均の推定値
 \bar{y}_i = i 番目の階層の y の 1 経営体当たり平均の推定値
 S_{ix} = i 番目の階層の x の標準偏差の推定値
 S_{iy} = i 番目の階層の y の標準偏差の推定値
 S_{ixy} = i 番目の階層の x と y の共分散の推定値

\bar{x} = x の経営体当たり平均の推定値 \hat{f} = 計算単位当たりの生産費の推定値
 \bar{y} = y の経営体当たり平均の推定値 \hat{f}_i = i 階層の計算単位当たりの生産費の推定値
 \hat{S} = \hat{f} の標準誤差の推定値 \hat{S}_i = \hat{f}_i の標準誤差の推定値

$$\bar{x}_i = \frac{1}{n_i} \cdot \sum_{j=1}^{n_i} x_{ij} \quad , \quad S_{ix}^2 = \frac{1}{n_i-1} \cdot \sum_{j=1}^{n_i} (x_{ij} - \bar{x}_i)^2$$

$$\bar{y}_i = \frac{1}{n_i} \cdot \sum_{j=1}^{n_i} y_{ij} \quad , \quad S_{iy}^2 = \frac{1}{n_i-1} \cdot \sum_{j=1}^{n_i} (y_{ij} - \bar{y}_i)^2$$

$$S_{ixy} = \frac{1}{n_i-1} \cdot \sum_{j=1}^{n_i} (x_{ij} - \bar{x}_i)(y_{ij} - \bar{y}_i)$$

$$\bar{x} = \sum_{i=1}^L \frac{N_i}{N} \cdot \bar{x}_i \quad , \quad \bar{y} = \sum_{i=1}^L \frac{N_i}{N} \cdot \bar{y}_i$$

$$\hat{f} = \frac{\bar{x}}{\bar{y}} \quad , \quad \hat{f}_i = \frac{\bar{x}_i}{\bar{y}_i}$$

$$\hat{S}^2 = \left(\frac{\bar{x}}{\bar{y}}\right)^2 \cdot \sum_{i=1}^L \left(\frac{N_i}{N}\right)^2 \cdot \frac{N_i - n_i}{N_i - 1} \cdot \frac{1}{n_i} \cdot \left(\frac{S_{ix}^2}{\bar{x}^2} + \frac{S_{iy}^2}{\bar{y}^2} - 2 \cdot \frac{S_{ixy}}{\bar{x}\bar{y}}\right)$$

$$\hat{S}_i^2 = \left(\frac{\bar{x}_i}{\bar{y}_i}\right)^2 \cdot \frac{N_i - n_i}{N_i - 1} \cdot \frac{1}{n_i} \cdot \left(\frac{S_{ix}^2}{\bar{x}_i^2} + \frac{S_{iy}^2}{\bar{y}_i^2} - 2 \cdot \frac{S_{ixy}}{\bar{x}_i \bar{y}_i}\right)$$

$$\text{精度 (標準誤差率)} = \hat{S} / \hat{f} \quad i \text{ 階層の精度 (標準誤差率)} = \hat{S}_i / \hat{f}_i$$

(2) 標本数の算出と標本配分

ア 営農類型別経営統計

n_i = i 番目階層の標本数

C = 目標精度

N = 母集団経営体数

S_i = i 番目階層の x の標準偏差の推定値

N_i = i 番目の階層の経営体数

n = 標本数

L = 階層数

\bar{x} = x の経営体平均の推定値
(x は、目標精度を設けた指標)

$$n = \frac{(\sum_{k=1}^L \frac{N_k}{N} S_k)^2}{(C\bar{x})^2 + \sum_{k=1}^L \frac{N_k}{N^2} S_k^2} \doteq \left\{ \frac{\sum_{k=1}^L \frac{N_k}{N} S_k}{C\bar{x}^2} \right\}^2$$

$$n_i = n \cdot \frac{N_i}{N} S_i / \sum_{k=1}^L \frac{N_k}{N} S_k$$

S_i, \bar{x} は、直近数年平均（3年程度）を用いる。

イ 農畜産物生産費統計

N = 母集団経営体数

N_i = i 番目の階層の経営体数

L = 階層数

n_i = i 番目の階層の標本数

S_{ix} = i 番目の階層の x の標準偏差の推定値

S_{iy} = i 番目の階層の y の標準偏差の推定値

S_{ixy} = i 番目の階層の x と y の共分散の推定値

\bar{x} = x （全算入生産費）の1経営体当たり平均の推定値

\bar{y} = y （計算単位生産量）の1経営体当たり平均の推定値

C = 目標精度（計算単位当たり全算入生産費に対して設ける。）

$$\hat{S}_i^2 = \left(\frac{S_{ix}}{\bar{x}}\right)^2 + \left(\frac{S_{iy}}{\bar{y}}\right)^2 - 2 \frac{S_{ixy}}{\bar{x}\bar{y}}$$

として、

$$n = \frac{(\sum_{k=1}^L \frac{N_k}{N} S_k)^2}{C^2 + \sum_{k=1}^L \frac{N_k}{N^2} S_k^2} \doteq \left\{ \frac{\sum_{k=1}^L \frac{N_k}{N} S_k}{C\bar{x}^2} \right\}^2$$

$$n_i = n \cdot \frac{N_i}{N} S_i \Big/ \sum_{k=1}^L \frac{N_k}{N} S_k$$

S_i は、直近数年平均（3年程度）を用いる。

平成29年体系見直し後の標本数と現行との比較（規模階層別）

1 営農類型別経営統計（個別経営）

営農類型	規模指標		計	階層													
				階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11	階層12		
水田作経営	水田作付延べ面積	全国	計	0.5ha未満	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~3.0	3.0~5.0	5.0~7.0	7.0~10.0	10.0~15.0	15.0~20.0	20.0~30.0	30.0ha以上			
			母集団	732,890	262,011	221,561	134,691	43,452	32,678	13,537	9,801	7,469	3,607	2,776	1,307		
			見直し後①	1,300	148	205	208	116	107	94	108	92	73	63	86		
			現行②	1,607	208	289	275	158	164	100	100	100	100	113			
		①-②	△ 307	△ 60	△ 84	△ 67	△ 42	△ 57	△ 6	8	△ 8	△ 27	36				
		北海道	母集団	11,911	219	315	594	641	1,387	1,296	1,723	2,321	1,578	1,313	524		
			見直し後①	152	0	0	0	3	8	8	21	34	27	27	24		
			現行②	161	0	0	1	3	14	12	20	36	22	53			
			①-②	△ 9	0	0	△ 1	0	△ 6	△ 4	1	△ 2	5	△ 2			
		都府県	母集団	720,979	261,792	221,246	134,097	42,811	31,291	12,241	8,078	5,148	2,029	1,463	783		
			見直し後①	1,148	148	205	208	113	99	86	87	58	46	36	62		
			現行②	1,446	208	289	274	155	150	88	80	64	78	60			
			①-②	△ 298	△ 60	△ 84	△ 66	△ 42	△ 51	△ 2	7	△ 6	△ 32	38			
		畑作経営	畑作付延べ面積	全国	計	0.5ha未満	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~3.0	3.0~5.0	5.0~7.0	7.0~10.0	10.0~20.0	20.0~30.0	30.0~40.0	40.0~50.0	50.0ha以上
					母集団	54,304	14,811	11,023	10,672	4,939	3,878	1,542	981	1,740	1,897	1,526	711
見直し後①	635				48	63	109	75	87	54	35	50	44	38	17	15	
現行②	643				51	87	112	83	73	41	31	47	46	42	30		
①-②	△ 8			△ 3	△ 24	△ 3	△ 8	14	13	4	3	△ 2	△ 4	2			
北海道	母集団			7,047	170	98	129	92	160	198	287	1,292	1,835	1,512	702	572	
	見直し後①			148	0	0	0	0	1	5	7	26	42	37	16	14	
	現行②			160	0	0	1	2	2	7	8	28	45	41	26		
	①-②			△ 12	0	0	△ 1	△ 2	△ 1	△ 2	△ 1	△ 2	△ 3	△ 4	4		
都府県	母集団			47,257	14,641	10,925	10,543	4,847	3,718	1,344	694	448	62	14	9	12	
	見直し後①			487	48	63	109	75	86	49	28	24	2	1	1	1	
	現行②			483	51	87	111	81	71	34	23	19	1	1	4		
	①-②			4	△ 3	△ 24	△ 2	△ 6	15	15	5	5	1	0	△ 2		
野菜作経営	露地野菜 作付延べ面積			全国	計	0.5ha未満	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~3.0	3.0~5.0	5.0~7.0	7.0~10.0	10.0ha以上				
					母集団	129,753	69,808	24,498	16,993	6,635	5,857	2,446	1,798	1,718			
		見直し後①	510		106	75	87	60	71	42	33	36					
	現行②	509	120		91	94	51	55	41	57							
	①-②	1	△ 14	△ 16	△ 7	9	16	1	12								
	施設野菜 作付延べ面積	全国	計	0.2ha未満	0.2~0.3	0.3~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0ha以上								
母集団			69,154	28,380	13,073	13,986	9,157	3,336	1,222								
見直し後①			374	75	57	77	87	51	27								
現行②	352		71	58	76	77	40	30									
①-②	22	4	△ 1	1	10	11	△ 3										
果樹作経営	果樹植栽面積	全国	計	0.5ha未満	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~3.0	3.0ha以上									
			母集団	153,446	70,675	41,377	28,151	8,832	4,411								
			見直し後①	456	114	117	110	67	48								
			現行②	503	119	101	169	68	46								
①-②	△ 47	△ 5	16	△ 59	△ 1	2											
花き作経営	露地花き 作付延べ面積	全国	計	0.5ha未満	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0ha以上										
			母集団	10,247	6,850	1,960	884	553									
			見直し後①	50	17	10	10	13									
	現行②		50	12	15	16	7										
	①-②	0	5	△ 5	△ 6	6											
	施設花き 作付延べ面積	全国	計	0.2ha未満	0.2~0.5	0.5~1.0	1.0ha以上										
母集団			15,681	6,610	6,138	2,247	686										
見直し後①			50	12	18	10	10										
現行②	50		7	17	15	11											
①-②	0	5	1	△ 5	△ 1												

1 営農類型別経営統計（個別経営）（つづき）

営農類型	規模指標		計	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11	
酪農経営	月平均搾乳牛飼養頭数	全国	計		20頭未満	20~30	30~50	50~80	80~100	100頭以上					
			母集団	15,415	3,343	2,272	4,133	3,349	911	1,407					
			見直し後①	353	46	35	81	94	32	65					
			現行②	364	48	29	93	98	42	54					
		①-②	△ 11	△ 2	6	△ 12	△ 4	△ 10	11						
		母集団	5,966	403	307	1,409	2,121	665	1,061						
		見直し後①	155	7	6	22	52	22	46						
		現行②	163	7	5	30	63	26	32						
		①-②	△ 8	0	1	△ 8	△ 11	△ 4	14						
		母集団	9,449	2,940	1,965	2,724	1,228	246	346						
		見直し後①	198	39	29	59	42	10	19						
		現行②	201	41	24	63	35	16	22						
①-②	△ 3	△ 2	5	△ 4	7	△ 6	△ 3								
肉用牛経営	繁殖牛	全国	計		5頭未満	5~10	10~20	20~50	50頭以上						
			母集団	27,258	9,929	6,991	5,207	3,994	1,137						
			見直し後①	102	11	21	23	32	15						
			現行②	108	13	31	20	27	17						
		①-②	△ 6	△ 2	△ 10	3	5	△ 2							
		母集団	6,441	3,689	1,021	900	649	182							
	見直し後①	101	28	14	22	23	14								
	現行②	104	27	15	22	30	10								
	①-②	△ 3	1	△ 1	0	△ 7	4								
	肥育牛	全国	計		50頭未満	50~100	100~200	200~500	500頭以上						
			母集団	6,441	3,689	1,021	900	649	182						
			見直し後①	101	28	14	22	23	14						
現行②			104	27	15	22	30	10							
①-②		△ 3	1	△ 1	0	△ 7	4								
養豚経営		月平均豚飼養頭数	全国	計	300頭未満	300~1000	1000~2000	2000頭以上							
母集団	2,196	704	848	437	207										
見直し後①	89	11	38	25	15										
現行②	89	14	34	25	16										
①-②	0	△ 3	4	0	△ 1										
採卵養鶏経営	全国	計		1万羽未満	1万~3万	3万羽以上									
		母集団	1,526	1,061	273	192									
		見直し後①	50	21	12	17									
		現行②	50	17	14	19									
	①-②	0	4	△ 2	△ 2										
	養鶏経営	全国	計		10万羽未満	10万~20万	20万羽以上								
母集団			1,318	514	402	402									
見直し後①			50	18	11	21									
現行②			50	16	13	21									
①-②		0	2	△ 2	0										
その他経営		全国	計		100万未満	100~300万	300~500万	500~1000万	1000万以上						
	母集団		26,186	15,190	4,036	1,800	2,316	2,844							
	見直し後①		50	10	10	10	10	10							
	現行②		50	10	10	10	10	10							
	①-②	0	0	0	0	0	0								

※ 1 水田作経営の規模階層は、現行「20.0ha以上」を分割し、見直し後「20.0~30.0ha」と「30.0ha以上」としている。
 2 畑作経営の規模階層は、現行「40.0ha以上」を分割し、見直し後「40.0~50.0ha」と「50.0ha以上」としている。
 3 露地野菜作経営の規模階層は、現行「7.0ha以上」を分割し、見直し後「7.0~10.0ha」と「10.0ha以上」としている。

2 営農類型別経営統計 (組織法人経営)

営農類型	規模指標		計	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11		
				10.0ha未満	10.0~20.0	20.0~30.0	30.0~50.0	50.0以上								
水田作経営	経営耕地面積	全国	計	6,362	1,740	1,373	1,113	1,189	947							
			母集団	216	22	27	34	62	71							
			見直し後①	209	18	34	42	60	55							
			現行②	7	4	△ 7	△ 8	2	16							
		① - ②	3,360	599	844	754	740	423								
		兼業営農	母集団	139	11	15	23	44	46							
			見直し後①	151	11	23	32	46	39							
			現行②	△ 12	0	△ 8	△ 9	△ 2	7							
			① - ②	3,002	1,141	529	359	449	524							
		兼業営農以外	母集団	77	11	12	11	18	25							
			見直し後①	58	7	11	10	14	16							
			現行②	19	4	1	1	4	9							
① - ②																
畑作経営	畑作作付延べ面積	全国	計	1,079	634	193	148	104								
			母集団	40	13	10	7	10								
			見直し後①	30	10	5	8	7								
			現行②	10	3	5	△ 1	3								
野菜作経営	露地野菜	全国	計	1,717	1,093	239	198	188								
			母集団	30	10	6	6	8								
			見直し後①	20	9	3	3	5								
			現行②	10	1	3	3	3								
野菜作経営	施設野菜	全国	計	1,535	1,070	225	166	74								
			母集団	30	14	5	6	5								
			見直し後①	15	4	3	3	5								
			現行②	15	10	2	3	0								
果樹作経営	果樹植栽面積	全国	計	1,072	825	147	100									
			母集団	30	14	9	7									
			見直し後①	15	6	5	4									
			現行②	15	8	4	3									
花き作経営	露地花き	全国	計	177	35	21	45	76								
			母集団	5	1	1	1	2								
			見直し後①	5	1	1	1	2								
			現行②	0	0	0	0	0								
	施設花き	全国	計	753	346	225	123	59								
			母集団	20	8	7	3	2								
			見直し後①	15	5	4	3	3								
			現行②	5	3	3	0	△ 1								
酪農経営	月平均搾乳牛飼養頭数	全国	計	761	342	285	134									
			母集団	20	6	7	7									
			見直し後①	15	4	7	4									
			現行②	5	2	0	3									

2 常農類型別経営統計（組織法人経営）（つづき）

畜産類型	規模指標		計	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11
肉用牛経営	繁殖牛	月平均繁殖めす牛飼養頭数	計		100頭未満	100頭以上								
			母集団	212	130	82								
			見直し後①	5	3	2								
			現行②	5	2	3								
			①-②	0	1	△ 1								
	肥育牛	月平均肥育牛飼養頭数	計		300頭未満	300～1000	1000～2000	2000頭以上						
			母集団	666	284	227	89	66						
			見直し後①	15	4	5	3	3						
			現行②	10	3	3	2	2						
			①-②	5	1	2	1	1						
	養豚経営	月平均豚飼養頭数	計		2000頭未満	2000～1万	1万頭以上							
			母集団	1,042	431	498	113							
見直し後①			20	6	9	5								
現行②			10	2	5	3								
①-②			10	4	4	2								
採卵養鶏経営	月平均採卵鶏飼養羽数	計		10万羽未満	10万羽以上									
		母集団	865	546	319									
		見直し後①	15	9	6									
		現行②	10	5	5									
		①-②	5	4	1									
ブロイラー養鶏経営	月平均ブロイラー出羽羽数	計		50万羽未満	50万羽以上									
		母集団	324	191	133									
		見直し後①	10	5	5									
		現行②	10	6	4									
		①-②	0	△ 1	1									

3 農畜産物生産費統計(個別経営)

種類	規模 指標		計	階層													
				階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11			
			計	0.5ha未満	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~3.0	3.0~5.0	5.0~7.0	7.0~10.0	10.0~15.0	15.0~20.0	20.0~30.0	30.0ha以上			
米	水稲作付面積	全国	母集団	868,146	309,881	277,234	158,866	49,957	36,839	14,522	9,918	6,574	2,500	1,437	418		
			見直し後 ①	813	142	195	142	57	69	33	38	37	47	33	20		
			現行②	1,034	230	270	205	80	90	39	37	37		46			
			①-②	△ 221	△ 88	△ 75	△ 63	△ 23	△ 21	△ 6	1	0		54			
		北海道	母集団	13,072	333	608	1,020	1,033	2,072	1,915	2,245	2,233	992	525	96		
			見直し後 ①	88	0	0	3	4	7	7	17	21	16	8	5		
			現行②	90	0	0	3	4	12	12	16	20		23			
			①-②	△ 2	0	0	0	0	△ 5	△ 5	1	1		6			
		都府県	母集団	855,074	309,548	276,626	157,846	48,924	34,767	12,607	7,673	4,341	1,508	912	322		
			見直し後 ①	725	142	195	139	53	62	26	21	16	31	25	15		
			現行②	944	230	270	202	76	78	27	21	17		23			
			①-②	△ 219	△ 88	△ 75	△ 63	△ 23	△ 16	△ 1	0	△ 1		48			
		小麦	小麦作付面積	全国	計	32,882	6,544	4,680	4,688	2,657	3,642	2,619	3,005	2,963	2,084		
					母集団	32,882	6,544	4,680	4,688	2,657	3,642	2,619	3,005	2,963	2,084		
					見直し後 ①	536	34	43	59	43	73	55	64	72	93		
現行②	554				63	58	66	54	80	61	58	55	59				
北海道	母集団			13,070	70	263	1,013	1,102	1,980	1,855	2,448	2,568	1,771				
	見直し後 ①			119	0	0	2	3	8	11	23	33	39				
	現行②			120	0	2	2	4	16	18	25	28	25				
	①-②			△ 1	0	△ 2	0	△ 1	△ 8	△ 7	△ 2	5	14				
都府県	母集団			19,812	6,474	4,417	3,675	1,555	1,662	764	557	395	313				
	見直し後 ①			417	34	43	57	40	65	44	41	39	54				
	現行②			434	63	56	64	50	64	43	33	27	34				
	①-②			△ 17	△ 29	△ 13	△ 7	△ 10	1	1	8	12	20				
二条大麦	二条大麦作付面積			全国	計	6,436	1,767	1,570	1,619	1,480							
					母集団	6,436	1,767	1,570	1,619	1,480							
					見直し後 ①	70	6	11	16	37							
		現行②	75		16	17	17	25									
六条大麦	六条大麦作付面積	全国	計	1,643	562	533	304	244									
			母集団	1,643	562	533	304	244									
			見直し後 ①	47	6	9	12	20									
			現行②	48	11	11	11	15									
はだか麦	はだか麦作付面積	全国	計	571	153	125	141	152									
			母集団	571	153	125	141	152									
			見直し後 ①	40	4	4	11	21									
			現行②	40	8	8	9	15									
そば	そば作付面積	全国	計	23,256	4,399	8,168	4,721	3,876	2,092								
			母集団	23,256	4,399	8,168	4,721	3,876	2,092								
			見直し後 ①	135	28		34	32	41								
			現行②	121	31	24	23	21	22								
			①-②	14	△ 27		11	11	19								

3 農畜産物生産費統計(個別経営)(つづき)

種類	規模 指標		計	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11	
大豆	大豆作付面積	全国	計	0.5ha未満	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~3.0	3.0~5.0	5.0~7.0	7.0ha以上					
			母集団	42,642	21,554	6,974	5,381	2,842	2,801	1,394	1,696				
			見直し後 ①	442	81	52	63	44	62	45	95				
			現行②	481	112	55	82	57	62	35	78				
		①-②	△ 39	△ 31	△ 3	△ 19	△ 13	0	10	17					
		北海道	母集団	6,548	389	348	1,236	1,251	1,573	848	903				
			見直し後 ①	73	0	0	8	12	20	15	18				
			現行②	76	0	2	13	16	19	11	15				
			①-②	△ 3	0	△ 2	△ 5	△ 4	1	4	3				
		都府県	母集団	36,094	21,165	6,626	4,145	1,591	1,228	546	793				
			見直し後 ①	369	81	52	55	32	42	30	77				
			現行②	405	112	53	69	41	43	24	63				
			①-②	△ 36	△ 31	△ 1	△ 14	△ 9	△ 1	6	14				
原料用かんしょ	原料用かんしょ作付面積	全国	計	0.5ha未満	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0ha以上								
			母集団	5,269	1,522	2,070	1,104	573							
			見直し後 ①	66	10	20	19	17							
			現行②	70	10	27	17	16							
①-②	△ 4	0	△ 7	2	1										
原料用ばれいしょ	原料用ばれいしょ作付面積	全国	計	3.0ha未満	3.0~5.0	5.0~7.0	7.0~10.0	10.0ha以上							
			母集団	2,319	502	352	349	531	585						
			見直し後 ①	82	8	9	10	22	33						
			現行②	84	8	13	18	23	22						
①-②	△ 2	0	△ 4	△ 8	△ 1	11									
なたね	なたね作付面積	全国	計	0.2ha未満	0.2~0.5	0.5~1.0	1.0ha以上								
			母集団	574	147	184	81	162							
			見直し後 ①	59	12		14	33							
			現行②	82	19	23	17	23							
①-②	△ 23	△ 7	△ 23	△ 3	10										
てんさい	てんさい作付面積	全国	計	3.0ha未満	3.0~5.0	5.0~7.0	7.0~10.0	10.0~15.0	15.0ha以上						
			母集団	7,090	825	1,207	1,464	1,916	1,306	372					
			見直し後 ①	75	4	8	15	21	18	9					
			現行②	78	5	7	13	22	21	10					
①-②	△ 3	△ 1	1	2	△ 1	△ 3	△ 1								
さとうきび	さとうきび作付面積	全国	計	0.5ha未満	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~3.0	3.0~5.0	5.0ha以上						
			母集団	15,032	3,335	4,380	4,243	1,542	960	562					
			見直し後 ①	114	10	16	31	18	16	23					
			現行②	131	10	17	34	19	22	29					
①-②	△ 17	0	△ 1	△ 3	△ 1	△ 6	△ 6								
牛乳	搾乳牛通年換算頭数	全国	計	20頭未満	20~30	30~50	50~80	80~100	100頭以上						
			母集団	16,918	4,464	2,415	4,277	3,403	926	1,433					
			見直し後 ①	435	48	44	114	119	51	59					
			現行②	500	56	69	160	132	40	43					
		①-②	△ 65	△ 8	△ 25	△ 46	△ 13	11	16						
		北海道	母集団	5,958	300	334	1,454	2,137	667	1,066					
			見直し後 ①	239	10	12	63	81	34	39					
			現行②	249	10	14	69	96	30	30					
			①-②	△ 10	0	△ 2	△ 6	△ 15	4	9					
		都府県	母集団	10,960	4,164	2,081	2,823	1,266	259	367					
			見直し後 ①	196	38	32	51	38	17	20					
			現行②	251	46	55	91	36	10	13					
①-②	△ 55		△ 8	△ 23	△ 40	2	7	7							

3 農畜産物生産費統計(個別経営)(つづき)

種類	規模指標		計	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11	
				計	2~5頭	5~10	10~20	20~50	50頭以上						
子牛	月平均繁殖用雌牛飼養頭数	全国	母集団	35,187	13,008	9,364	6,563	4,837	1,415						
			見直し後①	192	36	40	40	55	21						
			現行②	197	39	51	39	50	18						
			①-②	△ 5	△ 3	△ 11	1	5	3						
			計	5~20頭未満	20~50	50~100	100~200	200頭以上							
乳用雄育成牛	育成牛飼養頭数	全国	母集団	568	357	90	46	23	52						
			見直し後①	52	16	12	8	7	8						
			現行②	60	10	14	12	15	9						
			①-②	△ 8	6	△ 2	△ 4	△ 8	0						
			計	5~20頭未満	20~50	50~100	100~200	200頭以上							
交雑種育成牛	育成牛飼養頭数	全国	母集団	1,369	1,033	166	69	41	60						
			見直し後①	58	16	15	13	6	8						
			現行②	65	16	16	12	10	11						
			①-②	△ 7	0	△ 1	1	△ 4	△ 3						
			計	5~20頭未満	20~50	50~100	100~200	200頭以上							
去勢若齢肥育牛	月平均去勢若齢肥育牛飼養頭数	全国	母集団	8,049	4,054	809	494	668	926	679	419				
			見直し後①	310	60	45	37	43	54	48	23				
			現行②	316	59	44	40	52	61	45	17				
			①-②	△ 8	1	1	△ 3	△ 9	△ 7	3	6				
			計	10頭未満	10~20	20~30	30~50	50~100	100~200	200頭以上					
乳用雄肥育牛	月平均乳用雄肥育牛飼養頭数	全国	母集団	1,186	636	123	54	52	86	88	147				
			見直し後①	91	16	8	6	9	14	16	22				
			現行②	101	14	8	6	7	17	31	18				
			①-②	△ 10	2	0	0	2	△ 3	△ 15	4				
			計	10頭未満	10~20	20~30	30~50	50~100	100~200	200頭以上					
交雑種肥育牛	月平均交雑種肥育牛飼養頭数	全国	母集団	1,797	641	184	100	143	199	252	278				
			見直し後①	101	6	11	8	12	20	27	17				
			現行②	108	7	9	8	14	21	33	16				
			①-②	△ 7	△ 1	2	0	△ 2	△ 1	△ 6	1				
			計	100頭未満	100~300	300~500	500~1000	1000~2000	2000頭以上						
肥育豚	月平均肥育豚飼養頭数	全国	母集団	1,996	382	304	249	487	392	182					
			見直し後①	173	9	21	12	51	51	29					
			現行②	190	10	22	23	51	54	30					
			①-②	△ 17	△ 1	△ 1	△ 11	0	△ 3	△ 1					
			計	100頭未満	100~300	300~500	500~1000	1000~2000	2000頭以上						

- ※ 1 米生産費の規模階層は、現行「15.0ha以上」を分割し、見直し後「15.0~20.0ha」、「20.0~30.0ha」及び「30.0ha以上」としている。
- 2 そば生産費の規模階層は、現行「0.2ha未満」と「0.2~0.5ha」を統合し、見直し後「0.5ha未満」としている。
- 3 なたね生産費の規模階層は、現行「0.2ha未満」と「0.2~0.5ha」を統合し、見直し後「0.5ha未満」としている。

4 農産物生産費統計(組織法人経営)

品目	規模指標		計	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8	階層9	階層10	階層11	
				計	10ha未満	10.0~20.0	20.0~40.0	40.0ha以上							
米	水稲作付面積	全国	母集団	7,508	3,791	1,664	1,499	554							
			見直し後①	52	17	13	13	9							
			現行②												
			①-②	52	17	13	13	9							
			計	10ha未満	10.0~20.0	20.0~40.0	40.0ha以上								
小麦	小麦作付面積	全国	母集団	1,918	1,040	465	267	146							
			見直し後①	33	11	8	8	6							
			現行②												
			①-②	33	11	8	8	6							
			計	5.0ha未満	5.0~10.0	10.0~20.0	20.0ha以上								
大豆	大豆作付面積	全国	母集団	3,126	1,534	662	539	391							
			見直し後①	38	12	8	10	8							
			現行②												
			①-②	38	12	8	10	8							
			計	5.0ha未満	5.0~10.0	10.0~20.0	20.0ha以上								

農業経営統計調査の必要性等について

1 調査の目的・必要性について

農業経営統計調査は、農産物の販売を目的とする農業経営体の年間の経営及び農畜産物の生産費の実態を明らかにし、農業行政の策定・検証に必要な資料を整備することを目的としている。

調査結果は、農業経営の実態を表す基本指標として、「食料・農業・農村基本計画」の策定や、経営所得安定対策における交付金の算定や畜産物の生産者補給金単価の算定等に利用されている。具体的には以下のとおり。

(1) 営農類型別経営統計

- ・ 「食料・農業・農村基本計画」（平成27年3月31日閣議決定）に付帯して作成された「農業経営等の展望について」の作成に利用
- ・ 「経営所得安定対策」による農業経営への影響分析、検証に利用。
- ・ 「国民経済計算」、「産業連関表」及び「農業・食料関連産業の経済計算」において、農業部門の投入・産出の細目を推計する上で必要な項目について、積算基礎データとして利用
- ・ 施策担当部局における各種施策の検討・検証に利用 等

(2) 生産費統計

- ・ 「日本再興戦略」において設定された、コメの生産コスト削減に係る「成果目標」（KPI）の進捗の評価に利用。
- ・ 「経営所得安定対策」の交付金単価の算定に利用。
- ・ 麦、大豆、原料用ばれいしょ、てんさい、そば及びなたねに係る諸外国との生産条件格差を補てんするための交付金算定に利用。
（農業の担い手に対する経営安定対策のための交付金の交付に関する法律）
- ・ 甘味資源作物及び国内産糖並びにでん粉原料用いも及び国内産いもでん粉についての交付金算定に利用。
（砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律）
- ・ 加工原料乳、牛肉、豚肉等の各種行政価格算定に利用。
（加工原料乳生産者補給金等暫定措置法、畜産物の価格安定に関する法律、肉用子牛生産安定等特別措置法） 等

2 他調査との重複

本調査のように農業経営の収支及び生産費の実態を詳細にみる統計は存在しない。

3 行政記録情報の利活用

「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」（平成十五年六月十一日法律第七十二号）に基づき、農林水産省が保有（データベースの管理については（独）家畜改良センターが実施）している「牛個体識別台帳」のデータ（調査客体が飼養している牛個体ごとの性別、品種、出生月、購入月、売却月、死亡月）を活用している。

「牛個体識別台帳」データを活用することにより、当該データで把握できる事項については、当省職員において調査票に記入することができ、調査客体への聞き取り又は自計が不要となり、報告者負担の軽減が図られる。

4 事業所母集団データベースを利用した重複排除

重複排除（調査候補名簿の提出）については、組織法人経営体（個別経営体は該当しない）のみを対象とし、承認後速やかに行う（平成28年8月）。ただし、本調査は、最新の農林業センサスデータ等に基づく母集団情報で標本設計した後、5年間は調査客体を固定して実施することから、重複是正は、今回1回のみとなる。

また、履歴登録については、重複排除の後、調査対象名簿を平成29年3月（以降、毎年3月までに登録予定）に、最終的な調査結果名簿を平成30年8月までに行うことを予定している。（以降、毎年8月までに登録予定）